

官報

號外

明治三十一年六月七日

火曜日 內閣官報局

○第十二回 貴族院議事速記録第十四號

明治三十一年六月六日(月曜日)午前十時十八分開議

議事日程 第十四號 明治三十一年六月六日

午前十時開議

第一 明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

第二 香川縣下郡廢置法律案(議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員)

第三 廣島縣下郡廢置法律案(議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員)

第四 銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 登錄稅法中改正法律案(議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第七 郡制中改正法律案(中西光三郎君) 第二讀會

第八 松村修平君選舉爭訟ノ件(資格審查委員) 會 議

第九 斯波與七郎君選舉爭訟ノ件(資格審查委員) 會 議

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(久本書記官朗讀) 一昨四日本院ニ於テ可決シタル左ノ議案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及ヒ可決ノ旨衆議院ニ通知シタリ

政府提出 一圓銀貨幣引換ニ關スル法律案

政府發行紙幣通用廢止ニ關スル法律案

特別輸出港輸出物品指定ニ關スル法律案

衆議院提出 保安條例廢止法律案

市制中東京市京都市大阪市ニ於ケル特例廢止法律案

同日本院ニ於テ修正議決シタル衆議院提出市制中追加法律案ハ即日衆議院ニ回付シタリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

民法施行法案

人事訴訟手續法案

非訟事件手續法案

競賣法案

衆議院議員選舉法改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ通牒ヲ受領シタリ

市制中追加法律案

右貴院ノ回付ニ係ル本院提出案本院ハ貴院ノ修正ニ同意シ奏上セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ及通知候也

明治三十一年六月四日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨君

本日內閣總理大臣ヨリ華族令中改正ニ關シ貴族院令第八條ニ依リ御諮詢ノ件ヲ受領シタリ

實業教育費國庫補助費中改正法律案特別委員會ニ於テ委員長ニ侯爵細川護成君、副委員長ニ久保田讓君當選セラレタリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、第一、明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案第四號審查期限ヲ定ムルノ件

○子爵谷干城君 チョット此前ニ當ツテ一言私ハ申述べタイコトガアリマスガ如何デゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 此案ニ附イテデスカ

○子爵谷干城君 イエ、其前ニ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 此案ニ移リマシタカラ……

○子爵谷干城君 ソレナラバツレノ濟ンダアトデ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君 此案ニ於キマシテハ誠ニ短簡ナ豫算追加案デゴザンシテ決シテ多分ノ時刻ヲ要スルコトハ存ジマセヌデゴザイマスカラドウカ此席ニ於キマシテ即決アランコトヲ希望致シマス

○武井守正君 贊成

○男爵渡邊清君 贊成

○富田鐵之助君 贊成

○千阪高雅君 贊成

(其他「贊成」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ヲ委員會ノ手續ヲ省略シテ即決シヤウト云フ

谷子爵ノ動議ガアリマスガ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

然ラバ是ハ政府ノ同意ヲ求メニヤナラヌノデアリマスカラ其手續ニ致シマス

(國務大臣子爵芳川顯正君演壇ニ登ル)

○國務大臣(子爵芳川顯正君) 政府ハ喜ンデ同意ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ本案ヲ直ニ是ニテ議スルコトニ致シマス

○子爵谷干城君 是ハ此說明書ヲチョット書記官ニ朗讀ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 朗讀致シマス、說明ダケデ宜シウゴザイマスカ

○子爵谷干城君 說明ダケデ宜シクハアルマイカト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ツレデハ通牒文ヲ手續上朗讀致シマシテ本文ノ朗讀ハ省略致シマシテ便宜上說明書ヲ朗讀致サセマス

(久本書記官朗讀)

豫算追加第四號

明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十一年六月四日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨君

明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案

右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十一年六月一日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文
大藏大臣伯爵井上馨

(國務大臣子爵芳川顯正君演壇ニ登ル)

○國務大臣(子爵芳川顯正君) 唯今本院ノ議題トナリマシタ案ハ臨時ノ造神宮ニ關シマスルノデゴザイマス、此必要ナルコトハ過日本院ノ議ニ上ボッテ協賛ヲ得マシタ假御殿ノ案ノ上ボリマシタ頃ニ概略申述置キマシタ次第デゴザイマス、今更ニ喋々申スマデハゴザイマス、ドウカ速ニ協賛ニナランコトヲ希望致シマス

○田中芳男君 此案ニ附キマシテハ決シテ彼是異議ヲ申立テル譯デハゴザイマセヌ、最モ贊成シテ居リマスルガ、併シ過日モ御假屋ノ時ニチヨット伺ヒマシタ通ニ尙ホ一應政府委員ニ伺ッテ置キタイト思ヒマスガ其御答辯ヲ煩シマス、過日モ申シマシタ通參集所ニシテ神宮司廳ニシテ其他ノ建物ガ御宮近クヘ建ッテ居マスルタメニ此度ノヤウナ事ガ起ッテアラウト考ヘマス、然ラバ後來復タモトノ位置ヘ御建ニナリマシテハ甚ダ懸念デアリマスルガ其邊ニ附キマシテ過般伺ヒマシタ然ルベキ所ヘ移轉スルヤウニ計畫シテ居ルトカ云フヤウナ御答ヲ承リマシタガ果シテ後來ハモット無難ナ方針ヲ取ッテ御建築ニナリマスカ、如何デゴザイマスカ、其邊ヲモウ一應伺ヒマス

(政府委員久米金彌君演壇ニ登ル)

○政府委員(久米金彌君) 御答致シマス、丁度此度新築致シマスル所ノ場所ハ成ルベク、宮域外ニ近イ所ヲ撰ビマシテ且ツ神社ノ御奉務ノ上ニ差支ノナイ場所ニ建テマスル積リデアリマシテ其地所ノ如キハ唯今撰定中デアリシテ確定タル所ハ申上兼ネマスルデゴザイマスルガ、唯今申上デマスルヤウナ譯デ成ルベク宮域外ニテ近イ方ノ地所ニ建テルト斯ウ云フ計畫ヲ致シテ居リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案全部ヲ問題ニ供シマスル、御發議モナイヤウデゴザイマスカラ採決ヲ致シマス、本案全部ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立 總員

○議長(公爵近衛篤磨君) 全會一致ト認メマス、本案ハ可決ニナリマシタ

香川縣下郡廢置法律案、政府提出、衆議院送付第一讀會ノ續、特別委員長報告

○子爵谷干城君 其前ニチヨット御許ヲ願ヒマス、豫テ本員等ガ臺灣總督府法官ノ非職免官ニ關スル質問書ト云フモノヲ差出シテゴザイマスルガ最早會期モ切迫シテ居リマスルコトデアリマスカラ願ハクハ政府ニ於テ速ニ答辯ノアラントコトヲ希望致シマス此事ヲドウゾ御尋ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 承知致シマシタ

(伯爵清棲家教君演壇ニ登ル)

○伯爵清棲家教君 香川縣郡廢置法律案特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告ニ及ビマス、委員會ハ一昨日開キマシテ政府委員ニモ段々質問モ致シマシテツレヨリ尙ホ委員ノ中ニモ香川縣出身ノ御方モゴザイマシタ色々質問等モゴザイマシタ遂ニ此衆議院デ即チ修正ヲ致シマシタ所ヲ政府案ニ復活ヲスルコトニナリマシタ、無論此香川縣ノ如キハ郡制ヲ施行スルニ附キマシテ是非郡ノ廢置分合ヲシナケレバナラヌト云フ事柄ヨリシテ即チ政府ハ此案ヲ衆議院ニ提出致シマシタ、然ルニ衆議院ニ於キマシテハ一箇所修正ヲシタノデアリマス、ツレハ香川縣ノ縣境トモ言フベキ、即チ字等ヲ取リマシテ即チ仲多度郡ヲ改メテ十市郡トシタシタデアリマス、然ニ委員會ニ於キマシテハ種々議論ノ末遂ニ此政府案ニ復活ヲシタト云フノハ數十年來多度郡ト云ヒ那珂郡ト云フコトハ衆人ノ承知シテ居ル所ノ郡デアアル、然ルニ今日此字トモ云フヘキ十市ト云フ名ヲ以テ郡ノ名ニスルト云フノハ穩カデナイ、從前ノ那珂郡ト云ヒ多度郡ト云フ即チ其ニ二コト合併シテ一郡トスルノデアアルカラ政府案ノ如ク仲多度郡トスルガ宜シイト云フコトデ委員會ハ全會一致ヲ以テ政府案ニ戻スコトニナリマシタ、尙ホ那珂郡多度郡ト云フコトニ附キマシテハ地理人情其他風俗ニ附キマシテ能ク委員會ノ中ニ十分ニ詳シク御承知ノ御方ガゴザイマスルカラシテ御質問ガゴザイマスレバ尙ホ其御方ヨリ詳シク御辯明ガアリマセウト思ヒマスガ私ハ大體ヲ申上ゲテ置キマスカラ左様御承知ヲ願ヒタイ、其他ニ於テハ委員會ニ於テハ異論モナクシテ斯ノ如ク全會一致ニナリマシテゴザイマスカラ宜シク諸君ノ御贊同ヲ願ヒタウゴザイマス

○子爵谷干城君 子ヨット委員會長ヘ伺ヒマス此香川縣ノ方ハ最初出マシタトキニチヨット質問ヲシマシタデアリマスガ一向コノ郡ノ廢合ニ附イテハ人民ニハ少モ苦情ハナイト云フコトヲ委員會デ政府委員ヨリ說明ニナリマシタカ

○伯爵清棲家教君 御答致シマス、委員會ニ於キマシテハ其邊モ政府委員ニ質問致シマシタ、然ルニ別段ニ是ト云フ不都合ハ……大シタ苦情モナイ、固ヨリ經濟ノ點ニ於テモ郡制ヲ施行スルニ附イテハ斯ク郡ノ廢置ヲシナケレバナラヌト云フコトデアリマシタ、ツレダケ別段ニ異見モアリマセヌデシタ

○子爵小笠原壽長君 此ハ誠ニ單簡ナ案デ諸君ニ於テモ御異議ハナカラウト思ヒマスカラ本員ハ讀會省略ノ動議ヲ提出致シマス

○子爵谷干城君 私ハ少シ異存ガアリマス、私ハ政府委員ニ說明ヲ聞キタイ、何ナラ政府委員此處ヘ出テ貰フト甚ダ應答ガ仕易イノデスガ

(政府委員荒川邦藏君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 是ハ郡ノ名ヲ變ヘズシテ……固ヨリ合テ一郡ヲ置クコトハ本員杯モ一向異存ハナイガ郡ヲ變ヘズシテナセ置ケヌノデスカ、ソレヲ御尋ネシタイ

○政府委員(荒川邦藏君) 郡ヲ變ヘズシテ名ヲ改メルト云フノデスカ
○子爵谷干城君 名ヲ變ヘズシテ其儘ニ一郡制ヲ……一郡廳ヲ置キ一人ノ郡長ヲ置クコトハ出來ナイノデスカ

○政府委員(荒川邦藏君) ソレハ先日十分御答ヲ致シタ積リデアリマスガ郡制ヲ施行シマスル曉ニハ何分小郡デハ其郡制ノ精神ヲ貫クコトハ出來ナイ、ソレデアリマスカラ相當ノ資力ヲ有シタル郡ヲ拵ヘルト云フコトハ已ムヲ得ヌ、合セヌケレバナラヌ其儘存シテ置キマシテハ今日ノ郡制ヲ行フコトハ出來ナイノデアリマス

○子爵谷干城君 ナゼ出來ヌノデスカ

○政府委員(荒川邦藏君) 小クシテ郡ガ經濟ヲ持ツコトガ出來ナイ、郡ノ事業ヲ起スニ附キマシテハ相當ノ町村數ガアリ相當ノ人口ガアリ納稅力モ十分備ツテ居リマセヌケレバ今ノ郡制ヲ行フコトガムツカシイ郡制ヲ行ハズニ置ケバソレハ現在ノ儘デモ宜イノデスカ

○子爵谷干城君 今郡制ガ行ヘヌ……前ニモ御尋ネシタ場合ニ證據ヲ御引キニナツタンデスガ總テ彼ノ舊藩時分ニハ或ハ二郡或ハ三郡ヲ合セテ一郡長即チ郡奉行ヲ置イテ治メタコトハ段々例ガゴザイマス、スレバコノ郡ノ名ト云フモノハ先達デモ申シタヤウナ理窟デ殆ド何千年何百年ト云フ星霜ヲ經テカラニ歴史上ノ一ノ鞏固ナル材料ニナツテ居ルノデアリカラ成ルベクソレヲ變更セズシテ、合セルコトハ三ツデモ四ツデモ合セテ宜イガ、合テ名稱ハ其儘ニシテ區域ヲ合セルコトハサウ不都合ナコトハアルマイト思フ、譬ヘテ申セバ昔長防二箇國ノ大守ト云フ如ク何モ一國一主ニ限ルト云フノデハナイ二箇國三箇國持ツテモ宜イノデアリ、細イ所ハ名稱ハ其儘存シテソレヲ二郡ナリ三郡ナリ合テ一ノ郡役所ヲ置クノハ、サウムツカシイコトハアルマイト本員杯ハ考ヘルノデアリ、サウシテ又前日ノ御答ニ二三十年シタラバ混合シテ仕舞ツテナクナルト云フコトヲ承ツタガ本員等ノ實見上カラ考ヘルトナカノ村ヲ合併シテ名ヲ變スルコトハ出來ナイコトデ三ツモ四ツモ合セタノガ名ヲ一ツニシテアルケレドモ其實ハ獨立シテ居ル、ソレデ其點カラ考ヘテ見ト云フテ一向元ノ名ガ消エナイヤウニナツテ居ル、ソレデ其點カラ考ヘテ見レバ何ゾ殊更ニ舊イ名ヲ存シテモ合セテ郡制ノ行レヌコトハアルマイト考ヘル、ソコノ最モ破レヌト云フ所ヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○政府委員(荒川邦藏君) 唯今御質問ノ趣意ハ各郡獨立シテサウシテ一ノ郡長ヲ置クニ差支ハナイト云フヤウナ御話デアリマスルガ今ノ郡制ヲ其各郡ニ施行スルト致シマスル例ヘバ甲乙丙丁三郡アリマス所ニ甲郡デモ郡會ヲ開キ郡參事會ヲ設ケ、乙ノ郡ニモ矢張郡會ヲ開カネバナラヌ而シテ經濟ヲ各別ニシテ行ツテ尙ホ郡長ハ一人シテ總テノコトヲ取扱フト云フコトハ到底永久ノ策デハナイ、到底切レナイト思ヒマス、殊ニ郡會ヲ起シ郡ノ經濟ヲ獨立ニシマシテ而シテ郡別ニ事業ヲ起スト云フコトニナリマスルト矢張、郡會ヲ開キマシテモ郡稅ヲ徵收スル力ガナイノデゴザイマスカラ形ハ存シテ居リマシテモ郡ト云フモノヲ獨立シテ郡制ヲ施行スルト云フコトノ目的ヲ達セラ

レヌノデゴザイマス、相當ノ郡デナケレバ……ソレデ歴史ヲ破ラズ昔ノ習慣ヲ存スル方ガ宜イト云フノ御話デアリマスレバソレハ即チ質問スル御方ノ御意見ト云フヨリ仕方ガナイ、此案ノ目的ハサウデナイト云フコトヲ政府委員ハ申シマス、村ニ於キマシテモ同ジコトデ矢張町村自治ト云フコトニシマシテ町村制ヲ行フト云フコトニナリマスルコト云フト殊ニ歴史ヲ破リ習慣ヲ破リマスカラ遺憾デハアリマスケレドモ相當ノ町村ト云フモノガソコニ備ツテ居ナイト矢張自治ト云フモノ、實ヲ舉ゲルコトハムツカシイ、以前ハ各町村ガ聯合シテ一ツノ郡長ヲ置キマシタガ最早今日デハソレガ保タレヌ、即チ町村制ト云フモノヲ行フニ附イテ其相當ノ資力アル町村ト云フモノガナクテハナラヌト云フ實際ノ有様デゴザイマスカラ其精神デ矢張り歴史ヲ破ツテ町村ヲ合併シタノデアリマス、勿論何處ノ地方ニ於キマシテモガ矢張り字ト云フモノデ多少分離ノ形勢ヲ成シテハ居ルノデアリマス、併シソレハ行政上ドウガナシテ餘リ懸隔ノナイヤウト云フテ務メルガ我々ノ本職デアリマス、是ヨリ多年ヲ期セズシテ幾分カノ目的ヲ達シ得ルモノト信ジテ居ル

○子爵谷干城君 ソレデ私ノ考ハ今其說明ニ附イテマス、今ノ村ヲ合セテ名ヲ消シタノデアリマス、合セテ一ツノ大キナ名ヲ附ケタト云フ理窟ニナル、決シテ村ノ名ヲ消シタノデアリマス、證據ヲ舉ゲテ申セバ私共ノ郷里ガ三日月村ト總稱シテ居ルケレドモ是ハホンノ聯合シテ居ル便利ノタメ附ケタノデマダ此中ニハ即チ隈村モアレバ圓行寺村モアレバ又萬々村法藏寺村杯ト云フ所モアリマス、色々聯合シテアレバマスケレドモ其名ハ他ノ聯合ノ名ガ一ツ附ケテアル、ソレデ郡制ヲ施クニシマシテモ舊來ノ郡ノ名ノ頭ヲ取ツテ又尾ヲ取ツテ喰ツ附ケルト云フヤウナコトヲシナクシテ聯合ノ上ヘ一ツノ名稱デモ附ケタラ宜カラウ、詰リソレデ行ハセヌカト思フ、サウスルト丁度此土佐ノ國邊リデ吾川、土佐、長岡ト云フ三郡ヲ其儘ニシテサウシテ郡役所ヲ置イテ居ツタヤウナト同ジ理窟ニ歸シハシナイカ、ソレガ行クナラバ私ノ考ハ段々段々ニ細イ郡ヲ合セテ統轄スルガ便利デアリ、今ノヤウナ細イ郡ガ分レテ居ルノハ好マヌケレドモソレヲ悉ク七様ニモ八様ニモ名ヲ變ズルト云フコトハ甚ダムツカシイ、ドウカ合セテ一郡ニスルノニ何故本制デハ仕樣ガナイカト云フガ私ノ考、決シテ是ガ惡イトハ云ハナイガソレハドウシテモ出來ヌノデゴザイマス

○政府委員(荒川邦藏君) 少シ要領ヲ得兼ネルヤウデゴザイマスガ唯今ノ郡役所ノ所轄ノ區域ト云フノガ今御陳述ニナツタ通ニナツテ居ル、何モ郡何モ郡長、何モ郡何モ郡役所ト斯ウシマシテ郡長ガ之ヲ治メテ居ル、何モ郡何モ郡長、今日ノ郡役所ノ所轄區域ハ郡制ヲ行ハヌ先キデアリマス、ソレハ郡ノ經濟モナケレバ郡會モ勿論ナイ、郡ト云フノハ昔ノ名稱ヲ存シテ居ルト云フダケデアリマス、ソレハ郡ノ形ニ依ツテハ一ツノ特別ノ事業ガナイカラソレデモ宜シイガ併シ郡會ヲ起シ郡ノ經濟ヲ獨立サセルト云フコトニナリマスレバソレデハドウモ行キヤウガナイ筈デアリマス、偶然ニ其三郡ヲ合セテ一郡長ガアツタナラバソレハ偶然ノ話デアリマスガ是ハモウ各郡ニ郡會ヲ夫々別ニシテ郡ノ經濟ヲ各別途ニシテ行クト云フ場合ニ於キマシテハ郡長一人ガ到底長ク管轄スルコトハ出來ナイ、唯今御質問ノ趣意ハ今日ノ儘ガ宜イト云フコトデアリマスレバソレハ別ノ問題即チ議論デアルト云フヨリ仕方ガナイ、

ソレカラ又少し立戻ッテ御説明スルノデスガ今日ノ府縣ニ於キマシテモ同ジコトデアリマス、昔ハ國ガ澤山アル、大名モ澤山アツタ、ソレヲ府縣ニシマシテ最早廢藩置縣以來二十幾年ニナツテ居リマス、昔ノ國ノ名稱ハナクナリマレタケレドガ府縣ハ一ツノ經濟團體ヲ成シテ居リマス、是ト詰リ同ジコトデアリマス、小サイト大キイノ差ガアルト云フダケデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別ニ御發議ガナケレバ本案ヲ第二讀會ニ移スヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ハ二讀會ニ移スベシト認メテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○伯爵清棲家敦君 此際議事日程ヲ變更シテ直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

(賛成)ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案第二讀會開クベシト決シテ且ツ委員長ヨリ第二讀會ヲ直ニ開クト云フ動議ガアリマス

(賛成)ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 賛成モゴザイマスカラ直ニ開キマシテ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ二讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ナクバ第二讀會委員ノ報告ヲ可決ト認メマ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○伯爵清棲家敦君 日程ヲ變更サレテ直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマ

○伯爵大原重朝君 賛成

○伯爵坊城俊章君 賛成

(尚)賛成ト呼フ者數名アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ三讀會ヲ開クノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ第三讀會ニ移リマス、朗讀ハ例ニ據ッテ省略致シマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ本案可決トナリマシタ、次ニ廣島縣下郡廢置法律案政府提出衆議院送付第一讀會ノ續、特別委員長ノ報告

(伯爵清棲家敦君演壇ニ登ル)

○伯爵清棲家敦君 此案モ前案ト同様同一委員ニ付託サレマシテ即チ政府委員ニモ質問ヲ致シマシタガ、然ルニ衆議院ノ修正ノ如クナリマシテ、一人ノ委員ノ中ニ異議ヲ申シマシタル者モゴザイマセズ、全會一致ヲ以テ可決スベキモノト議決ニナリマシテゴザイマスカラ此段ヲ申上ゲマス、尙ホ終リニ臨キマシテ、極ク簡單ナ案デモゴザイマスカラ、望ムラクハ讀會省略ノ順序ヲ以

テ議決アラシコトヲ望ミマス

○小原重哉君 讀會省略ニ賛成

○子爵錦織敏久君 賛成

○子爵伏原宣足君 賛成

○中西光三郎君 賛成

○調所廣丈君 賛成

○色部義太夫君 賛成

○菊池長四郎君 賛成

○男爵金子有卿君 賛成

○子爵堤功長君 賛成

(其他)賛成ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ガ成立チマシタ、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、次ニ本案ハ可決ト認メテ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ本案ハ可決ト認メマス、銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

(久本書記官朗讀)

銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年六月三日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文
大藏大臣伯爵井上馨

日本勸業銀行、農工銀行、臺灣銀行及ヒ其ノ他ノ銀行ニ關スル法律ニ於テ定メタル過料ニ付キテハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

附則

此ノ法律ハ非訟事件手續法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員添田壽一君演壇ニ登ル)

○政府委員(添田壽一君) 今日マデ此過料ノ裁判完結決定並ニ執行上ニ就キマシテ多少不明ノ點モゴザイマシタルデアリマス、然ルニ先刻衆議院ヨリ送付ニナリタリト云フ報告ノゴザイマシタル非訟事件手續法案ナルモノガ此度提出ニナリマシテ此上ニ於キマシテハ此民法並ニ商法ノ中ニ定メテ居ル過料ノ裁判完結決定執行等ノ手續ハ明瞭ニナッタデゴザイマス、ソレデ其他ノ法律命令ニ於キマス過料ノ事柄ガ益々明瞭ヲ缺クト云フコトニナツテ參リマシタ、故ニ此案ヲ提出致シマシタ譯デゴザイマスルガ、何卒速ニ御協賛成アラシコトヲ祈リマス

○議長(公署近衛篤磨君) 御異議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審
査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵内田正學君 本案ノ特別委員ハ議長ニ於テ選定アランコトヲ望ミマス

○子爵本莊壽巨君 賛成

○子爵伏原宣足君 賛成

○子爵錦織教久君 賛成

○議長(公署近衛篤磨君) 議長依託ニ御異議ハゴザイマセマカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公署近衛篤磨君) 然ラバ其通ニ決シマス、登録税法中改正法律案衆、
議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(子爵岡部長職君演壇ニ登ル)

○子爵岡部長職君 登録税法中改正案、是ハ衆議院ノ提出デアリマシテ、委
員ニ付託サレマシテカラ一昨日會議ヲ開キマシテ、即日ニ議決致シマシテ、譯
デゴザイマス、此改正法案ハ誠ニ簡單ナル案デゴザイマシテ、登録税法中ノ
第五條ノ改正ニ限リテ居リマス、第五條ノ「土地臺帳ニ左ノ事
項ヲ登録スルトキハ土地所有者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ」ト云フ
此第一號ヨリ十一號ニマデ列シテ居リマス、中ノ一部分ノ改正ニ係リマス
ノデアリマス、同條ノ第一號第二號ハ地價ノ設定復舊共地價千分ノ十ト現行
法ハナッテ居リマス、所ヲ改正案ハ復舊共ト云フ所ヲ省キマシテ、現行法ニ
依リマス、而シテ此復舊共ト云フ所ヲ第十一號ノ方ヘ持ッテ參リマシテ、現行法ニ
依リマス、第十一號ハ「分裂又ハ合併」ト云フ所ヲ、ソレヲ削除シマシテ、
地價ノ復舊ト云フコトヲ以テソレニ代ヘマシテ、ソレデ現行法ハ地價ノ設定
並ニ地價ノ復舊共ニ地價千分ノ十ト云フ割合ニナッテ居リマス、所ノ地價ノ設
定ト云フ所ハ現行ノ儘ニ致シテ地價ノ復舊ト云フ部分ヲ十一ノ方ヘ同シテ即
チ地價千分ノ一ト云フコトニ減ジマシテ、又同條ノ第九號地價
千分ノ十、此九號ハ低價年期ノ付與ト云フ目ニナッテ居リマス、低價年期ノ付
與ハ現行法ニ依リマス、所ノ地價千分ノ十トアリマス、之ヲ又千分ノ一ト
減ジマシテ、ソレカラ第十號第十一號ヲ左ノ通改ム、即チ第十號ハ現行法ニ依リマ
ス、所ノ地價千分ノ一ト云フコトニナリマシテ、サウ致シマス、所ノ地價千分
ノ一ト云フコトハ削減ニナッテ地租條例第二十二條ノ地價修正即チ其第二
十二條ナルモノハ低價年期明ケニ至リ尙ホ原地價ニ復シ難キモノ及荒地免租
年期明ケニ至リ原地目ニ復セズ他ノ地目ニ變ズルモノハ其地ノ現況ニ依リ地價
ヲ定ムト云フコトガ第二十二條ノ地價修正デアリマス、即チ今申シマシテ通第十
條ハ段別ノ増減ト云フ所ヲ止メテ地租條例第二十二條ノ地價修正ト云フコト
ニ改メマシテ、デゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ段々ト審議ヲ致シ又政
府委員ニモ段々質問ヲ致シマシタル所衆議院ノ提出案ハ成ル程他トノ割合上
或ハ權衡ヲ失ッテ餘リ少イヤナル嫌モアルケレドモ併ナガラ之ニ對シテ政
府ハ別ニ反對ヲ致スト云フ程ノ意見ヲ持ッテ居ル譯デハナイト云フコトデア
ルシ、又委員會ニ於キマシテモ段々審議ヲ致シマシタル所別ニ之ニ向ッテ反對
又ハ修正ヲ致ス程ノコトモアルマイ、折角衆議院ノ方カラス修正ヲ提出シ
タ以上ハ是ハ同意ヲ表シテ宜シカラウト云フコトニ相成リマシタノデ大體左

様ナコトデゴザイマス、又御質問ニ依リマシテハ御答ノ出來マスコトハ御答
ヲ致シマス

○伯爵萬里小路通房君 ちヨット委員長ニ質問ガゴザイマス

○子爵岡部長職君 ちヨット報告ガ落チマシタカラ添ヘテ置キマスガ諸君ノ
御手許ニ差出シテアリマス通、修正ハ則チ明治二十九年法律第二十七號登録稅
法中左ノ通改正追加スト衆議院カラ出テ居リマス、所ノ左ノ通改正ストシテ追
加ト云フ二字ヲ削リマシタノデ是ハ段々衆議院カノ參ッテ所ノ案ヲ調ベテ見
マス、所ノ改正ノ性質デアッテ別ニ新シイモノヲ追加シタト云フ譯デハナイ、
詰リ矢張り一號カラ十一號マデ、モノデアッテ其段別ノ増減ト云フモノハ地租
條例ノ第二十二條ノ地價修正トカ又ハ十一ノ分裂又ハ合併ト云フ所ノ地價ノ
復舊ト云フコトニ致ス、所ノ別ニ追加ト云フ性質ヲ持ッテ居リマセマカラソレ
故ニ單ニ改正スルト云フコトニ致シタ方ガ此案ノ精神ニ當ルダラウト云フノ
デ追加ト云フ二字ハ省キマシタノ別ニ理由ハナイノデス

○伯爵萬里小路通房君 此委員ノ模様ヲ伺ヒマスガ一昨日アタリデシタカ政
府カラ此登録稅ノ改正ノ意見ノ法律案ガ衆議院ノ方ニ出タヤウニ私ハ承知シ
テ居リマスガ其改正ノ模様ハ何モ別ニ委員會ノ方デ政府委員ノ話モナシ又御
質問モナカッタデアリマセウカ、全ク日ガ殆ド同日位ナコトデアリマセウカラ
分ラナシタカモ知レマセウガチヨット其事ヲ……

○子爵岡部長職君 御答ヲ致シマスガ其事モ委員會デチヨット疑問ガ起リマ
シタノデアリマス、併シ此改正案ニハ一向差響ヲ起サナイ之ヲ議スルニ方ッテ
一向其方ノコトヲ參考ニスルニハ及バナイト云フヤウナ政府委員カラノ答モ
アリマシタノデゴザイマス

○子爵内藤政共君 ちヨット質問ヲ致シマス、今マデ委員長ノ御報告ニ依リ
マス、所ノ變ッテ所ノ色々段々御説明ニナリマシタケレドモ本案ノ千分ノ十
バ千分ノ一ニスルト云フコト隨分非常ナ差デアリマスガ之ヲドウシテ斯ウセネ
バナラヌト云フ理由ハチヨットモ御述べニナリマセウカラソレヲチヨット伺
ヒタイ

○子爵岡部長職君 御答致シマス、唯今概略御報告ヲ致シマシタ如クニ委員
會ニ於キマシテモ必スモ斯ウ衆議院カラシテ週附セラレマシタ如ク修正セ
ネバナラヌト云フ程ノ固イ意見ヲ持ッテ者ハ一人モナイ、加之委員中ノ一人
ハ此ノ如ク細カイ修正デアアルナラバ先ヅ此タビハ此修正ハ致サナイ方ガ宜カ
ラウト云フ説ヲ持テラレタ方モ一人アリマシタ位デ其他ハ別ニ之ヲ修正致シ
タイト云フテ左程不都合ナコトモアルマイ、又政府ニ問フテモ政府ノ答モ之
ニ對シテ反對ヲ表スルト云フ程ノコトデアナイト云フノデ衆議院提出ノ意ヲ容
レテ可決ヲ致シタ次第デアリマス、是非此修正ヲ行ハネバナラヌト云フ程
ノ理由ハ確メテ可決致シタモノデハナイ

○伯爵萬里小路通房君 モウ一應委員長ニ質問シマス今述ベラレタ通成ル程
事柄ニ於テ支ヘモ何ニモアリマスマイガ或ハ字句ソレカラ又條杯ノコトニ於
テ矢張衆議院ノ今委員會デ議シテ居ル結果ガ茲ニ波及シテ又此法律案ヲ變ヘ
テ來ニヤアナラヌダケノコトニナラヌト言ハニ二度手間デアアルカラト云フ考
デアリマス、カス此質問ヲスルノデ、事柄ハマルデ支 ハアリマス、マイガ例ヘバ
條ヲ殖シテ來レバ又條ヲドウカ動シテ來ネバナラヌトカ何トカ云フコトヲ今
政府ノ提出ノ改正案ヲ議シタ結果ニ依ッテ之ヲ條ナリ意味ナリヲ改正シテ

來ヌデモ宜イト云フコトマデ分ッテ居ルデアリマセウカ、今日之ヲ折角委員長ノ御報告通決シタ所ガ今一ツノ改正案ノ結果ニ依ッテ今又變ヘネバナラヌト云フコトガアレバ暫ク見合ハシタ方ガ私ハ宜カラウト思ヒマスカラ此事ヲ質問致シマス

○子爵岡部長職君 唯今御答ヘ致シマシタケノコトデ委員會ハ其餘ニ互ッテ審議ハ致シマセヌデゴザイマス

○伯爵萬里小路通房君 政府委員ニ今ノ意味ヲ質問致シタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 萬里小路伯爵ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、昨今衆議院ヘ政府ヨリ提出ニナッテ居リマス登録税法中改正ノ件ハ主トシテ民法及其施行規則、商法及其施行規則ノ制定ニ伴ヒマシテ從來ニ比シテ登記事項ノ新設ニナッテモノガ多クゴザイマス、例ヘバ民法ニ於キマシテ地上權地益權トカ云フ從來登記ニナッテ居ラヌ登記事項ヲ生シテ來タ譯デアリマス、其他商法ニ於キマシテモ條項其他現在ノ登記法ニ之アラザル分ガ大分出テ居リマス、依ッテ之ニ伴ヒマシテ登録税法ノ改正モ此度必要トナッテ譯デアリマス、主トシテ其改正ノ點ハ登録税法第二條ニゴザイマス、是ハ五條ノ改正デゴザイマシテ別種デアアルノデゴザイマス、是ニテ宜シウゴザイマスカ

○伯爵萬里小路通房君 サウスルト別ニドウアチラノ結果ガナッテモ又之ヲ動サナクテハナラヌト云フ面倒ハアリマセウカ

○政府委員(目賀田種太郎君) 條項ノ上ニハ關係ハゴザイマセヌ、サリナガラ一案二案ト別ナ案ニハナルコトデ、ソレカラ先ハ御評議ニ任セルコトデ……

○伯爵萬里小路通房君 モウ一遍政府委員ニ御尋ガアリマスカ、ソレマデ待ッタラ如何デゴザイマスカ、待タヌデ急イデヤラナケレバナラヌカ

○政府委員(目賀田種太郎君) ソレハ全ク此院ノ御評議ニ在ルコトデゴザイマス

○伯爵萬里小路通房君 政府委員ノ方デハドチラニナッテモ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(目賀田種太郎君) 一向差支ハナイコトデゴザイマス

○伯爵萬里小路通房君 ソレデハ發言シマスカ、即チ單簡ナ意味デアッテ二度手間ヲスルヨリモ、ソレヲ待ッテ議シタラバ如何デアリマセウカ、今日之ヲ直ニ議サズニ暫ク見合シテ宜カラウト本員ハ考ヘマス、幸イ諸君ニ御意見ガアレバ伺ヒマスシ、御同意ナラバ御賛成ヲ願ヒマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 萬里小路伯爵ノハ何デスカ、登録税法ノ改正案ガ政府カラ衆議院ニ出テ居ルカラソレノ來ルマデ待ッテソレト一緒ニ合セテ一ツノ案ニシタラ宜カラウト云フ御考デアリマスカ

○伯爵萬里小路通房君 サウデゴザイマス

○伯爵大原重朝君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 萬里小路伯爵ノ動議ハ皆サン御聽取ニナッタト思ヒマスガ之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス、次ニ本案第二讀會ニ移ルヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ヲ第二讀會ニ移スト云フニ御異議ガナクバ其通ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 第二讀會ニ移スベシト決シマシタ

○子爵岡部長職君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○子爵山本實庸君 贊成

○伯爵坊城俊章君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ガナクバ直ニ開キマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ第二讀會ニ移リマス、朗讀ハ省略致シマス

○中西光三郎君 私ハ委員長報告ノ追加ノ二字ヲ削除スルコトヲ贊成致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 委員會ノ修正ニ御異議ガナクバ其通ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ第二讀會ハ了リマシタ

○子爵岡部長職君 直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○伯爵坊城俊章君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 三讀會ヲ開クニ御異議ガナクバ……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ三讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマス……

本案ハ御異議ガナクバ可決ト認メマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○村田保君 建議ヲ致シマス、第七議事日程ト申シマスルモノハ、是ハ政府又ハ衆議院ノ提出デモゴザイマセヌカラ、ドウゾ第七ノ後トヘ振リマシテ第八第九ノ先キニシテ其次ニ致シタイト云フ議事日程變更ノ動議ヲ提出致シマス

○男爵伊達宗敦君 贊成

○子爵松平乘承君 村田君ノ議事日程變更ノ動議ニ贊成致シマス

○男爵西五辻文仲君 贊成

○子爵一柳末德君 贊成

○伯爵坊城俊章君 贊成

(「其他」贊成「ト呼フ者數名アリ」)

○議長(公爵近衛篤磨君) 議事日程變更ノ動議ガ出マシタ、之ニ御異議ガナクバ……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

第三貴族院多額納稅者議員及衆議院議員ノ資格ニ關スル法令ニ依ルトキハ
專ラ納稅ヲ重シスルコトハ上來論スルカ如ク假令實際ニ多額ノ土地ヲ所有
スルモ納稅ノ額規定ニ達セサルトキハ其資格ヲ有スルコトヲ得ス之ニ反シ
テ郡制ノ大地主ハ郡内ニ於テ町村稅ノ賦課ヲ受クヘキ所有地ニシテ地價一
萬圓以上ヲ有スレハ足レリ前者ハ納稅ノ點ニ缺クル所アレハ資格ナキモ
ナレトモ後者ハ納稅ノ點ニ重キヲ置カスニテ只タ地價一萬圓ニ達スル土地
ヲ所有スルヲ要スルノ故ニ其精神ヲ推及シテ假令土地所有者ハ未タ登記
ヲ經サルモ讓受若ハ買受ノ約束アレハ有效ナリトノ判例ヲ得ルニ至レリ
前陳ノ理由ニ依リ被告ノ當選ハ適法ニシテ無効ノモノニアラス從テ原告ノ
請求ヲ棄却ストノ判決ヲ仰キタシト云フニ在リ

判決ノ理由

本件原告被告爭フ所ノ要點ハ貴族院多額納稅者議員ノ互選資格ニ必要ナル納
稅地所有權ノ移轉如何ニ在リ之ヲ審按スルニ貴族院令第六條ニ各府縣ニ於
テ滿三十歲以上ノ男子ニシテ土地或ハ工業商業ニ付多額ノ直接國稅ヲ納
ムル者云々トアリ又貴族院多額納稅者議員互選規則第二條ニ家督ニ依リ財產
ヲ相續シタル者ハ其財產ニ付前財產主ノ納稅額云々トアリテ其納稅地ノ所
有ヲ要スヘキハ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ之ヲ本訴ニ適用スレハ被告ノ投票
シタル宇野清左衛門カ互選名簿調製ノ期日前明治二十九年七月其納稅地ノ
內三百四十三筆ヲ宇野壽之ニ讓渡シタルノ事實ハ甲第四號乃至甲第七號證
ニ依リ明確ナルヲ以テ未タ登記ヲ經サルモ其所有權既ニ他ニ移轉シ互選人
資格ヲ失ヒタル者ナレバ其爲シタル投票ハ無効ト爲サルヲ得然ラハ被
告ノ得點數ハ原告ノ得點數ヨリ一票減スルヲ以テ原告ハ當然當選人タラサ
ルヘカラス

判決

貴族院ハ被告茨城縣選出貴族院多額納稅者議員松村修平ノ當選ヲ無効トシ
原告茨城縣多額納稅者議員互選人荒野由次郎ヲ以テ當選人ナリト判決ス
原告荒野由次郎ヨリ被告貴族院議員松村修平ニ係ル當選取消ノ訴訟ニ付
キ資格審査委員會ノ報告ニ對スル少數者ノ意見
右貴族院規則第四十二條ニ依リ提出候也

資格審査委員

馬屋原 彰
水野 遵
木下 廣次

貴族院議長公署近衛篤磨殿

原告荒野由次郎ヨリ被告貴族院議員松村修平ニ係ル當選取消ノ訴訟ニ
付キ資格審査委員會ノ報告ニ對スル少數者ノ意見

本案當選訴訟ノ基因ハ宇野兄弟相互間ノ土地讓渡契約ニ基クモノナレハ其
ノ爭點ハ私證書ノ效力ハ公示ノ性質アル登記簿及土地臺帳ノ效力ヲ消滅シ
得ルヤ否ヤニ在リ

甲乙二人即當事者間ニ於ケル契約ハ相互ノ意思ヲ推測認定シ得ヘキ事實ニ
依リテ證明スルモ素ヨリ妨ケナシ然レトモ他人即第三者ノ權利ノ消長ニ關
スル當事者間ノ契約ハ公示ノ性質アル證書ニ依テ證明スルニアラサレ
ハ證據ノ效力ナキコトハ證據法ノ原則ナリトス若シ此原則ヲ無視スルトキ

ハ各人ノ權利ハ常ニ他人ニ左右セラレテ安寧ノ期アルコトナシ此故ニ諸國
ノ法皆第三者ノ利益ニ關シテハ私證書ハ公證書ニ對立スルコト能ハストセ
リ奈何トナレハ私證書ハ秘密ノ特性ヲ有シ公證書ハ公示ノ性質アルヲ以テ
ナリ

此ノ原則ハ民法特設ノモノニアラスシテ公法上即選舉ニ關スル訴訟ニ於テ
證據ノ效力ヲ判斷スルニモ素ヨリ適用スヘキ法理ナリ之ヲ實際ニ徵スルニ
各府縣ニ於テ互選名簿ヲ調製スルニ當リ互選人ノ土地所有權ヲ決スルニハ
凡テ公證書タル登記簿及土地臺帳ニ依據シ私證書ヲ採用セサルハ亦此ノ法
理ニ基クモノナリ然ルニ委員會ノ決議ハ公私兩證ノ效力如何ヲ顧ミス偏ニ
當事者相互間ノ私證書ニ重キヲ置キ之ヲ以テ登記簿及土地臺帳ニ對立セシ
メントスルハ即チ私證書ヲ以テ公證書ニ對抗スルモノニシテ明カニ證據法
ノ原則ニ矛盾セル不當ノ決定ト云ハサルヘカラス依テ本委員會等ハ爰ニ證據
判斷上ノ原則ニ遵ヒ本案宇野兄弟間ノ私證書ハ登記簿及土地臺帳ノ證明ヲ
左右スル能ハサルモノナレハ本院ノ審判上全然之ヲ認ムヘカラサルモノト
信ス從テ宇野清左衛門ハ引續キ其ノ土地ノ所有者タルコトヲ失ハスシテ其
右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ

判決

貴族院ハ茨城縣選出多額納稅者議員松村修平ノ當選ハ無効ニアラスト判決
ス

○村田保君 朗讀ハドウゾ御省略ヲ願ヒタイ、隨分長ウゴザイマスシ、皆サ
ン御分リニナッテ居ルコトダラウト思ヒマスカラ……

○議長(公署近衛篤磨君) 朗讀省略ヲ望ム御方ガ多ケレバ其通致シマス
(異議ナシ)ト呼フ者アリ

(村田保君演壇ニ登ル)

○村田保君 本爭訟ハ去ル五月十九日ニ茨城縣多額納稅者議員互選人荒野由
次郎氏ヨリ同縣多額納稅者議員松村修平君ニ係リマスル當選訴訟請求ノ訴狀
ガ正副二通出マシタノデ、翌二十日ニ委員會ハ第一回會議ヲ開キマシテ右副
本一通ヲ被告松村修平君ニ送達ヲ致シ、同時ニ二十一日間ニ答辯書ヲ
差出シヤウニ通知ヲ致シマシタ、且ツ此事件ハ餘程事實ニ立入りマセメデハ
分リマセヌコトガ往々ゴザイマスカラ證據書類ヲ徵集致シマス必要ガゴザイ
マスルカラ議長ヨリ政府ヘ要求ヲシテ此筋ノ手ヲ經テ其證據書類ノ徵集ノコ
トヲ議長ニ請求致シマシタ、同日二十一日原告荒野由次郎氏ヨリ追申書正副
二通ト云フモノガ又出マシタ、同日其副本一通ヲ被告松村修平君ニ送達ヲ致
シ、是レ亦二十一日ヨリ五日間ニ其答辯書ヲ差出シヤウニ通知ヲ致シテ置キ
マシタ、同月二十三日原告荒野由次郎氏ヨリ理由追申書ト云フモノガ正副二
通出マシタ、是モ即日被告松村修平君ニ副本一通ヲ送達致シマシテ其日ヨリ
五日間ニ答辯書ヲ差出シヤウニ通知ヲ致シテ置キマシタ、同月二十四日ニ又
原告荒野由次郎氏ヨリ所得納稅ニ對スル區別上申書ト申シマスルモノガ正副
二通出マシタ、是モ同時ニ副本一本ヲ被告松村修平君ニ送達ヲ致シ其日ヨリ
四日間ニ答辯書ヲ差出シヤウニ通知ヲ致シテ置キマシタ、同月二十五日ニナ
リマシテ被告松村修平君ヨリ答辯書正副二通ヲ受取りマシタ、同日副本一通

原告荒野由次郎氏ニ送達ヲ致シマシタ、同月二十七日被告松村修平君ヨリ
追申上申書ニ對スル答辯並表中訂正申請書正副四通ヲ受取リマシタ、同日其
副本二通ヲ原告荒野由次郎氏ニ送達致シマシタ、同月二十八日原告荒野由次
郎氏ヨリ追加答辯ニ對スル辨駁書ヲ受取リマシタ、是モ同日其副本ヲ被告ニ
送達ヲ致シマシタ、同日即チ五月二十八日ニ別ニ議長ヨリ政府ニ要求ヲ致シ
マシタ所ノ證據書類ヲバ内閣總理大臣ヨリ回送ニナリマシタ、同月三十一日ニ
被告松村修平君ヨリ答辯訂正並ニ追申書正副四通ヲ受取リマシタ、同時ニ
其副本二通ヲ原告荒野由次郎氏ニ送達致シマシタ、大概是デ略、書類モ集リマ
シタト存ジマス、カヲ即チ三十一日ニ資格委員會ヲ開キマシタ、是等ノ書類ニ就
キマシテ一應取調ヲ致シマシタ、其時分ニハ隨分相應ニ議論ハ致シマシタガ
其日ハ唯其討論ダケニ止メ置キマシタ、六月一日ニ即チ其翌日ニハ又全員出
席イタシマシテ更ニ前日ノ議事ニ引續イテ協議ヲ致シマシタ、其日ハ遂ニ日
沒マデ評議ヲ致シマシタケレドモ十分決議ニ至リマセヌ、ソレデ其翌二日一
日ハ各自ニ於テ尙ホ十分勘考モシテ一日ヲ置イテ其翌日即チ三日ノ日ニ更ニ
集ッテ評議ヲ致スト云フコトニ極メマシテ其日ハ散會ヲ致シマシタノデ、三
日ニナリマシテ又被告松村修平君ヨリ茨城縣多額納稅者當選爭訟ニ關スル參
考書並ニ理由書其他土地臺帳ノ寫シヲ差出シニナリマシタガ、是ハモウ我々
委員ノ評議ノ後デゴザイマシテ原告ニ送達スル必要モナイト存ジマシタカラ
シテハ送達ヲ致シマセヌ、又本日ニナリマシテモ原告カラシテ參考書ト云
フモノモ出マスルヤウナ譯デ實ニ書類ガ雙方カラ續々ト出マシタ、即チ此所
ニゴザイマス如ク斯ノ如ク書類ガ出テ居リマスヤウナ譯、中ニ一朝一夕ニ之
ヲ議スルト云フコトハ餘程容易ナコトデハゴザイマセヌケレドモ短期ノ議會
デモゴザイマスカラ是非三日ニハ議決ヲ致シタイト存ジマシテ點燈マデ……
明リヲツケテ後マデモ雙方ガ辯論討論等ヲ致シマシテサウシテ遂ニ此報告ノ
如ク決シマシタ譯デゴザイマス、併ナガラ此報告書ハ誠ニ遺憾デハゴザイマ
スケレドモ全會一致ノ報告ト云フコトガ出來マセヌ、委員六人ニ對シマスル
三人ノ反對說ガ出マシテ即チ反對者カラ少數ノ意見ガ出ルト云フコトニナリ
マシタノデゴザイマス、ソレデ此原被ノ爭ヒマスル所ノ要點ヲ摘ンデ申上ゲ
マスレバ原告荒野由次郎氏ノ主張致シマスル所ノ點ト申シマスルモノハ同縣
多數納稅者互選ノ宇野清左衛門ト申シマスル者ガ其所有ノ土地三百四十三筆
ト云フモノヲ宇野壽之ヲ以テ讓渡シ之ヲ以テ壽之ナル者ガ郡制施行ノ際ニ
大地主ノ資格ヲ得タ者デアル、ソレ故ニ此大地主ノ資格ハソレヲ以テ得タ
ルガタメニ其地所ト云フモノハ既ニ讓渡シタル以上ハ宇野清左衛門ナル者ハ
モウ資格ノナイモノデアル、唯其未ダ土地ノ登記ガ致シテゴザイマセヌタメ
ニ、土地臺帳ニ名前ガ存シテ居ル、土地臺帳ニ名前ガ存シテ居ルノヲ奇貨トシ
テサウシテ互選ノ名簿ト云フモノヲ作り互選人トナツタ、是ハ自ラ事實ヲ欺キ
縣廳ヘ不實ノ申告ヲシテ納稅額ヲ詐稱シタル不法ノ行為デアル、故ニ是ハ互
選人ノ資格ハナイモノデアルト云フコトヲ原告ハ主張ヲ致シテ居ル、ソレ
カラ被告ガ之ニ答ヘマシテ答辯致シマス所ハ成ル程ソレハ讓渡シタダラウ、
併レ右ノ讓渡ト云フモノハ一時ノ策略カラ出タモノデアル、ソレ故ニ此宇野
清左衛門ト云フモノハ依然トシテ今ダニ名義ヲ土地臺帳ニ存シテ居ルシ又地
租並ニ所得稅ト云フモノヲ今日マデ引續イテ納メテ居ルデハナイカ、又事實

賣渡サマト云フ證據ニハ其後其土地ノ一部分ヲ他人ニ讓渡シタデハナイ
カ、又原告ノ申シテ居リマスル讓渡證文ト云フモノハ今日壽之ノ手ニハナイ
デハナイカ、ソレ故ニ是ハ全クソレヲ見テモ虛構ノ讓渡ト云フコトガ分リハ
セヌカ、又宇野清左衛門ハ讓渡後二箇年間今以テ名前ガ土地臺帳ニ存シテ居
ル所ヲ見テモ宇野清左衛門ト云フ者ノ所有ハ明デハナイカ、唯ソレハ大地主
ノ資格ヲ製造スルガタメニ一時郡衙ヲ誤認セシムル外ニハナイコトダト思
フ、ソレ故ニ決シテ此宇野清左衛門ニ於テ資格ヲ失ッテ居ラヌト云フノガ被
告ノ答辯スル所デアル、ソレデ委員會ニ於キマシテハ其原被ノ申シマスル所
デハ數日間討論ヲシマシテ遂ニ此爭點ニ附イテハ二様ニ分レテ仕舞ッタノデ
ス、六人……内六人ハ原告ノ申立ガ當然デアル内三人ハ被告ノ答辯ガ當然デ
アル、斯ク此問題ガ二様ニ分レマシタト申シマスルモノハ多數ノ意見ハ此所
有權ノ移轉ト申シマスルモノハ契約ノトキニ成立スルモノデアル、又少數者
ノ見ル所モ是ハ登記簿又ハ土地臺帳ニ依ッテ所有權ト云フモノハ確メラレル
モノデアルト云フ所ガ即チ二様ニ分レタ所以デアル、ソレデ委員會ニ於キマ
シテ其二様ニ分レマシタ所ヲ討論ヲ致シマシタ所ヲ概略申上ゲヤウト存ジ
マス、少數者ノ主張ヲシマスル所ノ意見ト申シマスルモノハ此讓渡證文ト
云フモノハ是ハ兩人間デ出來タル所ノ私證書デアル、ソレ故ニ兩人間ノ契約
ナラバソレハ有效デモアラウガ若シ之ニ第三者ガ加ッタ時ニハ所謂公證ノ力
アル所ノモノデナケレバ證據トハナラヌ、ソレ故ニ此所有權ノ移轉ト云フモ
ノハ公示ノ性質ノアル登記ニ依ラナケレバ效ノナイモノダト云フノガ一ツノ
理由デアル、又此衆議院選舉規則第三條二項ニ「賣買讓與ニ依リ土地所有權
移轉ノ場合ニ於テ其所有ノ年限ヲ算スルハ登記ノ日ニ依ルヘシ」ト云フコト
ガアルデハナイカ、ソレガアッテ見レバ宇野清左衛門ノ土地臺帳ニ其名前ガ
存シ、未ダ登記ヲシナイ中ハ其土地ノ所有權ト云フモノハ確ニアルモノダト
云フノガ是ガ少數者ノ意見デアル、即チ主張スル所ノ意見デアル、ソレカラ
多數ノ意見ト申シマスルモノハ之ニ反對シマスル所ハ多數者ノ意見デハ此宇
野清左衛門ノ宇野壽之ニ讓渡シタル所ト云フモノニ附イテハ一點ノ疑ノナイモ
ノダ、其所有權ヲ移轉シテ居ルコトモ一點ノ疑ヲ抱カヌ、是ハ何ヲ以テソレ
ハ證據立テルカト云ヘハ事實ニ附イテ論ズルヨリ外ニハ仕方ガナカラウ、併
シ其實ニ附キマシテモ隨分強弱ノ事實ガアルモノデスガ尤モ強イ所ノ事實
ニ付テ之ヲ證明スレバ即チ其本人ナル宇野清左衛門ガ自ラ其土地ヲ讓渡シ
ト申シマスル證文ヲ書イテソレニ自分ガ印ヲ押シテ之ヲ官廳ヘ差出シテ居
ル、是ガ即チ内閣總理大臣カラ送ラレマシタル其中ニ當人ノ實印ノ押シタル
モノガアル、讓渡ト云フ……是ガ最モ強イ所ノ事實デアル、又モウ一ツ強イ
所ノ事實ト申シマスルモノハ其御手許ニゴザイマスル甲第四號證、是ニ宇野
壽之ナル者ガ其讓渡シタルト云フ、之ヲ讓渡シタルト云フ書面ヲバ郡衙ヘ持ッ
テ參ッテソレヲ見セサウシテ自分カ大地主ノ資格ヲバソレデ得テ居ル、確ニ
自分ノ所有ダト云フコトヲ言ッテサウシテ即チ大地主ノ資格ヲ得テ居ル、是
モ即チ政府カラ送付ニナリマシタル書面トチヤント符合ヲ致シテ居リマス、
又此爭訟ニ關シテ居リマスル被告二人ハ於テモ此讓渡ハ是認ヲシテ居リマス、
ガ讓渡シテモ其讓渡ト云フモノハ其虛構ノ讓渡ダト云フコトヲ言ッテ居ル、
ソレデ是等ノ事實ニ徵シマシテモ其讓渡ト云フモノハ極ク判然シテ居ルト多

數ノ意見ハ認メテ居ル、ソレデ此所有權ノ移轉ト云フモノハ一體何カラ成立
ツモノダト云ヘバ是ハ契約ノ時ニ所有權ノ移轉ト云フモノハ是ハ明ニ分ツタ
コトデアアル、又土地ト云フモノハドウ云フモノダト云ヘバ登記ト云フモノハ
是ハ所有權移轉ノメデナイ、唯公示方法ニ過ギヌモノデアアルト云フコトモ
是モ明ニ分ツタコトデゴザイマス、カヲ少シク法律ヲ解スル者ハ此點ニ疑ハナ
イダラウト思フ、ソレハ何ニ依ツテソレヲ言フカト言ヘバ即チ民法、民法ノ
百七十六條物件ノ設定及移轉ハ當事者ノ意思表示ノニ依ツテ其效力ヲ生ズ
ト云フコトガアル、物件ノ設定移轉ハ當事者ノ意思表示ノニ依ツテ其效力
カヲ生ズルト云フコトデゴザイマス、カヲ無論契約ガ雙方ノ合意ニ成立ツタ時
ニハ直グト其所有權ノ移轉スルト云フコトハ法律ニソレヲ定メテ居ル、又登
記法第六條ニ「登記ヲ爲サ、ル地所建物船舶ノ賣買讓與質入ハ第三者ニ
對シ法律上其効ナキモノトス」ト云フコトガアル、第三者ニ對シテ法律上其
効ナキモノデスカラ第三者カラ故障デモ起ツタ時ノ外ハ決シテ其効ノナイモ
ノダト云フノデ、唯即チ公示ノ方法ニ過ギヌモノデアリマシテ第三者ニ對シテ
効ノナイト云フダケノコトデアアル、又此事ニ附キマシテ此大審院ノ判決例ヲ
見マシテモ「公證簿ノ登錄ハ公示ノ方法ニ外ナラスシテ所有權移轉ニ要
スル公示ニハアラス、故ニ公證簿ノ登錄ヲ受ケサルモ地所所有權ハ讓與
ノ契約ニ依リ讓受人ニ移轉ス」ト云フコトガ大審院ノ判決ニモアル、ソ
レデ是等ノ法律又判決例ニ依リマシテモ所有權ノ既ニ移轉シテ居ルト云
フコトハ明カデアラウト存ズルノデス、ソレデ被告ニ於キマシテ此讓渡
ハ虛構ダトカ不實ダトカ一時ノ策略ニ出タノデ、郡衙ヲ誤認セシムルタ
メニ作ツタモノデアアツテ眞實ノ讓渡デハナイト云フコトヲ述ベテ居リマス、ケ
レドモ抑、此字野壽之ト云フ者ガ郡衙ニ出マシテ異議ヲ申立テ、此證書ヲ
以テ自分ノ所有權ヲ確メテ大地主ノ資格ヲ得タトキハドウカ、即チ自分ハ
確ニ讓受ケタト云フコトヲ言ツタデハナイカ、又字野清左衛門ガ村役場ニ
召喚サレテ申立テタトキニモ是ダケハ自分ノ所有ダト申立ツタデハナイ
カ、是モ内閣總理大臣カラ送ツタ書類ノ中ニ其證據ガアル、村役場デ當人
ヲ呼出シタトキノコトヲモ、斯ノ如ク明ナルモノヲ虛構ダトカ一時郡
衙ヲ誤認セシメタトカ云ヒ同一ノ地租ヲ以テ一人ハ大地主ノ資格ヲ得、一人
ハ其地租ヲ以テ郡會議員ノ資格ヲ得ルト云フコトハ是ハアルマジキコトデア
ラウト思フ、是ハ一口ニ申セバ此所爲タルヤ全ク官ヲ誣ヒ社會ヲ欺イタコト
デ殆ト道德德義ト云フコトモ地ニ墮チタコト、考ヘマス、此議場ハ最モ神聖
ヲ保タナケレバナラヌ、シテ見レバ最モ潔白ナ瑕疵ノナイ人デナケレバナラ
ヌト思ヒマス、ソレデ委員ノ多數ハ字野清左衛門ニ土地ヲ讓渡シタ事實ハ明
白ニシテ一ノ疑ナイモノデアリマス、又所有權ヲ移轉シタコトモ今日ノ法律
ニ照シテ明瞭デアアル、ソレデ當事者ハ斯ノ如ク雙方トモ實ツタ讓渡ト言ヒ
又郡衙ニモ認メテ居ルモノヲ被告ガ傍カラ之ニ對シテ虛構ノ讓渡デアルト云
フコトハドウモ我々委員ニ於キマシテソレヲ允諾スルコトハ出來ナイ、否本
議場ニ於キマシテモ斯ノ如キコトハ尙更御認メニナルマイト存ジマス、又
少數者ノ中ノ或ル者ハ貴族院多額納稅者互選規則ト衆議院議員ノ選舉規則ト
ハ性質ヲ異ニシテ居ルモノデアアル、ソレデ互選人ハ多額ノ納稅ヲスル者デア
レバ納稅ト云フコトヲ重キトシテ居ル、又衆議院ノ規則ニハ土地ヲ所有スル

トアツテ土地ニ重キヲ置イテ居ル、ソレ故ニ字野清左衛門ガ今日マデ引續イ
テ地租ヲ納メテ居レバ其資格ニ於テ缺ケル所ハ無イト云フ說モゴザイマス
ガ、併シ貴族院令第六條ヲ見マスルト「土地或ハ工業商業ニ付多額ノ直接國
稅ヲ納ムル者」トゴザイマス、此多額ノ國稅ヲ納ムルニハ土地ヲ所有シナケ
レバ納ムベキ稅ノ要素ト云フモノガナイカラソレ等ハ言ハヌデモ所有ト云フ
コトハ其中ニ含ンデアアル、又互選規則第二條ニモ「家督ニ由リ財產ヲ相續シ
ル者ハ其ノ財產ニ付」云々トアリマス、カヲ之ヲ見テモ財產ト云フコトガゴザ
イマス、カヲ土地ヲ所有スルト云フコトハ之ヲ見テモ明デアアル、ソレ故ニ土地
ト納稅ト相離レヌト云フコトハ是等カラ推シテモ能ク分ルコト、思ヒマス
ル、又或ル說ニハ原告ガ今日之ヲ訴ヘルト云フノハ既ニ時機ヲ失ツテ居ルデ
ハナイカ、故障申立ノ時間モ經過シテ居ルシ既ニ互選規則第十一條第三項ニ
「一期限ヲ經過シタル後申立ヲ爲スモ其ノ効ナシ」ト云フコトガアル、ソレ
故ニ今日之ヲ訴ヘルノハ甚ダ時機ヲ失シテ居ルト云フ說モゴザイマスガ、是
ハドウモ法理ト實例トヲ能ク辨ヘヌ論デハナイカト思ヒマス、ナゼカト云ヘ
バ貴族院規則ニハ議員ト云フモノハ其資格ニ附イテ何時デモ異議ヲ申立テル
コトガ出來ルカラ今日議場ニ列セラレテ居ル御方デモ議員ノ資格ニ附イテ缺
ケテ居レバ、イツ何時デモ異議ヲ申立テ、宜イト云フコトガ規則ニアリ既ニ
其實例モアル、既ニ第三回議會ノ時ニ有爵者中ニ「此議場ニ列席セラレテ
居ル有爵者中ニ他ノ有爵者カラシテ資格ニ附イテ異議ヲ申立ガアツタコトガ
アル、是ガ即チ其實例デアリマス、ソレ故ニ時機ヲ失シテ居ルト云フコトハ
ナイト思ヒマス、何時デモ出來ルコトデ互選規則ニハ故障ヲ申立テルニハ名
簿確定ノ後ハイカヌト云フコトハナイ、故ニ其後ト雖モ資格上ノ異議ヲ申立
テラレヌト云フコトハナイ、其他ニモ多少議論ハゴザイマシタガ多クハ枝葉
ニ涉ルコトガ多ウゴザイマシテ餘リ御報告ニ及ブ程ノ必要ハナイト思ヒマ
ス、一體此訴訟ト申シマスルモノハ唯今申シマシタ所デハ別ニムツカシイコ
トモナイ至ツテ簡單ナヤウデゴザイマスガ中ニ是ハ入組ンデ居リマシテ既ニ
原被雙方ヨリ數十通ノ書類モ出マスル位デゴザイマス、又委員會デモ此
位ニ唯今マデ勉強シタコトハナイ、明リヲ附ケルマデ勉強シタト云フ位ニ勉
強シテ雙方ノ意見ヲ十分戰ハシタノデゴザイマス、ソレデ少數者ノ意見モ
ゴザイマス、ドウゾ此事ト云フモノハ十分ニ研究シテ討論ニ討論ヲ盡シ
テ定メタイト存ジマス、段々通告者モゴザイマス、様子デゴザイマス、カ
ラ、イツモ通告ガ終ラズシテ三人辯論ガゴザイマス、ト直ニ討論終結ト云フ
モノガ出マシテ、ドウモ銘々述ベル所ヲ十分ニ盡サヌト云フコトハ甚ダ遺憾
ノコトデアリマス、隨分是ハ議員一身ニ附イテハ重大ノ關係ヲ有ツテ居
ルモノデアリマス、十分ニ雙方ノ意見ヲ聞ハシタ上ニ決シタイト思ヒマ
スカラ、本員ハ唯今ヨリ希望致シテ置キマス、尙ホ終リニ望ンデ申上ゲマスガ
此案ガ委員多數ノ如クニ可決ニナリマシタラ原告ハ被告ニ投票シマシタ所ノ
字野清左衛門ノ投票一票ガ無効ニ歸スルモノデアリマス、カヲ即チ原告ガ
一票多數ヲ得ルコトニナリマス、カヲ原告ガ當選人トナリ、更ニ選舉仕直シト
云フコトハナイト思ヒマス、此事モ附加ヘテ申上ゲテ置キマス、尙又採決ノ
際ニハ先例ノ通無名投票ヲ以テ御決定アラントヲ希望致シマス、ソレカラ
尙ホ一言申上ゲマスルガ何レ少數意見ガ出ラダラウト思ヒマスルカラ少數者

ノ意見ニ依リマシテハ尙ホ其次第二依ッテハ本員カラ辯駁ヲ致シマスル積リ
デ、ツレモ併デ……

○子爵谷千城君 チョット質問ヲ……此一夜作リトカ何トカ云フコトガ出テ
居リマスルガ私ハ誠ニ此何ヲ能ク調ベテ居リマセヌデ突然何デゴザイマスガ
此一夜作リノガ效力ヲ得テ矢張大地主資格ニナッテ矢張向テ議員カナンドニ
ナジチヨルデスカ

○村田保君 ナッテ居リマス、郡會カラ議員證ヲ與ヘテ郡會議員ニナッテ居リ
マス

○子爵谷千城君 サウシテ此被告者ハ一夜作リト言フテ居ルガ此地主ノ方ハ
一夜作リトハ言ウテ居リハセヌデセウ、ソコハドウデス

○村田保君 一夜作リナント云フコトハソレハ何ノ方カラモ別ニ言フテ居リ
マセヌ、併ナガラ被告ハ段々同縣下ニ一夜九十名トカノ大地主ガ出來タト
カ云フノデスガ其大地主論ニナルト本員杯ハ別ニ又考ヲ持ッテ居ル

○男爵渡邊清君 先刻ノ御辯明中ニ異議ノ述べ方ハイッデモ宜シイト云フ御
論ノヤウデシタガ其事ハ暫ク措イテ免モ角モ此名簿ヲ調製シテ管轄廳カラ出
シタトキニ即チ異議ノ申立、故障ノ申立ヲシナケレバナラヌノデアアル、ガ何故
ニ申立ヲセヌノデアアルカ、或ハ管轄廳ニハ言ハズニ何カ下ノ方ダ紛紜ノ事デ
モナカッタカ、ソレデ此チヤント故障ノ言フベキヤウニナッテ居ルノニ言ハ
ヌト云フノハドウ云フ情態デアッタカ、其邊ハ御調ベハナカッタデスカ

○村田保君 ソレハ事實ニ就カヌト調ベル譯ニ行キマセヌガ原被ヲ呼出スト
云フ譯ニハ行カヌカラ詰リ資格委員ニ於テハ書類デヤルヨリ外仕方ガナイ、
即チ政府ニ要求シテ其時分ノ書類ダケヲ取ッテ貰ッタノデアリマス

○男爵渡邊清君 然ラバ何ニモ故障ヲ……確定名簿ノ出來ルマデ何ニモ故障
ヲ言ハヌデ……

○村田保君 ソレマデハ分ラヌデ、後ニ發見シタノデ……

○男爵渡邊清君 分ラヌト云フノハドウ云フ……

○村田保君 サウ云フ地面ヲ賣ッテルト云フコトガ分ラヌ、デ後ニ發見シタ
ノデアアル

○男爵渡邊清君 併シ郡ノ大地立ニナッテ居ルノニ發見シナカッタト云フ
コトガアリマスカ

○村田保君 ソレハ事實後ニ發見スルト云フコトモアリマセウ、前ニハ分ラ
ナカッタコトモアトカラ發見スルトモアリマセウ、ソレハ其前カラノ事ヲ
調ベルト云フ譯ニハ行キマセヌ

○三崎龜之助君 原告ノ辯駁書ヲ拜見シマスルト清左衛門ガ公ノ帳簿上所有
名義ガ現存シテ居ル、從ッテ納税ノ點ニ於テモ矢張清左衛門ガヤッテ居ルト
云フコトハ原告ニ於テモ毫モ爭ハナイト云フコトモ申立テ、居リマスガ委員
會ニ於テハ無論ハ御認メニナッテ居ルコト、思ヒマス

○村田保君 勿論ノコトデス

○三崎龜之助君 ソコデ御尋ネシマスルノハ斯ク公ノ帳簿上ニ於テ所有名義
ガ現存シテ居ルニモ拘ラズ又納税ノ義務ガ盡シテアルコトガ公簿上ニ於テ明
カデアルト云フニモ拘ラズ矢張之ニ對シテハ讓渡證文即チ私ノ證書ガ一ツサ
ハアレバ打消スコトガ出來ルト云フ委員會ノ御意見デゴザイマスカ

○村田保君 ソレデゴザイマス、即チ法律ニ從ッテ契約ガ成立ッタモノナラ
バソレハ所有權ヲ確カメナケレバナラヌ、先刻モ申シマシタ通登記ダトカ土
地臺帳ダトカ云フモノハ決シテソレヲ以テ所有權ノ移ルト云フモノデハナ
イ、所謂公記方法ニ過ギナイ即チ大審院ノ判決例ノコトモ法律上ノコトモ前
ニ申シマシタカラアレデ御承知ニナッテラウト思ヒマス

○三崎龜之助君 成ル程、ソレカラモウ一ツ例ヲ引イテ御尋ネシマスガ清左
衛門ハ壽之ニ一片ノ私證書デ以テ、讓渡シタト云フコトニ事實ハナッテ居リ
マス、然ルニ茲ニ清左衛門ガ地租ヲ滞納シタ、斯ウ云フ場合ニ當ッテ國稅滯
納處分法ニ依ッテ此處分ヲスル時ニ當リ清左衛門ノ地所ヲ差押ヘルト斯ウ云
フタトキニ清左衛門ハ是ハ私ハ嘗テ壽之ニ證文書イテ讓渡シテアリマスルト
云フ答辯ガ委員會デハ十分立ツモノデアアルト云フ御見込デゴザイマスカ

○村田保君 ソレガ即チ登記ヲシナケレバ第三者ニ對シテ效力ガナイト云フ
ノハ即チソコデゴザイマス

○三崎龜之助君 サウスルト清左衛門ノ答辯ハ立タナイ、清左衛門ノ地面ハ
壽之ノ手ニ在ルト云ッテモ仕方ガナイ清左衛門ハ滯納ノタメニ處分セラル、
ト斯ウ云フコトデゴザイマスカ

○村田保君 サウデス、ソレハ……

○三崎龜之助君 宜シウゴザイマス、更ニモウ一ツ御尋ネ致シマス、今茲ニ
例ヲ舉ゲテ御話ヲシマスルト權兵衛ト八兵衛ガアル、權兵衛ナル者ハ多額ノ
地所ヲ持チ多額ノ地租ヲ納メテ居ル、登記ニ依リ總テノ法令ニ依ッテサウナッ
テ居ル、然ルニ八兵衛ナル者ヲ互選人ニシヤウト思ッテ茲ニ一片ノ證文ヲ書
イテサウシテ讓渡ヲスル、併テ權兵衛ノ名義デ納税ハシテ居ルノダケレドモ
其實ハ八兵衛ガ金ヲ出シテ居ルノダト云フ手紙モ一本書イテ居ル、斯ウ云フ
場合ニ於テ實際ハ一ノ八兵衛ハ地所モ持ッテ居ラヌケレバ又納税モシテ居ラ
ヌ、併ナガラサウ云フ證文ハチヤント明ニ有ルノデ大キイ印ヲ突イテ持ッテ
居ル、其場合ニ當ッテ八兵衛ト云フ者ハ委員會ノ御意見ニ依ルト矢張互選人
ノ資格ヲ得ルト云フ結果ニナッテ隨分德義上ノ話ニナルト影響ヲ及スヤウナ
結果ニナリハスマイカト思フ

○村田保君 併ナガラソコハ即チ御考ヲ願ヒタイ、登記ト云フモノハ三崎君
ノ御説デ見マスルト登記デ所有權ガ移ルト云フヤウニ聞エマスガ、登記ハ今
日自由登記デゴザイマスカラソコヲ少シ御考ヘニナッテ分ラウト思
フ、登記ト云フモノハ今日自由登記デアリマスカラ仕ヤウト仕マイト勝手ニ
ナッテ居リマス、若シ登記デ所有權ガ移ルト云フコトナラバ強制登記ニシナケ
レバナラヌ、今日ハ自由デアッタ見レバ或ハ土地賣買ヲシテモ登記ヲシナイ
者モ澤山有ルダラウト思ヒマス、サウ云フモノハ隨分賣買シテモ……地
面ヲ賣ッテ所有權ヲ移シテ居ルモ自分デ稅ヲ納メナクテハナラヌ、ナゼト
云フニ土地臺帳ニ依ッテ取立テル、サウ云フコトハ間、アリマス、又或ハ其
他私ナドハ現ニ實例ノアルコトガアル、水道稅ト云フモノガアル、例ヘバ水
道ハ私ハ人ニ讓渡シテアル、ケレドモ私ノ名前ガアッテ水道ノ賣買ノ書換ヲ
バ東京府ヘシマセヌカラ矢張私ヘ向ッテ取ラレル、サウ云フコトガ幾ラモアリ
マス、或ハ其他ノ株券賣買デモ例ヘバアナタガ委任狀ヲ付ケテ御賣リニナレ
バ轉々シテドコヘ行クカ分ラヌ、現ニ私ガソレダケノ物ヲ金ヲ出シテ取ッテ

居ッテモ若シ之ヲ所謂會社ノ帳簿ニ書換ヲシナイ中ハ矢張拂込デモ何デモア
ナタニ持テ行ッテモ仕方ガナイ

○三崎龜之助君 段々ノ御説明デ分リマシタガサウスルト其論結ハ八兵衛ハ
實際所有シテ居ラヌデモ其證文デ以テ多額納稅者互選人ニナラレルト云フノ
デアリマスカ

○村田保君 唯今ノ御説ノヤウナソナ馬鹿氣タ者ハ恐ラク世界ニナイダラ
ウト思ヒマス

○三崎龜之助君 唯例ニ引イテ申上ゲタデ、有ルカ無イカト云フコトハ問フ
ノデハナイノデアリマス

○村田保君 若シサウ云フ風ナコトヲ考ヘテ見タラドンナ不法ナコトデ
モ……

○三崎龜之助君 アッタラバ其論結ハドウナルカヲ伺フノデアリマス

○村田保君 萬々一ツレヲ馬鹿者ガ……アッタラ仕方ガナイ、法律ニアレバ
仕方ガナイ裁判所ヘ持ッテ行ッタルヲ採リマセウ

○三崎龜之助君 ソレダケデ宜シウゴザイマス、ソレダケ承レバ宜シウゴザ
イマス

○男爵尾崎三良君 チョット質問致シタウゴザイマス、先刻カラ御述ヘニナッ
タ委員長ノ御説ハ大體私モ贊成ハスルノデアリマスガ唯茲ニ一ツ疑問ガアル
ノハ判決ノ第二段デゴザイマス、松村修平ノ當選ヲ無効トス、ソレハ先ツ段
段ノ御論結デ斯ウナルヤウデアリマスガ第二段ノ所デ荒野由次郎ヲ當選人
トスト云フコトハドウデアラウカ、先刻カラノ御説デアルト互選人ノ宇野清
左衛門ハ互選人ノ資格ヲ持ッテ居ラヌ者デアアルト互選人ノ資格ノナイ者ガ投票
シタノデアアルカラ無効デアアルト云フ論結デアアル、抑互選人名簿ト云フノガ無
効デアアリマスマイカ、資格ノナイ者ヲ名簿ニ備ヘテ……十五人揃ヘタ、其中
一人ノ互選人ガ互選人ノ資格ノナイ者デアアルト見タ以上ハ之ニ代ルベキ人ガ
一人出テ來ナクチャナラナイ、夫ヲシナクテ互選人ノ資格ノナイモノヲ加ヘ
テ互選人ノ名簿トシテソレデ以テ選舉ヲシタト云フコトニナルト根底ノ名簿
ガ無効ニナリハセヌカト私ハ思フ、根底ノ名簿ガ無効デアアル以上ハモウ一遍
仕直スコトニシナケレバナラヌト思フガ其邊ハドウ云フ御議論デアリマシタ
カ一應……

○村田保君 尾崎君ノ御尋ハ誠ニ御尤ト思ヒマス、ソレ故ニ本員ハ殊更ニ其
事ヲ附加ヘテ餘計ナヤウデスケレドモ、實ハ申上ゲタノデス、ソレハ委員會
ニ於テモ其論ハアリマシタ、ケレドモ一票ソレダケ無効ニナル即チ白紙ノ投
票ヲ入レタトカ或ハ規則ニ背イタモノガアッタト見ルヨリ外仕方ガナイ、更
ニ補缺選舉ヲスル譯ニハ行カヌ、名簿ヲ調製シ直ス譯ニモ行クマイ、唯一人ダ
ケデ其票ガ一票無効ト認メレバ宜シイト云フコトニ委員會ハ極メマシタ、
左様……

○男爵尾崎三良君 モウ一遍伺ヒタイ、サウスルト他ニソレガタメニ權利ヲ

侵害セラレナイモノデアレバソレデモ宜シウゴザイマスガ、宇野清左衛門ガ
果シテ互選人ノ資格ガナケレバ必ズ之ニ代ッテ互選人ノ資格ヲ得ル者ガアル
ニ相違ナイ、所ガ選舉名簿ト云フモノガ正當ナモノデナイ故ニ當然互選人ノ
中ヘ雜ッテ自分モ選舉セラレ、人モ選舉シ得ラル、ト云フ者ガソレガタメニ得
ラレナカッタト云フ名簿ガ出來タ以上ハソレヲ抹殺シテ仕舞ッテソレハ過去
ノコトダカラ仕方ガナイト云フノハ如何デアラウカ、一人位ダカラサウ云フ
コトモ言ヘモシマセウガ若シ誤テ萬一、十人モ資格ノナイ人ヲ加ヘテヤッタ
ト云フコトヲ萬一發見シタトキハドウデアリマセウ、其人ガ無資格ニナル以
上ハ其次ニ來ル多額納稅者ガ出テ來テ互選人資格ヲ得ナケレバナラナイ、選
舉名簿ガ誤ッタガタメニ十人モ資格ノアル者ガ除ケラレタト云フ事實ガ現レ
タ以上ハドウデアリマセウ、其時モ仕方ガナイカラソレヲ無効ニスルト云フ
御説デアリマセウガ、人數ガ多ケレバ遺リ直サナケレバナラヌト云フ御説デ
アリマセウカ

○村田保君 ソコデアリマス、實際ノ事ヲ承ッテ見ルト故障ヲスル、二十日
間ノ間ニ故障ノ申立ガアッテモ、アレハ六月一日ニ名簿確定スルノデス其
前ニ告示ヲスルノハ二十日ニスル所モアリ十七日ニスル所モアル其確定マデ
ノ間ニ故障ヲ申立テルコトガ出來テ居ル、事實故障ヲ申立テ、モ確定スルト
キハソレデ確定シテ選舉ハスルサウデス、サウシテ跡ヲ無効ナラ無効トシテ
居ルト云フコトニシテ居ルト實際ノコトヲ承ッテ居リマス、其場合ヲ見ルト今
尾崎君ノ言ハレル所ト同ジコトデ或ハ五人デモ六人デモサウ云フ者ガアッ
場合ハソレダケヲ取ッテ跡ヲ當選人トスルヨリ外ナイト思ヒマス

○男爵船越衛君 私モ大體尾崎君ノ御尋デ分リハシマシタガ選舉ニ或ハ白紙
ヲ入レタトカ(聽取シ難シ)御承知ノ通ニ貴族院令ノ第六條ニ「各府縣ニ於テ
滿三十歳以上ノ男子ニシテ土地或ハ工業商業ニ付多額ノ直接國稅ヲ納ムル者
十五人ノ中ヨリ一人ヲ互選シ」ト斯ウアル十五人デ選舉スル、ソコデ十五人
ガ缺ケテ居ッテ無資格ガアルト云フト此組織ガ出來ヌノデヤナイカト考ヘ
ル、サウスルト云フト直ダ荒野氏ガ出ルト云フ譯ニモ參ラヌヤウニ思ヒマ
ス、荒野氏ガ辯明書ニモ松村氏ハ資格ガ不足デアアル(聽取シ難シ)アレガ出
ネバ淺野彌右衛門ト云フモノガ出ル其次ハ田中長之助、其次ニ就クベキモノ
デアルト荒野氏ガ申シテ居ル、サウシテ見レバ十四人デ、淺野彌右衛門ガ這
入ルヘキモノガ權利ヲ損害セラレタ譯デアアル、サウスレバドウシテモ仕更ヘ
ネバナラヌト思ヒマスガ其邊ハ如何デアリマスカ

○村田保君 ソコハ一ノ問題ダラウト思ヒマスガ併ナガラ十五人皆揃ハネバ
ナラヌト云フコトデヤナイ、十五人ヨリ一人ヲ互選スルトアリマスガ中ニハ
或ハ棄權スル者ガアルカモ知レヌカラ必ズ十五票揃ハネバナラヌモノデヤナ
カラウト思ヒマス

○男爵船越衛君 棄權ハ別デアリマス、夫ハ資格ノアル者ガ揃フテ居ルノデ
アルガ資格ノナイ者ガ其中ニアッテ足ラヌト云フト淺野彌右衛門ガ這入ラネ

バズラヌ

○議長(公署近衛篤磨君) 時刻ニナリマシタカラ一時休憩ヲ致シマス

午後零時九分休憩

午後一時十二分開議

○議長(公署近衛篤磨君) 今朝御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道致シマス銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律案特別委員、伯爵大原重朝君、子爵千種有梁君、岩村定高君、男爵青山貞君、渡邊洪基君、成川尙義君、男爵南光利君、關義臣君、佐藤喜八郎君……是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○男爵渡邊清君 念ノタメニ委員長ニモウツ承ツテ置キタイ、委員長ノ論セラレル所ヲ推究スルト到底名簿ノ確定シタ、確定名簿ナルモノハ甚ダ不確定ノモノト歸著スルヤウデアリマスガ其不確定ナル名簿ヲ以テ選舉シタル議員ツレヲ直ニ次點者ニ用ヒルト云フハドウ云フ法理ノ解釋デアリマス、不確定ノモノデ選舉シタ次點者ヲ用ヒルト云フコトハサッパリ本員ナドデハ分ラスト思ヒマス其解釋ヲ一ツ願イタイ

○村田保君 名簿ノ不確定デ選舉スルト云フコトハナイ、名簿ハ必ズ六月一日マデニ確定ヲシナクチャナラス、六月十日ニハ選舉シナケレバナラス、必ズ名簿ヲ確定シタ上デナケレバ選舉ハ出來ナイデス

○子爵本莊壽巨君 委員長ニ質問致シマス此字野清左衛門ガ所有地ノ内三百四十三筆ノ地所ヲ既ニ明治二十九年十一月ニ私證書ヲ以テ字野壽之ニ賣渡シテ其中十五筆ト云フモノハ二十九年ノ七月中ニ字野壽之ニ賣渡シテ居ル、ツレヲ十一月ニ至ツテ登記ヲ受ケテ十五筆ダケヲ他人ニ賣渡シテ居ル、一ツ地所ヲ私證書デ一ハ賣渡シ一ハ登記ヲ經テ賣渡シテ居ル、同一ノ地所ヲ二度賣買シテ居ルノデアリマス、ツレヲ一ツ……

○村田保君 ツレガ即チ不正ノ處分ダラウ、甚ダ不正ナ處分……一遍ツレデハ譲リ渡シタモノヲ又他人ニ譲ル杯ト云フハ不都合千萬ナコトデハナイカ、即チ詐偽ト云フコトハツレヲ見テモ分ル

○男爵船越衛君 内務省ノ人ニ質問シタウゴザイマス、此件ニ附キマシテ……

(中西光三郎君發言ヲ求ム)

○議長(公署近衛篤磨君) 中西君ハ何デスカ、委員長ヘ質問デスカ

○中西光三郎君 委員長ニデス

○議長(公署近衛篤磨君) 中西君

○中西光三郎君 先刻委員長ノ御説明中ニ貴族院議員タル者ハ何時ヲ問ハズ資格ニ附イテ異議ヲ申立ツルコトガ出來ルト云フコトガゴザイマシタ、私ニ於キマシテモ貴族院議員タルモノハ尤モ其權利ヲ有スルモノダト云フコトハ規則ニ據ツテ承知ヲ致シテ居リマス、委員長ハツレヲ例ニ引キマシテ互選人

タル荒野由次郎モ何時ヲ問ハズ出來ルト云フガ如ク御説明ノヤウニ聽取リマシテゴザイマスガ果シテ左様ナ御見解デゴザイマスルカ、伺ヒタウゴザイマス

○村田保君 ツレハ斯ウ云フ譯デス其名簿確定後ニハモウ資格ノコトハ爭フコトハ出來ナイカト云フコトデゴザイマスカト云フトイヤツレハ出來ル、名簿確定シタ後ト雖モ、選舉シタ後ト雖モ事ノ發見シタ時ハ何時デモ出來ルト云フコトデアリマス、ナニモ此荒野由次郎ガ議場ニ出テ來テドウ斯ウト云フノデハナイ、ツレハ大概御分リト思ヒマス

○男爵船越衛君 内務省ノ御方ハ如何デス

○議長(公署近衛篤磨君) 今要メマシタ

○男爵船越衛君 コツチヘドウカ、聲ガ小サイカラ……

(政府委員荒川邦藏君演壇ニ登ル)
○男爵船越衛君 内務省ノ議員ノ互選取扱規則ト云フモノガ明治二十三年三月ニ出來テ居リマス、其中ノ第四條ニハ賣買讓與ニ依リ土地所有權移轉ノ場合ニ於テ其所有ノ年限及質入地ノ地租及敷人共有ノ土地ヨリ納ムル地租ノ計算等ガ丁度互選規則第三條ニ神官及諸宗ノ僧侶又ハ教師トアルハ總テ衆議院議員選舉法施行ノ第三條第二項ニ依リ云々ト斯ウゴザイマス、ツレデ衆議院ノ第三條ノ二項ニ據ルト「賣買讓與ニ依リ土地ノ所有權移轉ノ場合ニ於テ其所有ノ年限算スルハ登記ノ日ニ依ルヘシ」斯ウアルデス所ガ是ハマア移轉ノトキノ取扱規則デゴザイマスガ、地所登記上ノ事ハ幾ラモアリマス、今日デモ賣買讓與或ハ相續ヲシナイ其前カラ所有ニナツテ居ル地所ガ幾ラモアリマスガ、ツレ等ノ取扱ハドウナツテ居リマスカ

○政府委員(荒川邦藏君) 御質問ニ答ヘマスガ、此登記法發布以後ニ於キマシテノ所有權移轉ト云フ場合ハ必ズ登記セヌケレバナラスコトハ是ハ申スマデモナイ、此法律以前カラ所有シテ居ルモノハ勿論登記ハナイ、移轉シナイ間ハ登記シナイ、登記法發布後ニモ登記シナイ、併シ此土地臺帳ト云フモノニハ必ズ登記シテアル、是ハドウシテモ調整上缺クベカラザルモノデゴザイマシテ、今ハ收稅署ニ土地臺帳ガゴザイマス、又各町村ニモ土地臺帳ガゴザイマス、其順序ヲ申シマスルト、登記役所ニ登記ヲ受ケルト登記役所カラシテ收稅署ニ通知ヲスル收稅署ニ於テ土地臺帳ヲ調整シタトキハ直グニ町村ニ通知ヲスル、確カスウ云フ順序ニナツテ居リマス、是ハ順序ノ御話デゴザイマスガ、未ダ登記簿ニ載セヌモノハ此土地臺帳ニ依ツテ名簿ヲ調製スルコトニナル、又年數ヲ計算スルニモ此ノ帳簿ニ依ルノデス、又是ニ依ルヨリ仕方ガナイ

○男爵船越衛君 登記ノ日ニ依ルノデゴザンス、此登記ト云フノハ即チ登記役所ニ出テ登記ヲスル其時カラノデスカ

○政府委員(荒川邦藏君) ツレハ登記法發布ノ後ノ事ニ附イテモゴザイマス、其登記ノ日以後ト勘定シマスガ、是ヨリ以前登記法ノ行レヌ前ノガハ登記

記簿ニナイカラ是ハ土地臺帳ニ依ルノデス、是ハ已ムヲ得ズ、サウナツテ來ルノデス

○男爵船越衛君 サウスルト土地臺帳或ハ町村役場ノ臺帳ニモ附イテ居ルコトハ所有者ノ名前テ附イテ居ルデゴザイマセウ、其稅坏ハ此中ニ矢張込メルノデスカ

○政府委員(荒川邦藏君) サウデス、其土地臺帳ニゴザイマス所有主トツレニ記入シテアル稅額ヲ以テ、此名簿モ調製シ年數モ其登記カラシテ數ヘラレル、斯ウ云フ順序ニナル、今御朗讀ニナリマシタノハ是ハ登記簿ニ就イテノコト、此登記法ニ依ッテ登記ヲ受ケナイ場合ハト言ッたら明文ハゴザイマセヌガ、順序ニ依ッテ土地臺帳ニ依ッテスルコトデス、是ガ即チ公正ノ帳簿デス、然ラザルモノハ採用シナイ

○男爵船越衛君 何ヲ採用シナイ

○政府委員(荒川邦藏君) 契約ト云ッテモ一向取扱ハナイデス、契約ガアルカラト云ッテモ取扱ハナイノデス、ツレニ依ッテ名簿ヲ調製スルコトニナル

○男爵船越衛君 サウスルトソコデハナンデゴザンスナ、以前ハ分ラヌ矢張帳簿ニ依ルト云フノデスカ

○政府委員(荒川邦藏君) サウデス

○議長(公卿近衛篤磨君) 本案ニ就イテ資格審査委員ノ少數意見ガ出デ居リマス、之ヲ朗讀致サセマス

(久本書記官朗讀)

(木下廣次君演壇ニ登ル)

○木下廣次君 諸君私ハ資格審査委員ノ報告ニ對シマシテ少數意見者ヲ代表シテ其意見ノ說明ニ當ッテ居リマス、此少數意見ニ至リマシタル所ノ顛末ヲチヨット御披露致シマス、資格審査委員ハ本年當選爭訟トシテ出デマシタル所ノ四ツノ件ニ向ヒマシテ、其中ノ三ツマデハ皆一致ノ說ヲ取リマシテ、少數異說ヲ生ゼズ、判斷ヲ下シ來ッテゴザイマスルガ、不幸ニシテ此今本案ダケハ何分同一一致スル譯ニ往キマセズシテ、遂ニ說ガ分レタ譯デゴザイマスル、サウシテ其說モ私等ノ主張シマスル所ノモノハ少數ニナリマシテ、僅ニ三人ノ同說者ガゴザイマシテ、少數意見ヲ提出シ得ルコトニナッタノデゴザイマス、此元ト委員會ノ此事件ニ於キマスル判決ニ至リマシテハ、我々ハ其結果トシマシテ、容易ナラヌコトガ起ルト云フ考ヘカラシマシテ反對ヲ唱ヘタ譯デアリマス、即チ今日我國ノ制定サレマシタル所ノ證據法ノ原則ヲ打破ッテ仕舞ウト云フ恐ガゴザイマスルカラ、ツレデ本員等ハ證據法ヲ維持シマスルタメ、及此ノ如キノ判決ニ尙ホ連ナリマシテ各自ノ名譽ニモ關シマスルコトデゴザイマスカラ、其名譽ヲ維持シマスルタメニ此少數意見ヲ提出シタ譯デゴザイマス、此本事件ハ當選爭訟デゴザイマシテ、其當選爭訟ノ中ニ何某ト云フ人ノ當選ハ無効ナリト云フ爭訟ニ相違ゴザイマセヌ、ダガ我々ノ主

張致シマスル所ノ主意ハ偏ニ公證書ノ勢力ヲ私證書ヲ以テ打消スト云フコトノ結果ヲ恐レマスルガ故ニ、實ハ土地臺帳及登記法ノ效力ヲ維持センガタメニ少數意見ヲ提出シタ譯デゴザイマスカラ人物ノ論ハ實ハ餘リ私等ノ腦中ニハ這入ッテ居ラナイノデゴザイマス、少數意見ノ意見書ニ示シマシタル通此爭訟ノ原因ト申シマスル所ハ私等ノ考ヘデハ偏ニ私證書ト公證書トノ效力如何ト云フコトヲ判斷スルベキ爭訟事件デアラウ……斯ウ考ヘマス、委員會ノ決議ハ報告書ニゴザイマスル通偏ニ土地ノ所有移轉ト云フコトヲ此一點ヲ捕ヘ來ッテ判斷ヲ來サレテ居リマス、デツコガ爭點ノ分ル、所デゴザイマスルカラシテ偏ニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、此問題ヲ解シマスルニ方リマシテ是非共此公證書私證書ト云フ此二ツノ證書ノ區別性質及其效力ヲ申上グヌト何分我々ノ論旨ガ貫キマセヌデアリマスカラシテ、暫ク御容赦ヲ願ヒタウアリマス、私證書ト申シマスレバ御存知ノ通契約書、相互ノ間ニ書イタル證書デゴザイマシテ或ハ一箇ノ手紙モ證書ノ性質ヲ持ツカモ知レヌ譯デアリマス、公證書ト申シマスルノハ是ハ法律ガ或權能ヲ付與シマシタル所ノ役人其役人ガ法律ノ與ヘマシタル範圍内ノ事務ヲ控ヘタモノガ、是ガ公證書ト稱スルモノデゴザイマス、即チ行政官ノ其職權内ニ發シマシタル所ノ諸文書、公證人ガ法律ノ與ヘマシタル事項ニ附イテ認メタル所ノ證書、ツレカラ登記官吏ガ法律ノ與ヘマシタル所ノ事項ヲ登記シマシタル其證書、ツレカラ裁判指令、コレモ公證書デゴザイマス、此ノ如ク其マダ外ニモ種類ガゴザイマセウガ、重モナルモノヲ舉ゲマスルト、此ノ如キモノヲ公證書ト稱シテ居リマス、ツコデ其公證書ノ勢力ハ如何ナルモノアルカト申シマスルト、此公證書ノ勢力ハ法律ガ十分ニ效力ヲ與ヘテ居ルノデゴザイマス、公證書ニ載セテアリマスルコト、云フモノハ、即チ其公證書ナルモノハ各人ガ唯是ハ此公證書ニ載セタルコトハ偽リナリト云フコトヲ申シマシテモ、一向ニ其申立ハ立タヌコトニナッテ居リマス、依ッテ此公證書ノ效力ヲ消滅シヤウトシマスルニハ、必ズ其證書偽造ノ訴ヲ起サネバ證書ノ效力ハ失ハヌ、斯ウ云フ稱ニナッテ居リマス、ツレデ右様ナル效力ヲ付シテアル所ノ公證書ト私證書トヲ突合セマシマシテ、ドチラガ勝デアルカト云フ優劣ヲ判斷シマスルニハ、無論私證書ハ公證書ニ對立スル能ハザルモノトシテゴザイマス、詳シク申シマスルト、公證書ニ載ッテ居ル事柄ハ私證書ヲ以テ打消スコトハ出來ナイモノト、斯ウ立テ、居リマス、コレハ外國ノ文明國ト稱シマスル國デモ皆此法律ヲ取ッテ居リマス我ガ帝國ノ證據法モ此原則ニ依ッテ居リマス、何故ツレヲサウマデニ其公證書ナルモノニ勢力……效力ヲ附シタカト申シマスレバ、是ハ申上グヌデモ既ニ御分リニナッテ居ラウトハ思ヒマスルガ偏ニ此國民ガ契約ノ證據ニ就キマシテノ爭端ヲ豫防スルニ他ナラヌノデアリマス、ツレデ公證書ト申シマスレバ則チ天下公衆ニ對シテ一ツノ事件ノアツタルコトヲ證明シタモノデアアル、私證書ト申シマスレバ、其書イタ者ノ兩人ノ間ニ事ノアツタト云フコトヲ證明スルニ止ル、ツレデ其公證書ニ效力

ヲ附シテ居リマスルモノハ……附シタル所以ト申シマスルノハ各人私證書ヲ以テ證據立ルト云フコトデゴザリマスレバ、其次ニ又證據ガ出ルシ其次ニモ出ルト云フ位ノコトデ、其證書ノ日附ト云フモノハ必シモソレ等ハ何月何日ニ書イタルト云フコトモ分ラヌ位ノ證書デゴザリマスルカラ、何故ト申シマスレバ其日附ハ各人相互ノ間ニ容易ク相談ガ出來テ遅クシヤウト早クシヤウトドウデモ出來得ルモノデゴザリマスルカラシテ、之ヲ以テ證據立致シマスル日ニハ到底此國民ノ爭訟ト云フコトハ已ム期ガゴザリマセヌ、終ニ腕力沙汰ニ訴ヘテ強イ者ガ勝ツト云フコトニ相成リマス、ソレデ此國家ノ機關ノ上ニ於キマシテ一ノ公證書ト云フモノヲ設ケマシテ公正ノ資格アルモノデアラバ私證書ヲ以テ之ヲ消滅シ得ザルモノト法ハ豫メ之ヲ定メタノデアリマスル、右公私二證書……公證書私證書、此公私證書ノ其事ノ法律ニ現レテ居リマスルノハ先刻モ委員長ノ述ベラレマシタル通民法ノ百七十六條及百七十七條ニ現レテ居リマスル、百七十六條ニ「物權ノ設定及ヒ移轉ハ當事者ノ意思表示ノミニ因リテ其效力ヲ生ス」ト云フテ居リマス、依ッテ當事者間デゴザリマスレバ實ハ書付モ要ラナイト云フ趣意デゴザリマス、依ッテ書付ヲ書キマセウト書キマスイト、是ハ各人ノ隨意デアッテ一向ニ要求スル必要ハゴザリマセヌ、只書付ハ後日ニ遺スルメニ書ク位ナコトニ止ルノデアリマス、デ委員長ハ唯是ダケヲ讀マレマシタガ、其百七十七條ニ至リマシテ、「不動産ニ關スル物權ノ得喪及ヒ變更ハ登記法ノ定ムル所ニ從ヒ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三三者ニ對抗スルコトヲ得ス」ト云フコトヲ載セテ居リマス、是ガ即チ右ノ證據ノ效力ヲ述ベタモノデゴザリマス、當事者間ノ相互ノ契約デゴザリマスレバ、是ハ書付ガナイトモ宜シイ、口デ兩方言ヒサヘスレバソレデ結構デゴザリマスルケレドモ當事者外ノ者ニ影響ヲ及ストキニ至リマシテハコチラノ二人ノ話合デハ十分ニイキマセヌ、依ッテ第三三者ニ對シマスルトキハ私證書以外ニモウ少シ確ナモノガ入用ダゾト云フコトヲ百七十七條ハ申シテ居リマス、即チ其私證書以外ノモウ少シ確ナモノト申シマスルノハ何カナレバ此所ニ云フテ居リマスル登記、此登記ガナカラネバ第三三者即チ甲乙相互ヨリモモウ一ツ外ノ人ニ影響ノ及ブヤウナコトハ右ノ登記ヲ以テ此契約ヲ證明スルニアラザレバ其契約ト云フモノハ第三三者ニ對シテ效力ハナイゾト云フコトヲ申シテ居リマスル、是ハ其極ク譯ノ分タコトデゴザリマスル、何モムツカシイコトデモ何デモゴザリマセヌ、モウ結句法律文ナドノ少シ讀ミ惡イモノヲ見テ考ヘマスレバ何カムツカシイコトノヤウニ思ヒマスルケレドモ、實ハ眼ヲ塞イデ考ヘマスルト極ク容易イ話デアッテ御銘々毎日此事ハ既ニ御實行ニナッテ居ルコトダラウト思ヒマスル、デ次ニ今一例ヲ舉ゲテ申シマスレバ私ガ此所ニ一ツノ田地ヲ持テ居リマスル……地所ヲ持テ居リマスル、其地所ヲ私、他人ニ賣却ヲ致シマシタ、私證書ヲ以テ賣却致シマシタ、此田地ノ賣買、私ト相手方ノ間ニ成立チマシタル所ノ契約ト申シマスルモノハ實ハ私ト相手方ノ間ニ存在シテ居ルモノデアッテ他ニハ分リマセヌ、然ルニ此私證書ノ上ニハ私前廉人カラ錢ヲ借りマシテ此地所ヲ引當ニ其者ニ錢

ヲ借りテ居ッタデゴザリマスル、サウシテ其抵當ニ入レテ人カラ錢ヲ借ッテ居リマシタガ、其抵當ト云フモノハ右ノ登記ヲシテ置イタデゴザリマス、即チ此處ニ私證書ト公證書トノ二ツガ現レ出タデゴザリマスル、ドチラガ勝ツカト云フ此處ニ問題ガ起ッテ參リマス、私ノ賣買シマシタル所ノ相手方曰ク是ハ木下カラ買フタモノデアアルカラシテ自身ハ木下ガ負債ノコトニ就イテハ一切知ラナイ者デアアル、又私ノ債主ハ申シマスルニイヤサウハ云ハセナイ、是ニハ自身ガ最モカ權利ヲ以ッテ居ル、是ハ自身ガ抵當トシテ取ッテ居ルモノデアアルカラ、御前ノ勝手ニハサセヌト云フニ相違ゴザリマセヌ、先ツ是等ノ例ハ普通ニアルコトデゴザリマス、サア此時ニ於キマシテ兩方共ニ若シ私證書ヲ以テ證明シテ居リマスルナレバ是ハドチラガ勝ツカ實ハ分リマセヌ、必ズ日附ノ前後ヲ爭フニ相違ゴザリマセヌ、俺ガ先キダイヤ俺ガ先キダト、所ガ其日附ハ私ガ随分不道徳ナ者デアッタナレバ兩方ニ向ッテ宜カリサウナ鹽梅シキニ爲シ得ルダラウト考ヘマス、若シコチラノ賣買ノ相手方ガ私ノ友達デゴザリマスレバ其賣買ト云フモノハ是ハモウ餘程以前ニ遡ッテ出來テ居ルト云フコトニ言ヒ得マスルデゴザリマセウシ、又金貸ノ方ガ私ノ親友デゴザリマスレバ此金貸ニ荷擔シテ此抵當ハ餘程以前カラ成立ッテ居ッタモノト云フコトニ言ヒ得マスルデゴザリマセウ、即チ其證書ノ日附ヲ勝手ニ變更ガ出來ルノデアリマス、所デ茲デ右ノ金貸シタ者ノ方ハ幸ニ登記ト云フコトヲシテ居ッタ、此登記ト云フモノハ何處デヤッタト申シマスルト法律ガ權能ヲ與ヘテ居リマスル所ノ官吏ノ前デ明ニ國ガ備ヘテ居リマスル帳簿ニ控ヘテ置イタデアリマス、一度此帳簿ニ控ヘマシタ時私ニ之ニ向ッテ其日附ヲ左右スル譯ニ行キマセヌ、依ッテ此場合ニ於キマシテハ如何ニ私證書ヲ持ッテ居リマスル私ノ賣買相手方デモ是等ノ登記面……登記簿ニ控ヘテアリマス所ノ日附ニ向ッテ一言タリトモ爭フ譯ニハ參リ兼ネマス、ソレデ斯ノ如ク效力ヲ登記簿ニ附シテ居リマスガ故ニ假令契約ハ相互ノ間ノ私證書ニハ登記簿ヨリモ以前ニ日附ガシテアッタト申シテモ登記簿ノ記載ノ日ヨリ以前ノ日附ニ私證書ガシテアリマシテモ法律ハ一向認メマセヌ、即チ登記簿ノ方ニ重キヲ置キマスノデアリマスカラ私證書ハ日附ハ如何アリマセウトモ是ハ一向取上ゲマセヌ、是ハ即チ不動産ニ關シマスル物權ノ得喪及變更ハ登記簿ニ定ムル所ニ依リ登記ヲシナケレバ第三三者ニ對抗スルコトヲ得ズト云フノハ此故デアリマス、ソレデ若シ登記ガ私證書デゴザリマシタナラバ其私證書ヲ以テ他ノ公證書ニ認メテ居ル所ノ賣買者ニ向ッテ抵抗モ亦出來マセヌ、デ是等ノコトハ實ハ此演壇デ申述ベマスノハ甚ダ不意デゴザリマス、極法律ノ初歩ノ講釋ミタヤウナコトニナリマシテ甚ダ如何ハシウ思ヒマスガ、去リナガラ委員會ノ決議ハ一切是等ノコトヲ意中ニ置カヌト私ハ存ジマス、故ニ已ムヲ得ズ言葉ヲ費シマスノデアリマスカラ其趣ヲ御了解ヲ願ヒタウゴザリマス、ソコデ此右公私ノ證書ノコトヲ申上ゲマシタガ、之ヲ今本問題ノ事件中ニ適用シテ見マスルト、委員會ノ報告ノ取ッテ主眼トシテ居リマスル所ノ證書即チ宇野清左衛門ガ三百四十三筆ト云フノ宇野壽之ニ讓渡シタト云フ此讓渡書

ガ此訴訟事件ニ現レテ來テ居リマス、此讓渡書、是ハ委員會ノ最モ勢力……最モ確ナ事實ト認メテ論旨ノ骨子ニナツテ居ル證書デゴザイマス、此證書ハ如何ナル性質ノ證書ト云フコトハ是ハ講究セネバナルマイト思ヒマス、是ハ我々考ヘマス所デハ私證書アル、正シク宇野清左衛門ト宇野壽之ト云フ此兩人ノ間ニ成立タル所ノ私證書デゴザイマス、未ダ會デ公證人ガ之ニ關係シテ居ルト云フコトモ聞キマセヌシ又或ル他ノ法律ガ與ヘマシタル權能ヲ以テ此二人ノ間ノ證書ヲ書上ゲタト云フコトモ見ヘマセヌ、然ラバ此證書ト云フモノハ右宇野兄弟ノ間ノ一ノ私證書ニ過ギナイノデアリマス、ソレデ先刻委員會長モ申サレテゴザイマシタガ、此證書ハ宇野兄弟ノ間ニ成タト雖モ貴族院ガ要求シテ内務大臣カラシテ貴族院ニ之ヲ送ラレタルガ故ニ餘程確ナモノデアルト云フ御言葉ガアリマシタ、是ハ私ノ聽誤リカハ存ジマセヌガ、少シ御申過ギデハナカラウカト思フ、證書ノ效力ヲ論ジマスノニ其取次ヲシタル所ノ役人ハ如何ナル役人デアリマセウトモ證書ニ於テハ土臺カラシテ效力ノ有無ハ少モ變リマセヌ、若シ是ガ法律ガ付與シマシタル權能ヲ持ッタ役人ガ此證書ヲ書イタト云フコトデゴザイマスレバ確ト云フ文字ハ附ケラレマセウシ、公正ト云フ文字モ附ケラレマセウガ、唯貴族院ガ要求シタルガ故ニ縣知事ニ命令シテ縣知事カラ内務省ニ送り内務大臣カラ此處ニ送り若クハ總理大臣ノ名ヲ以テシマセウトモ是ハ此證書ノ本旨ニ附イテ優秀ノ判斷スル材料ニ毛頭ナリハ致シマセヌ、若シ是等ノコトガ委員會ノ決議ノ間違ノ根原トナツテ居リマシタナラバ是ハ少シ私ハ至當ノ御判斷ト申サレヌト云フヨリモモウ少シ酷イ言葉ヲ用ヒタイト思ヒマス、ソレカラ又此宇野兄弟間ノ證書ハ郡長ガ受取ツテ此證書ニ依ツテ大地主ノ權利ヲ與ヘテ居ルガ故ニ此證書ト云フモノハ確ナモノデアアル、斯ウ云フ御結論ノヤウニモ又承ツテ居リマス、是モ私聽損ヒカモ存ジマセヌガ、是ハ稍、御論旨トシテハ其效力ヲ論スル上ニ附イテ多少參考ニスベキ御論旨ダラウト思ヒマス、ケレドモ郡長ガ果シテ公正證書ヲ此甲乙相互ノ賣買ノ上ニ於テ公正證書ヲ作り得ル權能アルヤ否ヤ、其權能アレバ何ノ法律ガ與ヘテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ又御尋ネ申シテ見ナケレバナラナイ、若シ此郡長ニ法律ガ何等ノ權能モ與ヘテ居ラナイ、買買契約ヲ調製スルノ權能ヲ與ヘテ居ラヌト云フコトデゴザイマスレバ何某ト云フ者ノ持出シタル私證書ヲ郡長ガ受取ツタト云フコトバカリデ之ヲ公正證書ト云フコトハ出來ハ致シマセヌ、是モ明ニ證據法規定シテ居ルコトデアリマス、何處ノ法律ヲ見マシテモ斯ノ如キ浮薄ナ輕躁ナコトデ公正證書ハ成立ハ致シマセヌ、其證據ニハ例ヘバ公證人……麴町區ノ公證人ハ麴町區デヤラナケレバナラヌコトヲ本郷區ヘ往ツテヤッタナラバ是ハ同ジ公證人ガヤッタ證書デアリマシテモ是ハ公證ノ資格ヲ失フノデゴザイマス、其位ニ公正證書ハ確實ナル法律ノ條件ニ依ラニヤナラヌコトニナツテ居ル、況シテヤ郡長ハ一ノ證書ヲ受理シタリト云フノデ此證書ガ正當ナモノデアアル、且ツ公正ノ資格ヲ有シタト云フコトハ萬々申サレマセヌ、是ハ私確言イタシマスル、ソレデ成ル程

之ニ依ツテ郡長ガ此證書ヲ出シタル者ニ或資格ヲ與ヘタト云フ、斯ウ云フトガゴザイマスル、是ハ事實デゴザイマス、是ハモウ全ク事實ニ相違ナイ、即チ郡長ガ此私證書ノ面ニ依ツテ大地主ノ資格ヲ宇野何某ニ與ヘタト云フ證明ヲ下シテ居リマスル、此證明ハ是ハ私ハ公正ノ資格アルモノダト思ヒマスル、即チ郡長ノ職權内デ、法律ガ與ヘテ居リマスル職權内デ下シタル所ノ判決デゴザイマスカラ是ハ公正證書ノ效力ヲ持ッタ居ルト存ジマスル、ケレドモ其郡長ノ書附ハ公正證書デゴザイマシテモ郡長ノ書附ヲ作り出シタル所ノ證書、私證書ハ依然タル私證書デアリマス、是ニハ少モ影響ハ及ビマセヌ、是モ證據法ノ上カラシテ澤山判決モゴザイマセウシ、決シテ疑フベカラザル事柄デアリマスル、餘程公正證書ト云フ此性質ニ附イテ綿密ニ論究シテ居リマスル、デ右本問題ニ於テ現レマシタル所ノ私證書ハ右ノ宇野兄弟ガ結ンタル所ノ私證書、ソレカラ本問題中ノ公證書ハソレナラドンナモノカト云フコトヲ探索シテ見ネバナリマセヌガ吾々ガ探索シマシタル所デハ本問題中デ公證書ト稱シマスルノハ即チ登記簿及土地臺帳ノ二ツデゴザイマス、此登記簿ト云フモノハ最早私辯ヲ費ス必要ハナカラウト思ヒマスル、諸君モ御存ジデゴザイマセウ、又反對論者モ之ニ附イテ疑ハ抱イテ居ラヌヤウデゴザイマスル、全ク公正證書ノ純粹ノ資格ガゴザイマス、ソレカラ土地臺帳デゴザイマスガ是ニハ或ハ反對論者モ疑ヲ抱イテ居ラレカノヤウニ自身ハ推量致シマス、サリナガラ土地臺帳ト申スモノハ市ノ土地臺帳デゴザイマスレバ府縣廳ニ設ケテゴザイマスルシ町村ノ土地臺帳デゴザイマスレバ郡役所ニ設ケテゴザイマスル、是ハサウシテ各ノ法律ガ命ジテ居リマスル所ノ官吏ガ之ニ記録ヲスルコトニナツテ居リマスル、且ツ其性質ハ公ケニ示スベキ性質ノモノデアアル、誰デモ行ツテ見ルコトガ出來マスル、即チ其三ツノ點ヲ舉ゲマスレバ正シク公正證書ニ外ナラヌノデゴザイマスル、且ツ此土地臺帳ハ私ノ見マスル所デハ全ク土地ノ所有ヲ證明シテ居ルモノト自身ハ斷定致シマスル、反對論者ノ說ニ土地臺帳ハ納稅義務者ノ名バカリヲ控ヘタモノデアツテ決シテ土地ノ所有ヲ證明シタモノデナイト云フ、斯ウ云フ論ガ往々委員會ニ出マシテゴザイマシタガ吾々ハ極力反對ヲ致シマス、ソレハ此歷史的ニ證明スルコトモ出來ルダラウト思ヒマス、御存ジノ通王政御一新後程ナク此各人ノ所有ト云フコトハ、土地ニ附キマシテ一個人ノ私有ト云フコトガ發表サレマシタ、何年ノ法令カ忘レマシテゴザイマスガ今ヨリ各人ノ地所永代買賣ノ禁ヲ解クト云フヤウナコトガゴザイマシタ、ソレヨリシマシテ程ナク一個人ノ所有ト云フコトガ土地ノ上ニ現レテ來マシテ地券ト云フモノヲ發セラレテアリマス、依ツテ其地券ハ此間マデ吾々皆其地券面ヲ以テ土地ノ所有ヲ證明シテ居タノデアリマスル、殆ド其地券ノ存在シテ居リマシタ時ハ土地ノ賣買ハ地券ノ引渡シヲ以テ成立ツタモノト言ハムガ如キ有様デゴザイマシタ、ナゼト申シマスル其地券ト云フモノハ即チ公正證書デゴザイマスルカラ是ハ吾々ガ相互ニ書イタモノデナイ、即チ或ル權能アル役所デ出來タモノデゴザイマスルニ

依ッテ此地券面ヲ以テ地所ノ賣買ヲスルト言ハシガ如キ有様デアッタデゴザ
イマス、即チ是ガ正シク右ノ不動產ニ附イテハ公正證書デナカラネバ第三者
ニ對抗スルコトガ出來ヌゾト云フコトハ現ニ吾々ガ此地券面デ證據立テ、
居ッテデゴザイマス、然ルニ明治十九年ニ於キマシテ登記法ト云フコトガ行
レマシテ登記法ガ設ケラレマシタ、此登記法ノ設ケラレマシテ以來各人ノ土
地賣買ト云フモノハ、若シ第三者ニ向ッテモ此賣買效力アラント欲スルモノ
ハ此登記法ニ依レト云フコトニナッテ居リマス、是ハ委員長モ申サレタ通私
モサウ思ヒマス、自由ノ制度デゴザイマス、決シテ皆ヤラニヤアナラヌ、若
クハ獨逸ノ法律ノ如キ登記ヲセネバ賣買ハナラヌト云フコトハゴザイマセ
ヌ、各人ノ自由デゴザイマスケレドモ第三者ニ向ヒマシテハヤラネバ其賣買
ヲシタ者ガ損ヲシマス、買ヒマシタ者ガ損ヲシマスルカラ右ノ通十九年八月
ニ登記法ガ發布ニナリマシテ、ツレヨリ以後ハ賣買ノ成立ヲ所ノモノハ右ノ
第三者ニ向ッテ權能ヲ維持シヤウト思ヒマスレバ登記ヲセネバナラナイ、ツレ
カラ其後ハ二十二年ニ於キマシテ……明治二十二年ニ於キマシテ地券ヲ廢シ
テ地租ハ土地臺帳ニ登錄ヲシタル地價ニ依リ其記名者ヨリ徵收スルト云フコ
トガ發表ニナッタデゴザイマス、デ茲ニ地券ヲ廢シテ云々ト云フコトガゴザ
イマスカラ即チ此土地臺帳ト云フモノハ地券ガ廢セラレマシテカラ其地券ノ
相續者トシテ現レテ出デタデゴザイマス、ツレデ十九年ニ登記法ノ發表ニナ
リマシテカラ各人ノ所有權ハドウ證據立テルカト申シマスレバ右申ス通賣買
ノ時ニ至リマスレバ右ノ登記デ證據立テ、又賣買ヲ致シマセヌモノデゴザイ
マシタナラバ右ノ地券ト云フモノデ證據立テ、居ッテデゴザイマス、是ハ御
互ヒ皆其通デゴザイマシタ、ツレヨリ二十二年ニ至リマシテ地券ヲ廢シテ土
地臺帳ヲ置クト云フコトニナリマシテ、此地券ノ代ニ土地臺帳ト云フモノガ
現レ出デマシテ、始テ茲ニ又一ノ簿冊トナッテ各人ノ地券ハ各人ノ手ニ持ッ
テ居リマシタガサウデナク或役所ニ於テ備ヘル所ノ帳簿ト變ジマシテ是デ各
人ノ所有ヲ證明スルコトニナッテ居リマス、ツレデ此土地臺帳ハ唯納稅者ノ姓
名ヲ記シタモノデ納稅證書ノミデ證明シタモノデアルト云フ論ハ私ハドコカ
ラシテサウ云フ論ガ出ルカ一向理解ニ苦ミマス、若シ其論ニ據リマスレバ政
府ハ人民ノ證券トシテ居ル所ノ地券ヲ廢シテ仕舞ッテ何モツレニ代ルベキ證
書ヲ與ヘナカッタト云フコトニナッテ來マス、私ハドコノマデモ地券ヲ廢シ
サウレテ土地臺帳ヲ置イタトスレバ地券ノ代リニ土地臺帳ガ生レ出タモノデ
アッテ其土地臺帳ト云フモノハ土地ノ所有ヲ證明シテ居ルモノデアアル、デ斯
ノ如ク法律ガ既ニ土地ノ所有ヲ證明シテ居ルモノデゴザイマスレバ之ニ向ッ
テ此土地臺帳ノ效力ヲ消滅セシメ、土地臺帳ニ記載ノ事項ヲ抹殺セントス
ルニハ唯ダ一ノ證書ヲ以テ抹殺スル譯ニハ參リマセヌ、若シ一ノ私證書ヲ以
テ此效力ヲ抹殺シ得ルトスレバ強チ今日無用ノ費用ヲ使ッテ登記法ヲ置ク必
要モナイ、土地臺帳ヲ置クノ必要モナイ、是等ハ無用ノ贅物ニ屬シテ仕舞
フ、私ハサウハ考ヘマセヌ、是ハ人民ノ爭訟ヲ豫防スルタメノ國家ノ機關ト

シテ備ヘルモノデゴザイマスカラ國民モ之ニ向ッテ矢張費用ヲ費シテ今日
維持シテ居ルダラウト思ヒマス、デ右ノ通土地臺帳ト云フモノト登記簿ト
云フモノト其性質效力ヲ申上ゲレバ最早私ノ論ハ盡キタリト存ジマスル、ツ
レデモマダ私證書ノ方ガ勢力ガアル公證書ハイラヌト云フ論デアレバ早ク登
記ノ費用カラ削除シテ仕舞ッタ方ガ宜カラウト思ヒマスル、ツレカラモウ一
ツ疑ガ出マシテ委員會中デ屢々議論ヲ聽キマシタノハ、成ル程右ノ通第三者
ニ向ッテハ登記セザレハ效力ハナイ、登記簿デゴザイマセヌデモ土地臺帳ニ
載セナケレバ效力ハナイ、ツレハ左リナガラ民事ノ契約ノ上ノ話デアッテ公
法上ニハサウ云フコトハアリハセヌト云フ論ガ屢々現レ出デタデゴザイマス
ル、ツレデ選舉ノ場合ニハ第三者ハナイ、第三者ヲ昇ギ出ス必要ハナイト云フ
論ガアリマシタガ是ハ私ドモ極感服ノ出來ナイ說デゴザイマスル、抑々選舉
ト云フモノハ御存ジノ通公衆的ノモノデアッテ相互ノモノデゴザイマセ
ヌ、私ゴトデナク公ケゴトデゴザイマスル、公ケゴトデゴザイマスカラ何ハ
タリトモ之ニ向ッテ訴訟ヲ起スコトガ出來ル性質ノモノデゴザイマス、今多額
納稅議員互選規則ノ上ニ言ヒマスレバ即チ名簿調製ノ時ニ於テハ法律ガ付與
シテ居ル所ノ資格ヲ有シテ居ル人ガ名簿調製ニ不服ヲ唱ヘ異議ヲ唱ヘルト云
フコトガ出來ル、名簿ガ定レバ其名簿ニ載ッテ居ル十五人ガ苦情ヲ申立ル
コトガ出來ル、依テ名簿調製ノ上ハ全縣下ノ一部分ガ總テ縣下ニ利害ノ關係
ヲ有ッテ居ル、名簿一タビ定マレバ十五名ガ一ノ小サナ社會ヲ組織シテ此中
ノ人デアレバ誰デモ異議ヲ申立テ爾權能ヲ有ッテ居リマスル位ニ總テ選舉ト
申スモノハ公ケニ資格アル者デアッテ、依ッテ其訴權ノ如キモ公ケノ訴權ヲ
有ッテ居ルモノデゴザイマス、是等モ同ジク外國ノ例モ考ヘテ見マシタ所ガ
選舉ノ上ニ附キマシテハ第三者ト云フモノハ色々判決ノ上ニ現ハレテ居
ル、其第三者ト稱スルモノハ選舉ノ進行上ニ依ッテ色々違ッテ參リマスルガ
先ヅ選舉名簿調製ノ時デゴザイマシタナラバ即チ縣知事ガ此名簿ヲ調製スル
ト云フコトニナッテ居リマスカラ苦情ハ皆縣知事ノヤッタ仕事ニ向ッテ苦情
ヲ申シテ出ルノデゴザイマスカラ此ニ外ニ一ツノ私ノ私證書ノ契約ガアッ
ト想像シマスト其契約ノ面カラシテハ縣知事ハ即チ第三者ニナッテ居ル、即
チ國ハ第三者ニナッテ居リマスル、ツレカラ選舉既ニ……名簿調製ニナリマシ
タ所デ今度ハ十五人以外ノ人ガ十五人ノ位列ノ中ニ在ルベキヲナセ除イタ
カ、ト云フ其除カレタ人ハ同ジク第三者デゴザイマスル、是ハドウ云フ時ニ
起ルカト例ヲ言ヒマスレバ今假ニ十五人ト云フ名ヲ列ネテ其十五人ノ中ノ一
人ガ何カ私ノ契約ヲ以テ俄ニ大盡トナッテ現レ出デタトカ丁度大地主發生ノ
ヤウナ鹽梅ニ出タトキハ他ノ人ハ決シテ正當ノ契約デナイ、自身ガ帳簿ニ控
ヘテアル名目ハ決シテ爭フベカラザルモノデアルト云フ訴ヲ起セバ其人ハ第
三者ノ中ニ取ッテ私ノ契約ノ效力ヲ爭フト云フコトニナル、本問題ニ於テ松
村某ノ爭訟ノコトヲ宇野兄弟ノ契約上カラ推シテ論ジマスルト第三者ニ
ナッテ居ル、然ラバ第三者ノ契約ト右宇野等ノ兄弟ノ契約ト云フモノハ果シ

テ第三者ニ向ッテ其效力ヲ及シ得ルヤ否ヤト云フコトガ是ガ第一主眼ノ問題
テ無クテハナラナイ、ソレデ尙ホ是モ委員會ノ中デ屢々起ツタ問題デゴザイ
マニシテ成ル程證據法ニツレハ有ルダウガツレハ民事上ノコトデアッテ
公法上ニハソノナモノハナイト云フヤウナ説モ聞キマシタガ、民事ノ原則ヲ
持ッテ來テ公法上ニツレハ適用スル譯ニハ行カヌト云フ論デアリマス、是モ
私ハ一向其理由ヲ了解スルニ苦シマス、ソレナラバ私が反問ヲシマスルダ
ガ公法上ノ訴訟ニ於テハ別ニ公法上ノ證據法ト云フモノガ日本ニ制定サレテ
居ルヤ否ヤト問ハナケレバナラヌ、若シ公法上ニ證據法ノ制定ガナイナラバ
是ハ普通ノ證據法ニ據ルヨリ外ナイト私ハ思ヒマス、普通ノ證據法ニ據リマ
スレバ右申シマシタ通り公私兩證據ノ效力ト云フコトハ論ジナケレバナリマ
セヌ、マサシク選舉ニ關スル訴訟ハ是ハ右ノ行政上ノ訴訟ニ相違ゴザリマセ
ヌ、然ラバ行政上ノ訴訟ニ於テハ效力ヲ判斷スル別ノ特種ノ公法ガアルヤ否
ヤト云フコトヲ問ハナケレバナラヌ、私等ノ見マスル所デハ公法ハ別ニ證據
法ハ定メテ居リマセヌ、別ニ定メタル所ノ證據法ガナイナラバ普通ノ證據法
ニ依ッテ判斷スルヨリ外ニ別ニ道ハ決シテナカラウト存シマス、是等ノコト
モ申サバ法律ノ初學見タヤウナ話デゴザイマスルケレドモ委員會ノ決議ハソ
コニ至ッテ居リマセヌカラシテ辯ズルノデアリマス、ソレデ諸君此問題ノ……
疑問ノ起リト言ヒマスルノハ是ハ郡制ノ第九條ノ適用カラシテ問題ガ起ツタ
ノデゴザイマスル、決シテ諸君ニ於テ別ニ作爲シテ斯ウ云フコトヲ御起シニ
ナツタノデナカラウ、反對者ノ論モ起ツタノデナカラウト思ヒマス、畢竟ス
ルニ郡制第九條ニ大地主ハ土地ヲ所有シト云フコトヲ言ッテ居ルカラ土地サ
ヘ所有シテ居レバ宜イカラ大地主ニナレルカラト云フノデ或ル郡ニハ大地主
ガ續々出來タ、ソレモ或ル裁判所ガ同一ノ判決ヲシタカラシテ内務省デモ留
ムルコトガ出來ヌヤウニナツテ仕舞フタト云フ、サウ云フ例モアルカラ私證書
デ土地ノ讓渡シヲヤツテ直ニ大地主トナツテモ差支ハナイデヤナイカ、即チ
土地ノ所有ノミヲ以テ第三者ハ如何、證書ノ效力ハ如何ト論究セズ、唯土地
ノ移轉一點張デ既ニ事ガ判斷シテ居ル證據デアルカラ是デ宜イデヤナイカト
云フ反對ノ論ガ出テ委員會ノ決議モツレカラ生シテ來テ居リハセヌカト思ヒ
マス、ケレドモ私等ノ説ハ土臺カラ、右ノ或ル郡デ私證書ヲ以テ土地ノ所有ヲ
證明シタノミデ大地主トシタト云フコトガ既ニ私等不服デゴザイマスル論旨
ノ最モ要トスル……私等ノ要トスル所ハソコニ在ルノデゴザイマス、既ニソ
コデ一ツ間違ガ起ツテ居リマスカラ其間違ガ貴族院ニ影響シテ來タニ過ギナ
イ、依ッテ其元ヲ責メマスレバ郡制ノ第九條ニ土地所有ト云フタカラ土地ヲ
所有サヘシテ居レバ宜シイ證書ノ效力等ハ一向問フ必要ハナイト云フノガ今
日ノ病根ニナツテ居リマス、是ハ極面白カラザル徵候ダト思ヒマス、日本
デ大分法律々々ト言ヒマスルガマダ法律ノ幼稚ナルコトヲ證明スルニ足ルダ
ラウト思ヒマス、凡ソ法ヲ執リマスルモノハ唯一二ノ條文ヲ見テ之ヲ以テ直
ニ全般ニ及スト云フコトハ大變ナ過ヲ生シマス、全部ニ涉ッテ見ネバナリマ

スマイ、右ノ大地主ノ第九條ニ土地ヲ所有シト云フテ居ルカラシテ登記ニ依
ル必要モナカラニヤ、土地臺帳ニ依ル必要モナイト云フタコトガ、ドコカラ
出タカト言ヒマス登記ニ依レ土地臺帳ニ依レト云フタコトガ書イテナイカ
ラ土地臺帳ニ依ラナカッタト云フコトニナツテ居リマス、幼稚ト云フコトハ
サウ云フコトヲ私ハ申シマス、我々ガ御客ニ呼バレマシテ亭主ガ飯ヲ食ヘト
言フタノデ手摺ミニ直キ食ツタト云フヤウナ話デ、ナゼ箸ヲ取ラナカッタカ
云フト箸取レト言ハナガツタカラ取ラナガツタト云フ、殆ド私ハ其類デハナカ
ラウカト思ヒマス、法ヲ解シマスルニハ法ノ精神ニ依ラナケレバナラヌ、又證
據ヲ求メマスルニハ即チ證據法ノ原則ニ依ッテ判斷セニヤナラナイ、然ニ原
則ニモ依ラズ法ノ精神ニモ從ハズシテ他ニ處分ヲ爲シタト云フノハ、マルデ
手摺主義ニ相違ゴザイマセヌ、書イテナカッタカラ遣ラナカッタト云フ、箸
取レト言ハナカッタカラ箸取ラナカッタト云フ、凡ソ教育アル者デゴザイマ
スナラバ必ズ箸取ルダラウト思ヒマス、言ハヌデモ……ソレデソレ等ノコト
ガ右ノ法律ノ生嚙リトデモ云フヤウナ譯カ知リマセヌガ餘程危ナイ話デヤト
始終思フテ居リマス、若シサウ云フコトデアレバ何モ斯モ一々言フテ聞カ
セナケリヤナラヌシ、必ズ各條ニ持ッテ行ッテ當リ前ノコトモ矢張書イテ置
カネバ之ヲ執行シナイト云フ斯ウ云フ結果ニナツテ來ル殆ド人ヲ人トシテ扱
ハヌコトニナル、假令郡制ニ登記法ニ依レ土地臺帳ニ依レト言フテゴザイマ
セヌデモ是ハ證據判斷ノ上デ自ラ土地臺帳ニ依ッテ自ラ大地主ノ資格ヲ定メ
ネバナラヌ、證據判斷ノ上ニ於テ自ラ地主ノ資格ヲ定メネバナラヌ、是ハ當リ
前ノ話デアアル、法ハサウ一々綿密ニ當リ前ノコトヲ言フコトモゴザイマセヌ
カラ法ヲ執ル者ハ其邊ハ心得テ居ラネバナラヌト私ハ信ジマス、少シ長ク
ナリマシテゴザイマスルガ是ガ私等ノ執ッテ居リマスル所ノ概略デアッテ即チ
少數者ノ意見ノ要項デゴザイマス、現今ノ有様ハドウカト申シマスルト先
刻モ内務ノ縣治局長ガ説明サレマシタ通現ニ各縣ノ狀況ハ私ノ申シマスル通
ノ方法ヲ以テ名簿ヲ調製シテ居リマス、是ハモウトント證據法ノ原則ニ
依ッテ少モ間違ヘズヤツテ居リマス、斯ウナラネバナラヌコトデアッテ此ハ
達ハ澤山法律ニ深い人達バカリデモアリマスマイガ、即チ常識ヲ以テ定メマ
スレバサウ云フ外ニハアリマセヌカラ、常識ヲ以テ法律ヲ判斷シマスレバ問
違ッテ居リマセヌ即チ此所ニ茨城縣千葉縣、神奈川縣、埼玉縣此四縣ハ委員
會ノ少數者ノ方カラシテ要求致シマシテ内務省ニ託シテ取調ベテ貰フタノデ
ゴザイマス、急ギマシタカラ近縣ダケデ調ベタノデアッテ遠クニ涉リマスレ
バ今縣治局長ノ言ハル、通矢張土地臺帳ト登記法即チ公私ノ性質アル所ノ公
證書ニ依ッテ認メテ居リマス、正シク私證書ハ公證書ニ對抗スルコトノ出來
ヌゾト云フコトノ奇麗ナ原則ヲ各地ノ名簿調製ノ上ニハ其方針ヲ執ッテ居リ
マス、デ右ノ通デゴザイマスカラ若シ是ガ私證書ガ物言フタ土地臺帳頼ム
ニ足ラズ登記法何デモナイ、私證書ヲ以テ悉ク證明シ得ルモノダゾト斯ウ
ナツテ來マシタナラバ恐ラク此多額納稅議員諸君ノ此次ノ改選ニハ悉ク當選

訴訟ヲ後ヘニ置イテ來ラレルダラウト信シテ居リマス、私デモ當選訴訟ヲ起サウト思ヘバ極ク容易ウゴザイマス、何デモナイコトダラウト思ヒマス、且ツ右ノ通ノ判決ニナレバ各府縣ニ於キマシテ名簿調製上行政ノ紊亂ヲ來スノハ明デアリマス、是ニナツタ貴族院其責ヲ負ハナケレバナラヌモノト思ヒマス、ソレデ私ハ右ノ通ノ意見デゴザイマスカシテ此證據法ノ原則ヲ維持センガタメ行政上ノ紊亂ヲ豫防センガタメニ貴族院ノ名譽ヲ維持センガタメニ此少數者ノ意見ヲ提出シテ譯デゴザイマスル少シ長クナリマシテ甚ダ御氣ノ毒千萬デゴザイマスガ辯論ノ已ムヲ得ザル譯デゴザイマス

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 此少數者ノ意見ガ出マシタカラ實ハ少數意見ガモウ少シ御調ニナツテ出ルコトダラウト思ヒマシタ所ガ實ハ之ヲ見マシテ驚入ッタノデゴザイマス、ソレノミナリマセズ唯今木下君ガ冒頭ニ置カレマシタ甚ダ穩ナラヌコトヲ言ハレタ、ソレハドウ云フ譯デスト云フト若シ此委員會ノ決議ノヤウナコトニナツタラ今日我邦ニ於テ制定シタル所ノ證據法ト云フモノ、維持ガ出來ズ之ガタメニ各地方トモ餘程紊亂ヲ起スト言ハレマシタ、實ハ本員ハ甚ダ御調ノ行届カヌト云フコトノ點ヲ申セバ頻ニ我邦ニ制定シタル證據法ト云フモノハ帝國證據法ト云フコトヲ云ハレマスガ我邦ニ於テ證據法ハゴザイマセウカ

〔木下廣次君アリマス民法ニ立派ニ書イテゴザイマスト述フ〕

……ソレガ怪シカラ違デス、木下君ハ少シク法典調査會ニ御出デマゴザイマシタカラ御存ジデアラウト思ヒマス、若シ御存ジデアレバソナコトハ決シテ言ヘヌデス、本員カラ言ヘヌト云フコトハ申上デマセウガ本邦ニ於テハ未ダ證據法ト云フモノハナイ、成ル程木下君ハ舊トノ民法ヲ御覽ナストテ舊イ民法ヲ御覽ニナツテ舊イ民法ノ夢ヲ見タコトヲ仰シタルノデハゴザイマセヌカト思ヒマス、成ル程舊イ民法ニ於テハ仰シタル證據法ガゴザイマス、ソレハ本員モ能ク知ツテ居リマス、即チアノ證據法ト云フモノヲ一ツ設ケタデス、財産編ニソレカラ取得編、擔保編、證據編ト云フモノヲ設ケマシテサウシテ此證據法ト云フモノガ制定サレマシタ、ソレハ確ニ制定シタ、所ガ法典調査會ニ於キマシテ一體此證據ト云フモノハ、證據法ト云フモノハ何ノ性質ニ適スルモノヤト云フ論ガ出マシテ是ハ民事訴訟法ニ適スルモノデア、民事訴訟法ノ中ニハアノ通心證ト云フモノモアレバ或ハ書證ト云フモノモアリマス所謂證據法ハ民事訴訟法ニ在リマス、其方ヘ附ケタ方ガ宜カラウ、ソレデ民法修正ニ於キマシテ證據編ト云フモノハ削ツテ仕舞ヒマシタ、ソレヲ御存ジデナクテハナラヌ、法典調査會ノ委員ニ列シテ御方ナラバ御存ジデナケレバナラヌ、證據編ト云フモノハ削リマシテサウシテ之ヲ民事訴訟法ニ入レルト云フコトノ決議ニナツテ居リマス、追ッテ民事訴訟法ガ出マシタラ證據法ト云フモノハ民事訴訟法ニ入レルニ違ヒナイ、今日ノ民法ヲ御覽ニナツタラ分ルデアリマス、一目シテ今日ノ民法ニハ證據ノコトハナイ、即チ木下

君ハ舊イ民法ノ夢ヲ見タコトヲ仰シタルト云フ所以デアリマス、ソレニ決シテ本邦ニ於キマシテハ今日ハ證據法ト云フモノハゴザイマセヌ、然ルニ先程カラ此滿場諸君ニ本邦ノ證據法ノ設定トカ帝國證據法ト云フコトヲ仰シヤイマスト餘程滿場諸君ニ重キヲ置カレラダラウト思ヒマス、是ハ大ノ嘘ノ皮ト云フモノデアリマス、本員ハ隨分法典ニ附キマシテハ初カラ法律取調カラズト掛ッテ居リマス、ソレダケノコトハ木下君ニ御譲リハ致サヌ積リデゴザイマス

〔木下廣次君確ニ承リマシタト述フ〕

若シアルナラバ出シテ御覽、決シテ御出シナサルコトハ出來ヌデス、ソレデ大方本員ノ考ヘルニハ木下君ハ佛蘭西ニ御詳シイカラ佛蘭西ノ證據ノコトヲ仰シタルダラウト思ヒマス、所ガ佛蘭西ニモ證據法ト云フモノハゴザイマセヌ、即チ民法ニ在ル、民法ニ證據ノ手續ガアルダケデゴザイマス、又委員會ニ於テハ一向外國ノコトハ研究ガナイト仰シヤタ、先日私ハ委員會ニ於テ木下君ガ云ハレタ時ニ本員ガ直ニ其說ヲ撃ツタコトガゴザイマス、ソレハ御記憶デゴザイマセウ、決シテ公正證書ニ附イテ外國ノ例ヲ論ジナイコトハナイ、十分論ジタ積リデアリマス、ソレデ外國ノコトヲ云ヘバ獨リ佛蘭西バカリデハナイ、獨逸モアリマセウ獨逸デモ亦證據法ト云フモノハナイ各國ノ證據法ト仰ッシヤイマスケレドモ獨逸デモ設ケテハナイ、プロイセンノ中ニ成ル程證據慣習法ニ於キマシテ其證據ノコトガゴザイマスルケレドモ獨逸ニ於テハゴザイマセヌ、英吉利ハ御存ジノ通慣習法デアリマスカラ特ニ法律ハ設ケテナイ、各國ニソナモノガアルダラウト仰シタルケレドモ是ハ甚ダ違ッタコトダラウト思ヒマス、併ナガラ餘所ノ國ノコトヲ云ヘバ各國皆證據ノ取リ方ハ方法ガ違フダラウ、多少違フ、今木下君ノ言ハレタヤウナコトハ本員ハアルマイト存ジマス、ソレデ本員ガ記憶シテ居リマスル所ハ……然ルニ公正證書ノコトヲ頻ニ木下君ガ喋々ト先程カラ御論ジニナツテ居リマスガ佛蘭西法ト雖モ色々場合ガアル佛蘭西法ト雖モ公正證書ハ或ル場合ニ於テハ其效力ヲ停メラレルコトモアル、又私證書ト雖モ相手方ガ承認シタナラバ公正證書ト同一ノ效力ガアル、是ハ相手方ガコソチデモ賣ツタト云ヒコソチデモ買ツタト云フ時ニハ公正證書ト同一ノ效力ヲ有スルモノトナツテ居ル、今日裁判上デ公正證書ト同ジク扱ッテ居ルデアリマセヌカ、ソレダカラ必シモ私證書ハ一向効ノナイモノダト仰シタルハ是ハ實ニ驚入ッタ話ダラウト思ヒマス、一體證據法ト云フコトヲ仰シヤイマス證據ト云フモノハ何ノタメニ必要デゴザイマスカ、雙方認メタ上ハ必要ハナイ、證據法ハ裁判上ニ於テ一方ハ斯ウダト云ヒ一方ハ斯ウデナイト云フ時ニ何レ證據ガ用ヲ成ス若シ雙方デ出テ來タ、片方ハ賣ツタ片方ハ買ツタト云フ時ニ何ノ證據ノ必要ガアリマスカ、チットモサウ云フ場合ニハ證據ト云フモノ、必要ガナイ、唯ダ雙方ニ論ノアル時ニ極メルダケノモノデア、又公正證書ノコトモ言ハレマスケレドモ固ヨリ公正證書ハ仰シタル通色々ナモノガ作ル是モ作リ方ガ違フダラウト思ヒ

マス、成ル程裁判所で作ルモノモアリ、公證人が作ルモノモアル、プロイセン邊リデモハ慣習ニ於キマシテハ公正證書ヲ使用致シマスノハ或ハ裁判所ノ公正證書ト云フモノガアル、或ハ裁判外ニ要スル公正證書モゴザイマス、ツレデ先日モ委員會デ御話ガゴザイマシタガ獨逸邊リデハ或ル場合ニハ是非公正證書ヲ作ラネバナラヌト云フコトガアリマス、公正證書ヲ以テ作ラネバナラヌト云フコトガアル、例ヘテ見ルトプロイセン邊リデハ世襲財産契約書、時効ニ關スル契約、海外ノ土地ニ關スル外國裁判上ニ公證人ノ請求スルモノハ公正證書ヲ作ル或ハ裁判外ニ公正證書ト云フモノヲ公證人ハ作ル或ハ手ヲ書クコトノ出來ヌ者ガ約束シタモノヲ作ル或ハ小作契約ニシテ六百「マルク」以上ノ小作料ヲ拂フモノハ證書ヲ作ル其他私證書ト云フモノモアル、佛蘭西邊リニモ自ラ其仕方ハゴザイマスケレドモツシナコトヲ續々申ス必要ガナイ、併シ私證書ト云フモノハ何ニモナラヌモノダト云フコトヲ申シマシタガ、買フ賣ルト云フ口バカリデモ宜イト云フコトヲ言ハレタ、何處デモサウダ、各國サウダト言ハレマシタ、是モ決シテサウ云フ事ハナイ、本員ノ覺エテ居リマスル彼佛蘭西ハ百五十「フランク」ノ契約ハ必ズ書面ヲ作レト云フコトガアル、日本ノ舊トノ古イ民法ノ證據ノ部分ハアリマシタ、五十圓以上ノ契約ハ必ズ證書ヲ作レト云フコトガアリマシタ、今日ハ是ハゴザイマセヌ、是モ一概ニ仰シヤル所トハ違ッテ居ルダラウト思ヒマス、ツレデ本員ハ實ハマダ御論ニナツタ所ヲ餘程驚キタイコトガ澤山アルデス、悉ク本員カラ擊チタイト思フコトガアリマスケレドモ極ク重ナル所ダケヲ申サウト思ヒマス、其證書ノ所ニ斯ウ云フ事ヲ言ハレタ、本員カラ即チ委員ノ言フ所ノ此證書ト云フモノハ之ヲ役人が取繼イダカラト云ツテ、是ガ何ノ用ニ立ツ、一向信用ヲ措クニ足リヌデハナイカト言ハレタ、單ニサウ言ハレ、バ成ル程本員モ御同意ヲシマスガ是ハサウデナイ、之ヲ既ニ御覽ニナツタカ知レマセヌケレドモ當人ガ此通印ヲ捺シテ居ル、是レハ、ノ地所地價八百五十三圓ノ地所ハ明治二十九年七月二日地所ノ讓渡ノ契約ヲ爲シタルモ、今以テ地所ノ租稅ダケハ自分デ納メテ居ルト云フコトガアリマス、又印ト雖モ當人ノ實印ニ違ヒナイ、是ハ即チ村役場マデ今日出シテ居ルデス、自分ガ書イデ出シテ自分ガ印ヲ捺シ出シテ即チ之ヲ議長カラ政府ニ要求シ、内務省カラ縣廳縣廳カラ郡役所、村役場マデ手ヲ經テ出シタモノデアル、當人ガ確ニ斯ウ書イテ居ル、是ヨリ外ニ確ナモノハナイ、此印ヲ嘘ダト云ヘバ政府ト云フモノハマルデ信用ノナイモノデアルト云フコトニナル、ツレナレバ初メカラコンナ要求ヲシナイガ宜イ、御同様ニ要求シタノハ何故ニ要求シタノデス、是ハ即チ當人ヲ喚出スコトガ出來ヌカラ、政府ノ手ヲ假リテ始メタモノデス、政府ノ是ダケノ手續ヲシタコトハ免モ角之ヲ信ジテ宜イト思ヒマス、若シ是ニ間違ノアルヤウナ事ガアツタナラバ、此貴ハ貴族院ニ在ルト云フガ、本員ハ政府ニ在ルト思フ、貴族院ハ之ヲ信ジテ間違ヘバ政府ニ罪アリト斷定シテ宜シイ、ツレカラ仕舞ニ此内務省ニ問合セテ縣治局長モ段々言ハレテ自分ノ言フ所トガツチリ適フ

ト云フヤウニ言ハレマシタガ、アノ書面モ本員ハ實ハ先刻マデ携ヘテ居ッタデアリマスガ、アレハ丁度此處デ御披露ヲ申スニハ議長ノ手ヲ經テ政府ノモノヲ得ナケレバアレヲ出シテ皆様ニ御話申スコトハ出來ヌ、併ナガラ先程木下君ガアレヲ御吹聴ニナツテ見レバ本員ハ默シテ居ル譯ニハ往カヌデス、アノ事タルハ何デアアルカト言ヘバ何デモナイコトデス、非常ニムツカシイ事デモ書イテアルカト云ヘバ、サウデナイ、衆議院議員選舉ノ場合ニ滿一年以上ノ土地ヲ所有スルト云フコトハ何カラ數ヘルカ、既ニ土地賣買讓與ノ場合ニハツレヲ計算スルニハ登記ノ日ヨリ數ヘルト云フコトガアルガ、實際ツレヲヤツテ居ルカ居ラヌカト云フコトヲ問合セタ、ナゼト云フトツレデ事實土地ヲ持ッテ居ッテモ登記ヲシナイデ居ル者ガアリマス、ツレヲ委員カラ内務省ノ當局者ト相對デ是ハ聞イテ貰ッタ其書類ヲ見ルト内務省デハ實際此通ヤツテ居リマス、一年以上所有ト云フコトノ計算方ハドウシテ計算スル、ツレカラ登記ノ日カラ計算スル、ツレ故ニ例ヘバ衆議院デアツテ選舉人ニナラウト云フニハ必ズ登記ヲサスル、例令皆様方ガ、代々地面ヲ持ッテ居テモ今日衆議院ノ選舉人ニナラウト云フニハドウシテモツレヲ登記サセナケレバイカヌ、サウ云フヤウニ規則ガアルカラドウシテモ此規則ヲ遵奉サシテ往クト云フノデス、是ハ當然ノ事ダラウト思ヒマス、是ハ少モ此事ニ關係ヲ及サヌト思ヒマス、ツレデ一體此事タルヤ先程モ申シマシタ通公正證書、私證書ノ爭ヂヤナイデス、所有權ト云フモノハ何時移ルゾト云フ爭デアアルデス、所有權ト云フモノハ契約ノトキ移ルカ登記ノ公告ヲシタトキカラ移ルカト云フ此二ツガ明ニナレバ宜イデス、ツレハ先程モ述ベマシタカラ、即チ民法ニ於キマシテ所有權ノ移轉ノ場合モアルシ、又登記法ハドウ云フモンダト云フコトハ即チ公示ノ方法ト云フモノニ過ギヌト云フコトハ登記法ニモアリ、民法ニモアル、ツレデ若シ此委員會ノ決議ガ甚ダ不當デ之ヲヤツテハ實ニ容易ナラヌト仰シヤイマシタガ、如何デゴザンセウカ、之ヲバ此若シ本員杯ハ反對者ノ如ク決議ヲシタナラバ實ニ濟ムマイト思ヒマス、ツレコソ容易ナラヌ、實ニ反對者ノ所デ見レバ一ノ土地ヲバ詐偽シタノデアツテ早ク言ヘバ即チ詐偽ヂヤゴザイマセヌカ、一ノ地面ヲ持ッテ往ッテツレデ以テ大地主ノ資格ヲ得ル、サウシテ郡會議員ニナリ、サウシテ又其地面ヲ利用シテツレデ以テ多額納稅者ニナル、是ハ實ニ酷イ話ヂヤゴザイマセヌカ、ツシナ事ガ人間ノ道德上當リ前ノ心アルモノハ出來ルコトカ、出來ヌコトカ能ク考ヘタラ直グニ分ル、實ニ不都合千萬ノ話デアアル、斯ウ云フ事ヲ認メテサウシテ貴族院ガ其方ニ決議ヲシタラ、ツレコソ貴族院ト云フモノハ一般ノ信用ヲ失フモノダラウト本員ハ思ヒマス、本員ハ長ク實ハシタイデスガ、皆様方ノ通告ガ澤山アルカラ成ルベク皆様ノ仰シヤル御説ヲ聞キタイト思ヒマスカラ是ダケニ致シテ置キマス

○子爵長岡護美君 私ハ已ムヲ得ズ發議者ニ差止メタイト思ヒマス、唯今御演説者中ニ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 發議者ト云フノハ誰デス

○子爵長岡護美君 木下君デス、ト云フノハ此御言葉中ニ決シテ此人物論ニハ立入ラヌ、我々ハ人物論ニ立入ラヌト云フコトヲ仰シヤッテアル、本員等モ決シテ此主張スルコトニ就イテモ人物論ニハ立入ルコトハ一人モアルマイト思ヒマス、全ク其言葉ニ御注意ノ足ラヌコトカト本員ハ考ヘマス、人物論ニ立入ル立入ラヌト云フコトハ決シテ此議場デ言フベキコトデハナイト思フ、私ハドウカ御間達デアラウト思ヒマスカラ御忠告ヲ……

○木下廣次君 御忠告ハ謝シマスルガ私ノ人物論ト申シタノハ土臺論旨ガ土地臺帳及登記簿ノタメニ自身ハ辯論ヲスルト云フ斯ウ云フ趣意ノ積リデ此當人云々ト云フコトハ第二ニ腦中ニ置イテ居リマセヌカラ、此當選ハドウナラウトモト云フチヨットシタ積リデアッタノデス、ドウカ其御積リデ……

○子爵長岡護美君 分リマシタ

○木下廣次君 ツレカラ私ノ話ニ就キマシテ今村田君カラシテ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 辯論ハイケマセヌ

○木下廣次君 私ノ話ヲ或ハ間違フテ居ラレト思ヒマスカラ、チヨット正誤ヲシマス、證據法ト云フコトノ「法」ノ字ヲ大變換ヘテ御論辯ニナリマシテゴザイマスガ、私ノ「法」ト云ヒマシタノハ右ノ何編ト云フヤウナコトデ言フタノデハゴザイマセヌ、即チ法ト云フノハ此證據ノ道筋ヲ言ハントメニ言フタ主意デゴザイマス、ツレデ若シ村田君ハ其證據法ト云フモノハ日本ニアリハシナイ、商法ニ云フ位デアッテ何ニモナイト言ハレマシタガ、私ハ民法ノ百七十六條百七十七條ニ證據ノコトガ擧ゲテアリマスカラ、其道筋ヲ言フタノデアリマス、ツレカラ又村田君ノ發議ニナイト云フコトデスガ、若シ村田君ノ言フ通ニ致シマスレバ、佛蘭西ニモ證據法ト云フモノハゴザイマセヌ、編ト云フモノハゴザイマスガ……

○男爵尾崎三良君 私ハ修正說ガアルノデゴザイマスガ、通告ガアルノデスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 通告ハ澤山アリマス、三好君

(三好退藏君演壇ニ登ル)

○三好退藏君 諸君私ハ本案ニ附キマシテハ資格審査委員長ノ報告即チ多數說ニハ反對ヲ主張スルモノデアリマス、追々多數說及少數者ノ意見ヲ御採リナサル御方ヨリ御論辯ガアリマシタガ、私ノ見ル所デハ此案ヲ決スルニ當ッテ餘リ餘計ナル所マデ御踏込ニナッテ居リハセナイカト云フ疑ヒガアルノデアリマス、本員ノ見ル所ニ於キマシテハ總テ貴族院多額納稅議員ノ互選ニ關スル所ノ法律命令ニ依ッテ之ヲ研究スレバ、十分デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、第一此委員長ヨリノ報告ノ判決ノ理由ニ本件權利ノ爭サウ所ノ要點ハ貴族院多額納稅者議員ノ互選資格ニ必要ナル納稅地所有權ノ移轉如何ニ在ルト云フコトガ冒頭ニ掲ゲテアリマスガ本員ノ見ル所デハ所有權ノ移轉如何ヲ論究スルニ先ダッテ、否、所有權ノ移轉如何ヲ研究スルニアラズシテ、納稅者ハ即チ此多額納稅者議員トシテ選出セラレタ所ノ互選人ノ中ニ納稅者

トシテ互選ノ資格ヲ、互選人ノ資格ヲ有シテ居ルヤ否ヤ即チ法律ニ從ッテ納稅ノ義務ヲ盡シテ居ルヤ否ヤ、斯ウ云フコトヲ論究スルノガ第一ノ主眼デアルト思フノデアリマス、諸君御承知ノコトデアリマスルカラ別ニ引照スルノ必要モアリマセヌケレドモ、貴族院多額納稅者議員互選規則ノ第一條ニ在リマス所ヲチヨット引イテ申シマスガ、貴族院令第六條ニ依リ云々互選名簿調製ノ日ヨリ前滿一年以上其府縣内ニ於テ本籍ヲ定メ住居シ多額ノ直接國稅ヲ納メ尙ホ引續キ住居シ及ヒ納稅スルモノタルヘシ、斯ウ云フコトガアリマシテ、總テ此多額納稅者議員ノ選舉法ニ附キマシテハ土地ノ所有權ト云フモノハイツモ掲ゲテハアリマセヌ、他ノ所モ皆直接國稅ヲ納メ尙ホ引續キ納稅スルモノヲ云フガ如キコトデアリマシテ、所有權如何ト云フコトハ一モ法律命令ノ中ニ見出スコトハ出來ナイノデアリマス、全ク納稅ト云フコトヲ基礎ニ致シテ此規則ヲ設ケラレテアリマス、ツレ故此互選人タル所ノ人ハ多額ノ納稅者デアルヤ否ヤト云フコトヲ詮索致シマスレバ、十分デアラウト思ヒマス、然ルニ此互選人トナッテ居リマスル所ノ字野何某ト云フ所ノ人ハ、即チ互選人確定名簿ニ記載セラレテ居ル通多額納稅者ノ資格ヲ得テ即チ前滿一年以上其府縣内ニ於テ多額ノ納稅ヲシテ居ル所ノ人デアアル、引續キ今日モ矢張納稅シテ居ル所ノ人デアアルト云フコトハ事實ノ爭ヒナイ所デアリマス、ツレニ此訴訟ノ起ル所デ考ヘテ見マスルト其中ノ地所ヲ矢張賣ッテ居ル……讓ッテ居ルト云フコトデ訴訟ガ起ッテ居リマスノデアリマス、我貴族院ニ於テ此訴訟ヲ判決スル上ニ附キマシテハ、此多額納稅者互選規則ト云フモノ及、コレニ附イテ定メテアリマスル所ノ納稅者……納稅者デアリマセヌ、貴族院互選規則取扱方ト云フ所ノモノガ定メラレテアリマスカラ、其法律ノ明文ニ依リマシテ之ヲ研究致シマスルト云フノハ即チ賣買讓與ニ依ル所ノモノハ登記ノ日ニ依ッテ其年數期限ヲ起算スルト云フコトガ規則上命令ノ上ニ明ニ在ルノデアリマスルカラ、他ノ規則ヲ穿鑿シ、他ノ法律ヲ穿鑿シテ期限ヲ起算スルコトハ誠ニ餘計ナル所ニ穿鑿ヲ及スノデアッテ全ク此特別ノ公法即チ選舉法規則互選規則ニナイ所ノモノヲ他ニ求メテ穿鑿スルノデアリマシテ貴族院ノ資格審査委員ニ於テ全ク踏込ムベカラザル所マデ踏込シテ、之ヲ穿鑿スルノ結果終ニ此ノ如ク議論ヲムツカシクセネバナラヌコトニナルノデアラウト信ズルノデアリマス、勿論此土地所有ト申シマスルモノト登記法ノ登記ト即チ所有名義ト申シマスルモノハ一致シマスル筈デアッテ眞ニ土地ヲ所有シテ居ル所ノ者ガ土地臺帳ノ上デハ所有者デアルト云フコトハ適當ノコトニハ相違アリマセヌ、併ナガラ土地ヲ賣買讓與致シマシテ、尙ホ未ダ之ヲ登記簿ニ登記ヲ致シマセヌ間ハ其所有名義ト申シマスルモノハ矢張り前ノ人ニ在ルノデアリマス、其土地臺帳ト申シマスルモノハ矢張少モ違ハヌノデアリマス、ツレ故ニ地租條例ノ第十二條ニ依リマスル土地租ハ土地臺帳記名者ヨリ徵收スト書イデアリマスデ登記所ノ方ニ……又土地臺帳規則ノ第三條ニ「登記所ニ於テ土地所有ノ移轉及ヒ讓與質入ノ登記ヲ爲シタルトキハ土地臺帳所管

應ニ通知スヘシト斯ウ書イテ規定シテアリマスカラ、賣買讓與ニ依ッテ此土地ノ所有ガ移轉シタ場合デモ登記ノ手續ヲセヌケレバ土地臺帳所管廳ト云フハ之ヲ知ルコトハ出來マセヌデアリマスル、土地ノ所有ト云フコトハ如何ニ移轉スルニ拘ラズ納稅ト云フ所ノ義務ハ矢張土地臺帳ノ記名者ヨリ盡サネバナラヌト云フコトニナッテ居ルデアリマス、其此ノ如キ實際ノ所有年限ト此納稅期限ト云フモノト一致セザル所ノ場合ガ實際或ハアルト云フコトハ免レナイデアリマス、ソレ故ニ此貴族院多額納稅者ノ互選規則ニ於テモ衆議院議員選舉規則ニ賣買讓與ニ依リ土地所有權ノ移轉ノ場合ニ於テハ其所有ノ年限ハ衆議院……チヨット是ハ間違ヒマシタ、此貴族院多額納稅者議員ノ互選規則取扱方ト云フモノニ持ッテ往キマシテ賣買讓與ニ依リ土地所有權ノ移轉ノ場合ニ於テ其所有ノ年限ハ總テ衆議院議員選舉法施行規則第三條ノ第二項ノ例ニ異ナラヌト云フ斯ウ云フコトガ規定シテアリマス、其第三條第二項ノ例ハ即チ前ニ申述ベマシタ通ニ賣買讓與ニ依リ土地ノ所有ガ移轉ノ場合ハ其所有年限ヲ算スルコトハ登記ノ日ニ依ルベシト斯ウ云フコトデ、貴族院ノ多額納稅者ノ互選ニ於キマシテモ年限ノ起算ト云フモノハ矢張登記ノ日ニ依ルベシト勅令ヲ引用シテ持ッテ來テ居ルデアリマス、勿論貴族院ノ方ノ取扱規則ト云フモノハ内務省ノ訓令デアリマスケレドモ法律ニ從ッテ制定セラレマシタ所ノ勅令ニ背カザルヤウニ其趣意ヲ引用シテ訓令ヲシテ居ルデアリマスカラ、是ハ矢張法律ト同様ニ此貴族院ニ於テモ固ヨリ準據シナケレバナラヌ所ノモノデアラウト思フデアリマス、之ニ準據シテ審查致シマシタトキニハ別ニ此事ニ就イテ他ノ法律規則或ハ民法ノ制定或ハ大審院ノ判決等ノモノヲ引用スルノ必要ハ少モナイコトデアラウト信ジテ居リマス、誠ニ簡短ナル議論デアッテ左程ニハムヅカシイ議論ノアル筈ハナイト思フデアリマス、如何トナレバ貴族院ノ方ニ於テ資格審查委員ト云フ者ヲ設ケテ此選舉ニ關スル所ノ資格審查ヲ爲サシムルタメニバカリデアリマセヌケレドモ此小冊子ト云フモノハ我々各諸君ト共ニ據ッテ以テ貴族院議員ノ職務ヲ盡ス所ノ基本ニナッテ居リ據ル所ニナッテ居ル所ノモノト思フ、此中ニ掲ゲテアル所ノモノヨリ他ニ別ニソレ程ニ他ノ法律規則ヲ引用スルニハ及バナイ所ノモノデアルト私ハ考ヘルデアリマス、所有權ノ移轉、所有權ノ有無等ヲ審判スルノハ固ヨリ地方裁判ノコトデアリマシテ決シテ資格審查委員ノ爲スベキ所ノコトデナイ、又貴族院ニ於テ所有權ノ有無移轉ト云フコトハ決シテ判決スルコトノ出來ナイコトデアルト思フ、若シ其事ニ及ンダナラバ却ッテ貴族院ノ判決ハ違法ノモノニナルト私ハ信ジテ居リマス、ソレ故ニ唯其資格ノ有無選舉ノ當否ト云フコトダケデアアルデアリマス、ソレヲ審查シテ判決スルノガ貴族院ノ責任デアラウト思ヒマス、ソレヲ審查致シマスルニハ先刻モ申述ベ

マシタル所ノ納稅ノ資格即チ文面ノ如ク多額ノ直接國稅ヲ納メ尙ホ引續キ納稅スルモノデアアルヤ否ヤ納稅シテ居ルモノデアアルヤ否ヤト云フコトヲ審查スレバ足ルデアアル、決シテ他ノコトニ審查ヲ及ボスニ及バヌシ裕ニ納稅シテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ吟味スレバ足ル、此コトヲ吟味シテ見ルニ及バズ、モウ既ニ此事ハ何ニモ論ハナイノデ凡テ今日マデ納稅シテ居ル其土地ノ上ニ付テハ少シモ、土地臺帳ノ上ニ於テモ少モ異動ハシテ居ラナイト云フコトハ明カデアリマスレバ此字野清左衛門ト云フ人ガ他ニ如何ナルコトガアルニモセヨ貴族院多額納稅者規則ノ多額納稅者トシテ互選人トシテ其資格ヲ有シテ居ル所ノ人デアアルト云フコトハ寸毫モ疑ナイコトデアリマス、ソレ故ニ本員ハ此互選人ノ資格ヲ持ッテ居ル所ノ字野清左衛門ト云フ人ノ投票シタル所ハ有效ノモノデアリマスニ依ッテ松村修平ト云フ今日貴族院議員タル所ノ人ノ當選ハ決シテ無効ナモノデナイト云フ意見ヲ持ッテ居ルモノデゴザイマス、終リニ委員長ノ報告ニ係ル此判決ノ後段デアリマス、是ニ附キマシテ尙ホ意見ヲ述ベマス、矢張凡テ反對デアリマスガ殊ニ此後段ノコトニ附イテハ最モ違法ノモノデアラウト存ジマスルニ依ッテ添ヘテ申述ベマス、先刻ヨリ申述ベマシタ通ニ貴族院ハ議員ノ資格及選舉ニ關スル爭訟ヲ審查シテ判決スル所ノモノデアリマス、貴族院ハ云々議員松村修平ノ當選ヲ無効トスト云フコトハ成ル程ドチラニ致シテモ有效カ無効カト云フコトヲ判決スルノハ貴族院ノ責任デアリマス、併ナガラ原告茨城縣多額納稅者議員互選人某ヲ以テ當選人ト判決スルト云フコトハ越權ノ申分デアラウト信ズルデアリマス、如何トナレバ此貴族院議員ノ當選ニ附イテ有效デアアルカ無効デアアルカト云フコトヲ審查シテ判決スルノハ貴族院ノ責任デアアル職務デアリマスケレドモ其他ノ人ノ資格ニ附イテ有效デアアルカ無効デアアルカ當選デアアルカ否ヤト云フコトヲ判決スルノハ是ハ越權デアリマス、貴族院多額納稅者互選規則ニ於キマシテ當選人ト定メルト云フコトハ府縣知事ノ責任デアッテ他ニ此當選人デアアルカ否ヤヲ決スルノハ初メ府縣知事ヨリ外ハナイノデアリマス、左スレバ此貴族院ニ於テ資格審查委員ヲ設ケテ判決シマスノハ其爭ノ起ッテ居リマスル所ノ今日當選シテ貴族院議員ニ勅任セラレテ居ル所ノ議員ノ資格ガ果シテアルモノデアアルカ其當選ガ果シテ適當ノモノデアアルヤト云フコトダケヲ判決スルモノデアッテ其他ノ人ノ當選有無ヲ判決スルコトハ貴族院デハ出來ナイモノデアラウト思フ、ソレヲ玆ニ持ッテ來テ委員長ノ報告ノ如ク判決文ニ之ヲ書キ現スト申シマスコトハ越權ノ是ハ判決デアッテ本員ニ於テハ此判決ニ全然反對ヲ致スモノデアリマスガ殊ニ此後段ノ判決ニ至リマシテハ貴族院ノタメニ斯ノ如キ越權ノ判決ヲ爲スコトハ飽クマデ反對ヲ致サネバナラヌト存ジマス、以上ノ理由ヲ以チマシテ本員ハ特別審查委員少數者ノ意見ニ結局同意ヲ致ス

所ノモノデアリマス、其理由ニ至リマシテハ多少意見ヲ異ニスル所ガアリマスガ判決ノ段ニ至リマシテハ全ク少數者ノ意見ヲ贊成致シマス、滿場ノ諸君ニ於テモ何卒少數者ノ判決意見ニ御同意アラシコトヲ希望致シマス

○男爵尾崎三良君 段々通告ガアルヤウデアリマスガ私ハ一種ノ意見ヲ持ッテ居ル者デアリマスガ是ハ委員長ニ協議シテ見タイト思ヒマス、此當選ヲ無効ナリトスルマデハ御同意デアアルノデス、ソレカラ先ノコトハ何分我々ハ同意ガ出來兼ヌルノデアリマス、若シ審査委員ニ於テ委員長ニ於テ是ガ御同意ガ出來レバ至極都合ガ宜シカラウト思ヒマス、萬一ソレガ出來ヌト或ハソレガタメニ是ガ少數ニナルカモ知レヌト申スノハ詰リ原告者ヲ以テ當選人ト判決スルコトハチツト言過ギト思フ、ト申シマスモノハ我々本來ハ彼ノ宇野清左衛門ガ資格ガナイト認メタ以上ハ互選名簿ノ確定ガ動イテ來ルダラウト思ヒマス、依ッテ直ニ後トノ人ヲ當選人ナリトスルハドウモ御同意ガ出來兼ヌ、此今三好君ガ述べマシタ如クソコマデ云フノハ越權ダト云フ譯デモナイトハ思フ、ソレハ隨分場合ニ依ッテハソコマデ言ッテモ宜カラウ、本案ニ至ッテハソコマデ云フノハ言過ギデアラウト云フカラ私ハ若シ委員長ニ於テ御同意ガナケレバ一個ノ修正トシテ是ダケヲ削除スル案ヲ提出スル積リデアリマ

スガ通告者モ多イノデ其中ニ討論終結トナッテ一言モ言フコトガ出來ヌトイケマセヌカラ豫メ是ダケノコトヲ明言シテ置キマス、ソウゾ諸君其御積リデ……

○村田保君 唯今尾崎君カラ御照會ガゴザイマシタ、成ル程本員モ是ハ第二段ノ話デ、唯文字上ノコトデゴザイマシテ本員ダケハソレハ取リマシテモドウナリマシテモ異存ハゴザイマセヌガ併シ之ハ本員ガ……他ニ六名ト云フ委員ガアリマスカラ他ノ人ハドウゴザイマスカ、本員ダケハサウナリマシテモ少シモ異存ハナイ、ソレカラ越權ダケノコトハ辯シテ置キマスガ本員杯ハ是ハ少モ越權デハナイト思フ、本院ニ是ダケノ權能ガ與ヘテアルカラ越權ノコトハゴザイマスマイト思ヒマス

(子爵長岡護美君發言ヲ求ム)

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ハチヨット御協議ヲ致シマスガ尾崎君ノヤウナ御考ヲ持ッテ居ラレル人モアリマスカラ此判決ヲ採決スル場合ニハ二ツニ分ケテ採決シテハ如何カト思ヒマス

(贊成)ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 第一ニ松村修平ノ當選ヲ無効トスルヤ否ヤト云フコトヲ以テ決ヲ採リマシテ若モ之ガ無効ト云フコトニ極ッたらバ第二ニ荒野由次郎ノ當選ヲ認ムルヤ否ヤト云フコトニ附イテ決ヲ採レバ自然ト尾崎君ノ如キ意見ヲ持ッテ居ラレル人モ起立ニ迷フコトモナイト思ヒマス

然ラバサウ云フ手續ニ致シマス

○水野遵君 議長……

(贊成々々)又「異議ナシ」ト述フル者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 水野君ハ何デスカ

○水野遵君 唯今ノコトニ附イテチヨット私ハ意見ヲ述べマスガ唯今ノ議長ノ御宣告ハ甚ダ便宜ノヤウデアリマスガ是ハ少シク考ヘテ見ヌト此議場デ直グニ決メルト云フコトハムウカシクハナイカ、何トナレバ是ハ普通ノ法律ト違ッテ修正……文字ノ修正ヲスベキモノデナイ、唯問題ハドウデアアルカト云ヘバ松村何某ノ當選ガ有效デアアルカ無効デアアルカト云フコトヲ無名投票カ記名投票デ此處デ決議スル、ソレデ此裁判ハ終ッタモノデ、裁判ノ宣告文ニ附イテ二段ニ又修正ト申シマスカ何ニ附イテ其意見ヲ採ルト是ハ餘程……若シ成立チデモ致シマシタナラバ深思熟考ヲセヌケレバナリマセヌ、將來此議場ノ慣例ニ影響ヲ及レマスカラ唯今ノ御宣告ハ暫ク願ハクハ時間ヲ御猶豫アラシコトヲ希望致シマス、若シサモゴザイマセヌケレバモウ暫ク諸君ノ御審議ヲ願ヒタイ

○議長(公爵近衛篤磨君) 水野君ニチヨット申シマス、ソレハ私ノ宣告ヲ誤解ナスッテゴザルデアアルマイカ、議長ノ宣告……唯今申シタコトハ文字ノ修正デハナイノデ事柄ガ二ツ茲ニ在リマス、松村修平ノ當選ヲ無効トスルヤ否ヤト云フコトガアリマシテソレカラ荒野由次郎ヲ以テ當選人ト認ムルヤ否ヤト云フ二ツノ事柄デアリマスカラソレヲ一ノ判決文ニナッテ居ルガ二ツニ分ケテ決ヲ採ラウト云フダケデアリマシテ文字ノ修正ト云フノデハナイノデアリマス

○水野遵君 事實ハ矢張文字ノ修正デ、荒野由次郎ガ當選ニナルト云フコトハ即チ松村修平ノ當選ガ無効ト云フコトハ自然ニ生ズル結果デアアル、此結果荒野由次郎ガ當選人デアアルト云フコトヲ本院ガ書得ルヤ否ヤト云フ茲ニ議論ガ起ッテ二ツニ決ヲ採ルコトニナルガ松村修平ノ當選ヲ無効トシテ更ニ荒野由次郎ガ當選人ト云フ、之ニ反對ガ這入ッテ仕舞フト眞白ナ決議ニナラナイモノデモナイ、即チ投票ト云フモノハ(聴取レ難シ)サウ云フヤウナコトガ出テハ來マセヌカ甚ダ心配致シマスルデ、是ハ矢張其前、決議ノ前ニ何トカ始末ヲ御付ケニナッタ方ガ宜シイト存シマス、此問題ハ荒野由次郎ト云フ者ガ當選人ナリヤ否ヤト云フ問題デハナイ、即チ松村何某ノ當選ガ有效無効ニ就イテ裁判ヲ下スノデ裁判ヲ二段ニヤルヤウナ嫌ヒガドウモ御宣告ニ依ッテ見マスルトアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガアレバ強テ之ヲ斷行スルト云フ考デハナイノデス

○男爵尾崎三良君 今水野君カラ御説ガアリマシタガ決シテ是ハ文字ノ修正デハナイ、是ハ事柄ガ二段ニナツテ居マスカラ二段ニ御採リニナツテ宜カラウト思ヒマス、併ナガラサウ云フ異論者ガアル以上ハ議場ニ御諮ヒナスツタ方ガ宜シイト思ヒマス、詰リ水野君ハ此末ノ文ガアルト此方ニ賛成シタクモ賛成ガ出來ヌト云フ人ガアルカラ少數者ノ意見ノ方ニ餘計ニナラウカト云フ點カラダラウト思ヒマスカラツレハ免ニ角此議場デ二段ニヤツテ宜シイト云フコトナラバツレデ宜カラウト思ヒマス

○伯爵大原重朝君 本員ガ考ヘマスノニハ尾崎君ガ審査委員長ニ御相談ニナツタト云フモノモ荒野由次郎當選云々ノコトハ強テ言ハナクツテモ宜イト云フヤウナ御説ニ私ハ聽キマシタ、村田君ハツレニ同意シマシテツコハ如何ヤウデモ宜シイ、併シ委員ノ諸君ガ外ニ五六名モアルカラツレガ御同意ニナツタラバ此判決文ヲ改メテ宜イヤウナコトノヤウニ承ツタデアリマスガ相成ルベクハ委員ノ諸君ガ御同意アツテ委員長ノ此報告ノ判決文ヲ、松村修平ノ當選ヲ無効トスト、是デ切上ゲルト云フコトニ委員諸君ガ御同意ニナツタラ一番穩カダラウト思ヒマスガ如何デゴザイマス

○平田東助君 唯今尾崎君カラ修正ノ論ガ出テ居リマスケレドモ是ハ本員杯モ出來ナイコトダラウト思ヒマス、是ハ本員杯ハ無論水野君ノ言フ通是ハ判決デゴザイマス、判決ニ修正スルト云フコトデアルナラバ或ハ之ヲ其再ビ委員ニ付託シテサウシテ委員ニ於テ再審査スルト云フコトデアツテ其結果トレテ改ツテ來ルト云フコトナラバ別段デゴザイマスガ之ヲ議場ニ於テ一ツノ判決ヲ二段ニ採ルト云フコトハ、採ツテ仕舞フト云フコトハ他ノ法律トハ違ッテ出來ル譯ノモノデハナイ、是ハ他日ノ一例ヲ成スコトデゴザイマスカラサウ云フヤウナコトハ決シテ此問題ニ於テハ有リ得ベカラザルコトデ、已ムヲ得ザレバ再審査ヲ……

○村田保君 此判決文ニ於キマシテヤカマシクナリマシタガ一體本員杯ハ誠ニ是ハ枝葉ノ論ダラウト思ヒマシテツレ程重キヲ置イテ居ラス、若シ是ガ下ノ方ガ惡イト云フコトデゴザイマスレバ本員ダケハ松村修平ノ當選ヲ無効トス、斯ウシテ後トハ削マシテモ宜シイト思ヒマス、是ダケハ本員ハ取消ヲ請求シマス、ドウゾ斯様ナ枝葉デ論ズルコトハ實ニ無益デスカラ皆サンハ……本員ダケハ是ハ無効トスト切ツテ仕舞フ、ドウゾ滿場諸君之ニ御賛成ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 併ナガラ村田君一人デ取消スト云フ譯ニハ往キマセヌ、委員諸君モアルコトデアリマスカラサウ云フ譯ニハ往キマスマイ

○男爵伊達宗敦君 尾崎君ニ御尋ヲシマスガ私ハ今缺席シテ尾崎君ノ御説ヲ

伺ヒマセヌガ何カアナタノ修正ガ出テ居ルサウデ、御手數デゴザイマスガチヨットツレヲ……

○男爵尾崎三良君 本員ハ此松村修平ノ當選ヲ無効ナリトスト云フ判決文ハ例文ニ依ツテ宜シウゴザイマス、ツレデ止メタイト云フノデ、其理由ハ原告何何ヲ以テ當選人ナリトスルト云フコトハチツト出過ギテ居ル、ツレノミナラズ是ハ一ノ問題デアアル、ト云フモノハ其互選資格ヲ所有シテ居ルト思フテ是ハ當選シタモノデアアルガ判決ハ互選資格ハナイヤウニナル、サウスルト十五人ノ中一人缺ケテ來ルカラ先ノ互選資格ノ名簿ト云フモノハ土臺間違ノモノデアルト言ヘルコトダラウト思フ、シテ見ルトドウモ其間違ッタ名簿デ選舉シタモノガアトノ此荒野由次郎ト云フ人ガ當選スルト云フコトハ言ハレマイト思フ、ツレマデ判決スルニハ及バヌ、此所デハ松村修平ニ對スル資格ヲ爭フノデアルカラ松村修平ト云フ者ノ當選ガ無効デアルト云フコトヲ判決スレバ宜シイカラ是カラ先キハ取ツテ仕舞ヒタイ、斯ウ云フ論デアリマス

(男爵伊達宗敦君「サウスルト松村修平ノ當選ヲ無効トストシテ、ツレダケニ止メルノデスカ」ト述フ)

サウデス、ツレデ今段々一體此判決文……

(男爵伊達宗敦君「モウ私ノ質問ハ仕舞ヒマシタヨ」ト述フ)
茲デ修正ヲスルト云フ、サウ云フヤウナコトハ出來ナイト云フ御説デゴザイマスガ是ハ委員諸君ノ手デモツテイクラデモ出來ルコトダラウト思フ多數デ以テイクラデモ出來ルコトデアラウト思ヒマス、委員諸君自ラヤリタイナレバ、ヤレヌト云フ不自由ハナイ、別ニ法律ニ制限モナケレバ議院法ニ制限モ無イ、委員多數ノ諸君ガ之ヲ改メテ宜イト云フナラバツレデ宜イ譯デアリマス、平田君ノ御説ニ賛成ハ出來兼ネマス

○侯爵細川護成君 チョット伺ヒマスガドウ云フコトニナルノデスカ、第一松村君ノ當選ノ有效無効ト云フコトヲ御諮ニナル……併シ第二ノ原告云々ハ……荒野由次郎ノ當選云々ハ此議場デ議スルモノデナイト思ヒマス、此案ニハ賛成シマスガ、先キノ所ニハ賛成シナイノデアリマス、ツレデ起立シテ宜イノデスカ、惡イノデスカ伺ヒタイ

○三浦安君 村田君ニ忠告ヲ致シマス、願ハクハ委員長ノ資格ヲ以テ御取消ヲ願ヒマス

(「サウハ出來ヌ」ト述フル者アリ)

委員ガ六名出席シテ居ラレカラ異議ハナイ筈デ……異議ガアレバ定テ何トカ……

○男爵伊達宗敦君 議長ニ御尋ヲ致シマスガ今尾崎君ノ修正トカハ問題ニ

ナッテ居リマス

○議長(公衛近衛篤磨君) 問題ニナッテ居リマセヌ

(男爵伊達宗敦君「サウスルト尾崎君ノハマダ修正説ニモ……」ト述フ)
議長ノ言フコトヲ先ヅ御聴キナサイ、尾崎君ガ修正ヲ出スト云フコトヲ村田君ト協議シタノデソレダケノコトガ問題ニナッテ居リマス

(男爵伊達宗敦君「ソレダケデスカ」ト述フ)

サウデス

○子爵曾我祐準君 私ハ一ノ動議ヲ提出致シマス、此議場デ判決文ヲ修正シマスルノハ餘程難儀デアラウト思ヒマス、ソレデ三十分ナリ一時間ナリ休憩シテサウシテ審査委員デ再ビ此案ヲ修正シテ提出スルコトヲ希望シマス、議場デスルノハ餘程ムツカシカラウト思ヒマス

○侯爵細川護成君 賛成

○子爵小笠原壽長君 賛成

(「賛成」ト呼フ者數名アリ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 此事ニ附キマシテハ曾我子爵ノ説ガ適當ト思ヒマス
スカラ暫時休憩ヲシマス

午後三時三十三分休憩

午後三時四十七分開議

○議長(公衛近衛篤磨君) 是ヨリ引續イテ會議ヲ開キマス

(村田保君演壇ニ登ル)

○村田保君 此判決文ニ附キマシテ當選人マデヲ掲ゲマシタニ附キマシテハ議場ヲ御騒ガセ申シマシテ甚ダ恐縮ニ存ジマス、唯今委員ハ集リマシテ議デ修正シマシタ、貴族院ハ被告茨城縣選出貴族院多額納稅者議員松村修平ノ當選ヲ無効ナリト判決ス」ト致シマシタカラ皆サン御安心ヲ願ヒタイ、併ナガラ我々ガ決シテ粗漏ノタメニ斯ウ云フコトヲヤッタノデナイト云フコトヲ御認メヲ願ヒタイ、越權ダトカ杜撰ニヤッタト御考ヘ下サイマシテハ甚ダ迷惑致シマス、我々ハ決シテ杜撰ニヤッタノデハナイ、是ハ先例ガアルノデ有爵者ノ當選ノ判決ノ時分ニ斯ウ云フコトガゴザイマス

貴族院ハ伯爵議員補關選舉ニ於ケル被告伯爵酒井忠道ノ當選ハ無効ニシテ原告伯爵島津忠亮ヲ當選者ト判決ス

ト云フ斯ウ云フ例ガアル此例ニ依リマシテ書キマシタガ文字上ノタメニ非常ニ議場ヲ煩スノハ宜クナイト思ヒマスカラ御注意ニ依リマシテ取消シマシタ譯デアリマス

○周布公平君 議長

○議長(公衛近衛篤磨君) 周布君ハ何デスカ

○周布公平君 委員長ニ質問ガゴザイマス

○議長(公衛近衛篤磨君) 此判決文ノ後段ヲ御取消ニナリマシタガサウシマス
ト此判決ノ理由ハ矢張御覽シニナルノデアリマス、理由ノ末文ニ「然ラハ被告ノ得點數ハ原告ノ得點數ヨリ一票減スルヲ以テ原告ハ當然當選人タラサルヘカラス」ト云フコトガ書イデアリマスガ、是ハ如何デゴザイマス
○村田保君 是ハ「タラサルヘカラス」デスカラ推測シタモノデアリマス、判決文デハナイ

○周布公平君 今一ツ當選人ノコトデス之ヲ取消シテ後トガ無効トナッタ以上ハ後トノ始末ハドウナリマセウカ、其邊ノ御考ダケヲ……

○村田保君 ソレハ政府ノ見込ニ在ルト存ジマス

○男爵船越衛君 村田君ニ御尋シタイ唯今モ御尋ガアリマシタガ此「原告ハ當然當選人タラサルヘカラス」ト云フコトガアリマスガ是ハドウナリマス
○村田保君 是ハ判決文デハナイ、ソレダケノ推測デアリマス

○男爵尾崎三良君 チョット村田君ニ御相談シマスガ理由書ダカラ構ハヌト仰シヤルカ知ラヌケレドモ理由書モ……

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

皆議場デ多數ノ諸君ガ御認メニナル以上ハ皆御認メニナッタト云フコトニナリマスカラサウスルト我々ノ末文ヲ削リタイト云フ精神ニ違フヤウデアリマス「原告ハ當然當選人タラサルヘカラス」トアレバ判決文ニハ書カヌニシタ所ガ理由ニ書イデアレバ矢張同シコトニナリマスカラソレダケハ矢張御取消シニナラヌト困ル

○村田保君 ソレハ違フダラウト思ヒマス、ドウモ違フダラウト思ヒマス、判決文ハ判決スルノデサウシタラ宜カラウト云フノトハ違ヒマス、ソレノミナリマセズ、先刻モ申シマシタ通前ニモ斯ウ云フ例ガアリマス

○男爵尾崎三良君 イヤアッテモ此處デハ違フノデス、私共ノ考ハ……私共ノ考ハサウ云フ精神デナイ、一體此處テ當選ト云フモノヲ原告ニ極メルト云フコトガ惡イノデアリマスカラモウ何モ言ハズニ置イタラ自然ノ結果デアリ直シニナルダラウカラ其理由文ニ「原告ハ當然當選人タラサルヘカラス」ト極メルト判決文ニハ抜イテモ何ニモナラヌ、アレダケハ我々ニ御同意ノ諸君モサウ云フ精神デハナイト思ヒマスカラドウゾ判決文ニ御削リニナッタ以上ハサウ剛情ヲ張ラズニ是モ共ニ御削リナランコトヲ希望致シマス

○議長(公衛近衛篤磨君) チョット尾崎君ニ申シマスガ理由書ハ別ニ議員ニ可否ヲ問フ譯デハナイノデアリマス、判決文ガ問題ニナッテ判決文ノ可否ヲ問フノデアリマスカラ強テサウ理由書ニ附イテヤカマシウ仰シヤル必要ハ

ナカラウト思ヒマス

○男爵尾崎三良君 ツレハサウデアリマスガ何故此判決ヲシタカト云フト斯
フ云フ理由書ガアルカラ解釋上原告ハ當然當選人タルベシト解釋ガ出來ルヤ
ウニナリマス、ツレデハドウモ其趣意デナカラウト思ヒマス、皆サンガ御同
意ナレバ致シ方モアリマセヌガ……

○村田保君 是ハ判決バカリ出ルノデ前ノ方ハ一般ニ示ス譯デハナイ

○三浦安君 再ビ村田君ニ注告致シマスガ判決ヲ取消シタ以上ハ理由書モ自
然ノ結果トシテ消エルモノデアリマス剛情ヲ張ラズニ御取消ヲ願ヒマス

○周布公平君 三浦君ノ説ニ御同感デアリマス、判決文ヲ取ツテ御出シニナッ
タカラハ理由書ノ末文ガアルノハ見殘シ位デハナイカト思ヒマス當然是ハ削
ルモノト御認メニナツテ宜カラウト思ヒマス

○子爵長岡護美君 私モ委員ナガラ委員長トハ反對デ三浦君カラ御注告ニ
ナッタ通私モ委員長ニ注告ヲ致シマス

○村田保君 本員杯モ格別……ツレナラバ文字ダケデアリマスカラ取消シマ
ス

(山脇玄君發言ヲ求ム)

○議長(公爵近衛篤磨君) 山脇君……

(男爵船越衛君發言ヲ求ム)

○議長(公爵近衛篤磨君) 山脇君ニ發言ヲ許シマシタ

(山脇玄君演壇ニ登ル)

○山脇玄君 此事件ニ附キマシテハ段々御意見モ出マシテモウ殆ド論者ガ盡
キタヤウデアリマスルガ私モ委員ノ一人デアリマスルニ依ツテ先刻委員長ノ
御報告ノ足ラザル所、少數意見者ニ對シテ委員長ノ御辯駁ニナリマシタ足ラ
ザル所ヲ補ヒ、唯今三好君カラ又一種ノ御論ガ出マシタカラ此事ニ附イテモ
一言論シテ置キタイト考ヘマスル極ク簡單ニ申シマスルカラ暫時ノ間御靜聽
ヲ煩シマス……

(高聲ニ願ヒマス「ト呼フ者アリ」)

精々高聲ニ致シマス、第一三好君ノ御論ハ貴族院多額納稅者議員ノ資格ト云
フモノハ專ラ納稅ニ基礎ヲ置クト云フ詰リ御論デアリマス、其納稅ダケニ基
礎ヲ置ク譯ニ行カナイト云フコトハ既ニ判決ノ理由書ニ貴族院令ヲ引キ且ツ
貴族院多額納稅者議員互選規則ヲ引イテアリマス、私ハ又之ニ一言附ケ加
ヘテ置キタイコトハ衆議院議員選舉法ノ御趣旨ノ如ク、貴族院令ヲ御覽ヲ願
ヒタイ、貴族院令ニ於ケル如ク土地ニ附イテ直接ノ國稅ト云フモノハアリ
マセヌ、唯ダ直接國稅何圓云々ト斯ウ云フコトニナツテ居リマス、然リマス
ルノニ衆議院議員選舉法規規則ニ於キマシテ名簿調製前其納稅ヲ負擔スル地所

ヲ所有スルコトヲ必要トスルト云フコトガ施行規則ニ在ルノデアリマス、均
シク選舉資格ニ關シマシテ而モ納稅資格ニ關シマスル以上ハ是ニハ納稅地ノ
處有ヲ要シ彼ニハ之ヲ不用トスルト云フ理由ハナカラウト存シマス、兩者
共ニ同一ノ條件ヲ必要トスルト云フ見解ヲ下シタ方ガ穩當デアラウ是ダケヲ
三好君ノ御論ニ對シマシテ附ケ加ヘテ置キマス、ソコデ果シテ此納稅地ノ所
有ガ必要ト云フコトニ茲デ決定致シマシタナラバ其所有ト云フモノハ何レノ
標準ニ依ツテ決定スベキヤト云フコトガ是ガ委員會ニ於キマシテ最モ議論ノ
アツタ點、又此一點ニ就イテ議論ノ岐レタ點デアリマス、此事ニ就キマシテ
ハ我國ノ此登記法ノ制度ハ如何デアリマスルヤ、此獨逸、澳太利等ノ外國ニ
行レルヤウナ登記法ト云フモノハ強制的ノモノデアリマセヌ、登記ノ手
續ヲ爲スモ爲サルモ當事者ノ隨意デアリマシテ土地所有權ノ移轉ト云フモ
ノハ唯別ニ登記法ニ依ルト云フ制度ニハナツテ居リマセヌ、故ニ現時此法律
上ノ有様ニ於キマシテハ土地所有ニ二種アルト申シテ宜シカラウト存シマス
即チ一ハ登記簿ニ登記ヲ經テ居ルモノ他ノ一ハ當事者カ任意ニ登記ノ手
續ヲ爲サルモノト此二様ガアリマス、尙ホ此論旨ヲ確メマスルタメニハ先
刻委員長ガ御引證ニナリマシタ所ノ此大審院ノ明治二十九年第二百四十號ノ
判決例ヲ引用致シテ宜シカラウト存シマス、是デ判決例ハ長ウゴザイマスガ
ラ、一々讀立テハ致シマセヌガ、其判決ノ要旨ハ「公證簿ノ登錄ハ公示方法ニ
外ナラスシテ所有權移轉ニ要スル公式ニアラス故ニ公證ノ登錄ヲ受ケサルモ
地所ノ所有權ハ讓與ノ契約ニ依リ讓受人ニ移轉ス」斯ウ云フ判決ガ明治二
十九年ニアルノデゴザイマス、ツレカラ諸君ガ時々御嫌ヒニナリマス所ノ二
十五年ノ第二十一號ノ行政裁判所ノ判決モ同ジ意味デ判決ニナツテ居リマ
ス、此大審院ノ判決例ハ我々ガ今日此貴族院ニ於キマシテ裁判官ノ位置ニ立
チマシテ登記法ノ制度ヲ解釋シマスル場合ニ當ツテハ最モ參考トナルベキ材
料デアラウダウト信シマス、然ルニ此處ニ論者ガアリマシテ、我國ノ土地所
有ト申スルモ登記法ニ記載ナキモ、土地臺帳ニ登錄シアルヲ以テ其中何レカ
ニ依ツテ土地ノ所有ヲ決定セネバナラス、斯ウ論ズルモノガアリマス、元ヨリ
此登記簿ニ記載ナキ土地ニシテ土地臺帳ニ記載シアルモノモアリマセウ、然
レ共此臺帳ト申シマスルモノハ、登記簿ト申シマスルモノハ……間違ヒマシ
タ臺帳ト申シマスルモノハ、登記簿ノ如ク土地所有權ヲ判明ナラシムル目的
ニ出テタル制度デアリマセヌ、納稅義務者ヲ指定スルノ用ニ供スルダケノ
モノト思ヒマス、果シテサウデアリマスルナラバ、臺帳ニ登錄セラレアル所ハ
必ラズ其時ノ所有者ナリト斷定致スコトハ出來マセヌ、即チ郡制ノ制度ニ依
リマスレバ土地ノ賣買讓與等ノ場合ニ當事者ハ登記ノ手續ヲ爲セバ登記役所
ヨリ臺帳所管廳ニ通知シテ臺帳所管廳ハ其所有者ヲ登記シテ初テ納稅人ガ定

リマスルカラ登記ヲ受ケナイ所有地移轉ノ場合ニ當ツテハ現實所有者デナイ者ヨリ納税スルト云フコトガナイデモゴザイマセヌ、斯ク論シ来リマスレバ、此選舉資格ノ必要條件タル納税地ノ所有ト云フモノハ登記簿又ハ土地臺帳ニ登錄セラレタルモノニ限ルベシト云フコトハ出來マセヌ、然ルニ茲ニ又一ノ論者ガアリマシテ申シマスルニハ、選舉資格ニ要スル土地所有ハ登記簿ニ登錄セラレタルモノニ限ル、是ハ登記簿ニ登記ヲ爲サザル不動産ノ賣買讓與云々第三者ニ對シテ法律上其效ナシト規定シテアルニ依ツテ明白デハナイカ、斯ウゴザイマス、蓋シ論者ノ趣意ハ選舉名簿ヲ調製スル行政廳ハ勿論選舉人ニ對シテモ其效ガナイト解釋スルモノデアルト存ゼラレマス、是ハ大ニ其解釋ヲ誤ッタモノデアリマス、登記法ニ申シマスル所ノ此第三者トハ此土地ニ就キマシテ民法上ノ權利義務ヲ有スルモノヲ謂フト云フコトハ殆ド疑義ヲ容ルベキ餘地モアリマセズ、決シテ選舉被選人ノ如キモノ、權利ノ關係ニ就イテ行政廳選舉人ニ對シテモノデハゴザイマセヌ、今回ノ改正登記法ニハ現行法第六條ノ如ク、第三者ニ對シテ其效ナシト云フ明文ハアリマセヌ、是ハ先刻木下君ガ述ベラレマシタ所ノ民法第七十七條デアリマシタカ……第七十七條デアリマス、民法ノ第七十七條ニハ「不動産ニ關スル物權ノ得喪及變更ハ登記ヲ爲スニアラサレハ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス」斯ウ云フ文ニナツテ居リマス、是トハ論旨ガ違ヒマスケレドモ等シク登記簿ヲ根據シテ登記ヲ受ケザル土地所有ハ選舉ノ資格ヲ爲スコトガ出來ナイト云フ論者ガ又アリマス、蓋シ論者ハ衆議院議員選舉法施行規則ニ「賣買讓與ニ依リ土地所有權ノ移轉ノ場合ニ於テ其所有ノ年限ヲ算スルハ登記ノ日ニ依ルヘシ」トアリマス、此規定ニ依ツテ立論シタモノデアラウト、存ゼラレマスケレドモ然レドモ此規定ハ單ニ所有年限ヲ算スルハ登記ニ依ルベキコトヲ示シ土地所有權ノ移轉ヲ表スル場合ニハ必ズ登記ヲ經ネバナラヌト云フコトノ精神デハアルマイト存ゼラレマス、況ヤ此現時登記法ノ制度デハ從來陳述シマスル通登記ヲ受ケザル土地ノ所有ト云フモノガアリマスルデアリマスルカラ必ズ賣買讓與ノ場合ニハ登記ヲ受ケタル土地デナケレバナラヌト云フコトハ申サレマセヌ、故ニ登記ヲ受ケタル土地ノ所有年限ヲ算シマスルニハ如何ニモ登記ニ依ラネバナリマセヌガ登記ノ手續ヲ爲サザルトキ所有年限ヲ算シマスルニハ此契約書等ニ照シマシテ實際所有權ノ移轉ニ當ル日ヨリスルヨリ外ハゴザイマス、此考ヘラレマス、此事ハ大審院ノ判決例デ明ニナツテ居リマス、矢張同明治二十九年ノ第二千四百號ノ判決例是モ長ウゴザイマス、其要旨ハ此衆議院議員選舉施行規則ノ第三條ヲ解釋シテ即チ大審院ノ判決其判決ノ要旨ハ斯ウナリマス、登記ハ公示方法ニシテ所有權移轉ニ要スル方式ニアラズ、登記ヲ經タル

地所ニ就イテハ登記ノ日ヨリ所有ノ年限ヲ算ス登記ヲ經ザル地所ニ附イテハ實際所有ノ移轉ノ有リタル日ニ依ツテ之ヲ算定セザルベカラス斯ウ云フコトガ大審院ノ判決例ニ矢張アリマス以上ノ論旨ヲ本訴ノ場合ニ適用致シマスルト、如何ナル結果ヲ生ズルカト云フト一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、被告ニ投票ヲ致シマシタ互選人ノ清左衛門ガ地租ヲ納メル所ノ其地ノ所有ト云フモノハ名簿調製前即チ明治三十年四月一日——前滿一年以上間斷ナク繼續セシヤト云フコトヲ此爭訟書類ニ原告提出竝ニ政府回送ノ關係書類ニ徴シテ信ズルモノデアリマス、明治二十九年九月ニ茨城縣久慈郡會大地主議員選舉ノ際ニ宇野壽之助ト云フモノヨリ清左衛門ガ自分ノ所有地ノ中此三百四十三筆ノ地所ヲ讓受ケタル證書ヲ以テ異議ヲ申立テ、終ニ大地主タル資格アルモノト決定サレマシテ郡會議員ニ當選シタ證據ハ明白デアリマス、而シテ比宇野壽之助ト申シマスル者ハ今日尙ホ其土地ヲ所有シテ居ラネバナラヌ譯デアリマス、若モ今日其、宇野壽之助ナル者ガ右清左衛門ヨリ讓受ケタル地所ヲ有シマセヌ日ニハ郡會ハ直ニ其資格ガナイ者トシテ議決ヲ致シマス、或ハ又郡長ガ監督上郡參事會ノ議ニ付シテ即チ其郡會議員タルノ資格ヲ失ハセルト云フ譯ニナラネバナラヌデアリマス、然リマスレバ此清左衛門ハ明治三十年四月一日前滿一年以上間斷ナク納税地ヲ所有シタ者デアリマセヌ、即チ互選資格ノ一要件ヲ缺イデ居ル者デアリマス、從ツテ此清左衛門ガ被告ヲ投票ヲ爲シマシタモ其一票モ無効トナリマシテ全數五票トナツテ原告ノ得票數ガ六票ニナツテ一票ダケ被告ノ得票數ヨリ超過スルヲ以テ此被告ノ當選ハ無効デアリマス、之ヲ取消シテ原告ヲ當選人トシナケレバナラヌト云フ結果ニナリマス、デ其他清左衛門ノ此納税額ニ就イテモ疑ガアリマシテ、或ハ此點ヨリスルモ其互選資格ニ缺ケデ居ル所ガアリハセヌカト云フ疑モアリマス、既ニ此土地所有ノ要件ニ於キマシテ此法律上ノ規定ニ合ハヌ以上ハ格別、此納税額ニ就テ實際ノ調査ヲ要スル必要ハナカラウト存ジマス、デ或ハ此委員會報告ノ如ク判決ニナリマシタナラバ大イニ此弊害ヲ生ジハシナイカト云フコトヲ憂ヘラレル御方モアリハシマセヌカト存ジマス、併ナガラ決シテ弊害ヲ生ズルト言譯ニハナリマセヌ、デ多額納税者互選資格ヲ得マスルニハ諸君モ御承知ノ如ク唯納税ヲ負擔スヘキ土地ヲ所有スルバカリデハイキマセヌ、必ヤ多額ノ納税ヲ滿一年以上致サネバナラヌ譯デアリマスカラ、是非共此登記ノ手續ヲ經マシテ、ウレカラ土地臺帳ニ登錄セラレマシテ納税人トナラネバナラヌト云フモノデアリマス、カラ之ヲ納税資格……互選資格ヲ得マスルニハ、ナカ／＼此互選資格ヲ失ヒマスルヤウナ者ニハ同日ニ論ズベキモノデアリマセヌ、ナカ／＼ムヅカシイモノデアリマス、カラ決シテ此判決通ニ極リマシテモ是ガメニ後來大イニ弊害ヲ生ズルト云フヤウ

ナコトハナカラウト存シマス、ツレカラ一言……先刻木下君カラ段々此證據論ニ就イテ少數ノ反對ノ御意見ヲ御述ベニナリマシタガ、私ノ考ヘマスル所デハ此證書ノ效力ノコトニ就テハ各國其制度ヲ異ニ致シテ居リマスカラ彼ノ國ニ於ケル所ノ此裁判例ヲ以テマシテ直ニ我國ノ此裁判ニ適用スルト云フコトハ到底出來ナイコト、存シマス、デ本訴ノ場合ノ如キハ此所有契約ト云フモノハ當事者間ニ確ニ成立シテ外部ニ向ッテ其效果ガ現レテ居ルノミナラズ被告ニ於キマシテモ既ニ其證書ノ成立ヲ認メテアリマスカラ、此土地臺帳ト一方ニハ登記簿ト、ツレカラ一方ニハ契約ヲ對照スルト云フ必要ハ此場合ニ於テハ殆ド私ハ必要ハナイト申シテ宜シカラウト存シマス、況ヤ先刻モチヨット述ベマシタヤウニ此民法ニゴザリマスル所ノ第三者ニ對シテ對照スルコトヲ得ズト云フコトハドウシテモ此民法上ノ權利義務ニ就イテ直ニ其土地ニ就テ關係ヲ持ツト云フニ止ッテ、之ヲ汎ク行政廳或ハ選舉人ノ指定ト云フコトハ少シ無理ナ解釋デハアルマイカト思ヒマス、詰リ木下君ノ段々ノ御反對モ此民法ノ第三者ニ對シテ效力ヲ有セズトカ或ハ第三者ニ對シテ對抗スルコトヲ得ズト云フ所カラ詰リ證據ガ出テ居ルヤウデアリマス、私ノ考ヘマ

スル所デハ此登記法ノ御解釋及民法ノ御解釋ハ少シ廣ク御解釋ニナリ過ギハシナイカト存シマス、詰リ木下君ノ御證據ハツレヨリ生ジテ居ルヤウデアリマスカラ此御證據ガ若シ不當デアッタナラバ其他ノ依ッテ生ズル所ノ證據ノ對照ト云フモノハ殆ド力ノナイモノデハナイカト存シマス、實ハ尙ホ委シク申シタイノデアリマスガ段々既ニ後説モアリマスカラ是ダケデ簡短ニ申述ベテ置キマス

○男爵西五辻文伸君 討論終局ノ動議ヲ提出致シマス

○男爵尾崎三良君 贊成

(其他「贊成」ト呼フ者數名アリ)
○議長(公爵近衛篤磨君) 討論終局ノ動議ガ出マシテ贊成ノ聲ガ聽エマス、討論終局ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、之ニ就キマシテハ無名投票ト云フ請求ガ一柳子爵其他ヨリ出テ居リマスカラ無記名投票ニ依ッテ採決致シマス、念ノタメニ判決文ヲモウ一度讀ミマス

判決

貴族院ハ被告茨城縣選出貴族院多額納稅者議員松村修平ノ當選ヲ無効ナリト判決ス

○男爵尾崎三良君 チヨット確メテ置キタウゴザイマスガ此理由書ノ所ガ、ツレハドウデモ宜イト云フ御説デアリマシタガ、段々先刻來御説モアリマス

ガ「然ラハ」以下ハ共ニ削レタモノト認定シテ宜シウゴザイマスカ

(「無用」討論ハ終局ニナッタ)ト呼フ者アリ

○村田保君 アレハ削レタ積リデゴザイマスガ

○男爵尾崎三良君 ツンナラドウゾ其御積リデ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今尾崎君ヨリ此理由書ノコトニ就イテ頗ニ御疑ヒガアルヤウデゴザイマスガ、理由書ナルモノハ可否ヲ採ルベキモノデハナイノデアリマス、ツレデアリマスカラ唯今朗讀ヲ致シマシタ判決文ニ附イテ可否ヲ表スルコト、御承知ニナレバ宜シト思ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○村田保君 併シハ削ルコトニ委員長カラ申シマシタト思ヒマスカラドウゾ左様ドウゾ……

○馬屋原彰君 議長……

○議長(公爵近衛篤磨君) 採決ノ場合デアリマス

○馬屋原彰君 採決ノ前ニチヨット……私共少數者ノ一人デアリマスガ即チ是ガ多數決シマスレバ自ラ少數意見ハ消滅スルノデアリマセウカ、ドウ云フ譯ニナリマスルカ

○議長(公爵近衛篤磨君) ツレハ無論ノコトデアリマス

○馬屋原彰君 若シ是ガ少數デアッタナラバ黙ッテ少數意見ガ成立ツデアリマスカ共處……

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ガ成立テバ、唯今讀ンダ所ノ判決文ニ就イテ可否ヲ諮フノデアルカラ、ツレガ可決スレバ自ラ少數意見ハ消滅シタモノト御承知ヲ請ヒマス

○馬屋原彰君 若モツレガ成立タナクッテ其反對ニ往ッタナラバドウナリマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 其場合ニハ更ニ採決スル積リデアリマス

○馬屋原彰君 ドウモ少シツレガ分リマセヌヤウデゴザリマス、ツレハ一時ニ兩方ヲ御採リ下サル方ガ宜シカラウト思ヒマス

○中西光三郎君 判決文ヲ決スルノ前後ニ附キマシテ大ニ意見ガアリマス、過日モ議長ハ無名投票ニ附キマシテ其決ヲ採ラントスルトキニ判決文ノ決議ヲ採ルヤウナコトヲナサレマシタ、本日モ亦投票ヲシナイ前ニ判決文ヲ極メテ置カウト云フ御處置ニ出デントナサレマスガ是ハ大ニ當ヲ失シタコトデアラウト思ヒマス先ツ投票ヲシテ其結果ニ依ッテ判決文ヲ……

(「誤解々々」無用々々)ト呼フ者アリ
イヤ決シテ誤解デハゴザリマセス

○議長(公爵近衛篤磨君) 彼ノ時ニハ判決文ガ文章ヲ成シテ居ラナカッタ、唯判決スルト云フダケデ判決文ノ文ノ體裁ヲ具ヘテ居ラヌノデス、ソレガタメニ議長ノ手許ニ於テ修正ヲシタノデ修正ヲスルト云フコトヲ滿場ニ諮ラテ其手續ヲシタノデ、今度ハチャント判決文ノ體裁ヲ具ヘテ居ルノデアリマス、カ其後ニ修正ノ仕様ハナイノデアリマス、カ是ハ決シテ議長ガ手續ヲ誤ラタノデアリマセヌ

(馬屋原彰君「唯今……」ト述フ)

チヨット御待チ下サイ、唯今私が採決ノコトニ附イテ申シマシタガ此松村修平ノ當選ヲ無効トスルヤ否ヤト云フコトニ附イテ委員會ノ説ガ否決ニナツタ時分ニハ又更ニ採決ヲスルト申シタノハ議長ノ誤デゴザイマス、當然一方ガ成立ツモノデアリマス

○木下廣次君 採決ノ前ニ附イテチヨット御尋致シマス、委員ノ決議ニ反對スルモノハ……

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハ今はカラ宣告ヲスル積リデアリマス、委員會ノ決議ニ贊成ノ人ハ白イ球ヲ御入レ下サイ、ソレカラ反對ノ人ハ黒イ球ヲ御入レ下サイ

○西五辻文仲君 委員ノ説ニ贊成ノ者ハ多數説ハ……ソレカラ少數ノ意見ノ方ハ黒イ球ヲ入レテ……

(氏名點呼ヲ行フ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 開函ヲ致シマス

(書記官投票ヲ計算ス)

○議長(公爵近衛篤磨君) 無名投票ノ結果ヲ御報道ニ及ビマス、出席總數二百三人、白球ヲ投シタル議員百四人、黒球ヲ投シタル議員九十九人、即チ委員會ノ説ノ通ニ決シマシタ、就キマシテハ松村修平君ノ位列ヲ停止シテ上奏ノ手續ニ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 時刻ニナリマシテゴザイマス、ルガ會期モ切迫シテ居ルコトデゴザイマス、カラ次ノ資格問題ヲ引續イテヤッテハ如何デゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者數名アリ)

○子爵曾我祐準君 本員ハ去ル三日水害地方地租特別處分法案ノ時分ニ再ビ議場ニ上ホリマシタイトキノ言葉ニ禮ヲ缺キマシタと思ヒマス、カチヨット此處デ取消ヲ致シマス、本院ノ腐敗ト云フコトヲ申シマシタガ是ハ諸君ニ對シテ甚ダ失禮デゴザイマス、カラ謹デ取消シマス、而シテ研究會諸君ト言ツタコトモ甚ダ失禮デゴザイマシテ實際研究會ノ諸君ニ於テハ初カラ本案ニ贊成シタ方モ多數アツタト云フコトデアリマス、カ此ニツハ取消ヲ致シマス

○子爵林友幸君 唯今曾我君ノ取消ガゴザイマシタガ、是ハ結構ナコトデゴザイマス、ソレデドウカ筆記モ消滅シマスヤウニ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 斯波與七郎君選舉爭訟ノ件、資格審査委員長報告、會議、朗讀ハ前ノ通牒文ノミヲ致シマス

(久本書記官朗讀)

貴族院議員斯波與七郎ニ係ル當選取消ノ訴訟ニ關シ本委員會ニ於テ資格審査ヲ終リ別冊ノ通り判決スヘキモノト議決候條此段及御報告候也

明治三十一年六月四日

資格審査委員長 村田 保

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

議員當選取消請求ノ訴訟判決報告

本件ハ兵庫縣神戸市神戸海岸通三町目六番屋敷平民貴族院多額納稅者議員互選人原告後藤勝造ヨリ同縣加東郡河合村ノ内西村一番屋敷士族貴族院多額納稅者議員當選人被告斯波與七郎ニ對シ當選取消ヲ訴フルモノニ係ル

事實

明治三十年六月十日兵庫縣ニ於テ多額納稅者議員ヲ互選スルニ當リ選舉管理者ハ投票ヲ始ムル前豫メ各互選人ニ自選投票ハ無効ノ取扱ヲ爲シ置クヘキコトヲ陳告シ爾後被選人ノ得點數ヲ算スルニ及ヒ原告後藤勝造ノ投票ハ自選投票ナルヲ以テ豫告ノ如ク之ヲ無効ノモノトシ被告ノ得點數七票原告ノ得點數六票ナル旨ヲ宣告セリ於是乎被告ハ最多數ノ投票ヲ得タルヲ以テ當選人ト決定セラレタリ

原告ノ辯論

原告ノ主張ハ互選人ハ選舉及被選舉ノ兩資格ヲ兼有スルカ故ニ被選資格アル自己ヲ最良ノ被選人ナリトセハ其意思ヲ發表シ得サルノ理アルヘカラス而シテ貴族院多額納稅者議員互選規則第十六條第二項ハ選舉權ヲ行使スル者カ被選資格即所謂被選權ヲ有スル者ノ外ハ選舉スルヲ得サルコト及ヒ必ス自己ノ姓名ヲ記載セサルヘカラルコトヲ規定シタルニ過キスシテ投票者自己ノ姓名ヲ被選人トシテ記載スヘカラルコトヲ規定シタルニアラス又貴族院令及貴族院多額納稅者議員互選規則ニ「互選」テフ文字ハ自選投票ノ無効ヲ推定スルノ徵憑ト爲スニ足ラス何トナレハ同一ノ法令中ニ於テモ或ハ互選ト云ヒ或ハ選舉ト云ヒ措辭一ナラス立法者カ「互」ノ一字ヲ以テ他ノ選舉ト效力ヲ異ニスルノ意思ナキヤ明カナリ故ニ貴族院令第六條ニ「十五人ノ中ヨリ一人ヲ互選シ」トアルハ唯單ニ「十五人中ヨリ一人ヲ選舉シ」

ト云フト全ク同一ノ意義ナリ以上ノ理由ニ依リ原告カ自己ノ姓名ヲ被選人トシテ記載シタルノ投票ハ無効ノモノニアラス從テ原告ノ得票ハ被告ノ得票ト同數トナルカ故ニ年長者タル原告ハ當然當選人ニシテ被告ノ當選ハ不法ナリト被告ノ云フ所ニ依レハ被告ハ貴族院多額納稅者議員ノ互選ニ關シテハ貴族院判決ノ先例ヲ重シシ而シテ自選ノ非ナルコトヲ信シ正當ニ當選シタルモノナレハ原告カ萬一ヲ僥倖セントシ自選投票ヲ有效ナリト主張シタリト決シテ被告ノ位列ヲ動カスヲ得サルモノト信ス故ニ原告カ列舉スル反對ノ理由ハ貴族院多額納稅者議員ノ選舉ニハ適用スヘカラサルモノトス隨テ被告ノ當選ハ不法ノモノニアラスト

判決ノ理由

原告爭フ所ノ要點ハ原告カ自己ヲ選舉シタル投票ハ有效ノモノナルヤ否ニ在リ之ヲ審按スルニ貴族院多額納稅者議員タルヘキ者ハ各府縣ニ於テ互選人十五名ノ中ヨリ一名ヲ互選スルノ規定ナレハ其ノ十五名ハ自選スヘキモノニ非スシテ各自ニ他ヲ選舉スヘキハ當然ナリ況ンヤ自選投票ノ有效無効ノ爭訟ニ對シテハ曩ニ第一議會ニ於テ本院カ既ニ之ヲ無効ナリト判決シタル先例アルニ於テヤ

判決

貴族院ハ兵庫縣選出多額納稅者議員斯波與七郎ノ當選ハ無効ニアラスト判決ス

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 此爭訟ハ至ッテ簡單ナ極見易イコト、存シマスカラシテ報告モ至ッテ簡單ニ申シマス、唯今朝讀ニナリマシタ兵庫縣多額納稅者議員當選取消ノ要求ハ成規ニ違ヒマシテ被告ニ訴狀ノ副本ヲ送達シマシテ被告ヨリ答辯書モ出マシテ委員會ヲ開キマシタガ唯一回ニ於テ決シマシタ、其理由ヲ極簡單ニ申上ゲマスレバ本訴訟ト云フモノハ自選投票ガ有效カ無効カト云フコトデアル、ツレデ此委員會ニ於キマシテハ斯ノ如ク報告ニ及ビマスル、ト云フモノハ第一本院ノ先例ヲ重ズルコト云フコトガ一ツノ理由デアル、併ナガラ本院ノ先例ヲ重シマスカラト申シテ本院デ一タビ極メタコトハ再ビ變ヘラレスカト云フニサウ云フ譯デハナイ、隨分時勢ノ變遷トカ或ハ政體ノ變易等デモゴザイマシテ事情ノ變更ヲ來シマシタトキハ先ノ決議ト云フモノハ何遍變更シテモ宜イト存シマスガ此爭訟ノ如キ自選投票ニ至リマシテハ前日ノ自選投票モ今日ノ自選投票モ何モ異ツタコトガナイカラスノ如キ場合ハ先例ヲ重シナクテハナラヌト思ヒマス、況ヤ同縣ノ管理者ガ選舉ヲ行フ前ニ豫メ雙方ニ申シマシテ既ニ先例モアルコトデアルカラ自選投票ハ無効ダカラト云フコト

ヲ雙方ニ能ク注意ヲシマシタ様子デゴザイマス、然ル所原告ハ故障ヲ言ハズ默諾シナガラ矢張自選投票ヲシマシタ譯デゴザイマス、萬一本院ニ於キマシテ自選投票ヲ有效ト云フコトニ今日致シマシタラ實ニ此結果ハ容易ナラヌコトヲ生ズルデアラウト思ヒマス、ナゼナレバ昨年ノ選舉ノ際ニハ各府縣トモ自選投票ト云フコトニ附キマシテ本院ノ先例ヲ皆重シテ居リマスカラ自選投票ハ總テ無効ニシテ居ルノデゴザイマス、若シ萬一自選投票ヲ有效ト決シマシタラ實ニソレコソ互選人ノ間ニ容易ナラヌ紛擾ヲ生ジマセウト思ヒマス、是等ノ理由ヲ以チマシテ委員會ニ於キマシテハ先例ニ據リマシテ自選投票ハ無効ト云フコトニ決シマシタ、ドウゾ滿場ノ諸君モ御賛成ヲ願ヒタウゴザイマス

○村田保君 尙ホ決議ノコトヲ申シテ置キマスガ是ハ直ニ採決ヲ……

〔採決〕ト呼フ者數名アリ

○議長(公曾近衛篤磨君) 本案ハ念ノタメニ判決ノ所ヲ讀ミマス 貴族院ハ兵庫縣選出多額納稅者議員斯波與七郎ノ當選ハ無効ニアラスト判決ス

之ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立 總員

○議長(公曾近衛篤磨君) 全會一致ト認メマス

〔此時退場セントスル者多シ〕

チヨット御待チ下サイ、提出以後マダ定規ノ日數ヲ經テ居リマセヌ議案ガ澤山アルノデアリマスガ日數モ切迫シテ居リマスカラ一讀會ハ明日ノ日程ニ夫夫載セヤウト思ッテ居リマス御異議ガナケレバ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公曾近衛篤磨君) 然ラバ左様致シマス

○伯爵大原重朝君 チヨット御尋ネ致シマスガ郡制中改正法律案ハ一番仕舞ト云フコトデアリマシタガ明日ニ御回シニナリマスカ

○議長(公曾近衛篤磨君) 最早時刻ガ參リマシタカラ明日ニ致シマス

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 華族令中改正ニ關シ貴族院令第八條ニ依リ御諮

會 議

第三 實業教育費國庫補助法中改正法律案

(政府提出案)

第一讀會ノ續(特別委員)

第四 臺灣銀行法中改正法律案(政府提出案)

第一讀會ノ續(特別委員)

- | | | |
|-----|--------------------------------------|------|
| 第五 | 民法施行法案 <small>(政府提出案)</small> | 第一讀會 |
| 第六 | 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第七 | 人事訴訟手續法案 <small>(政府提出案)</small> | 第一讀會 |
| 第八 | 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第九 | 非訟事件手續法案 <small>(政府提出案)</small> | 第一讀會 |
| 第十 | 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十一 | 競賣法案 <small>(政府提出案)</small> | 第一讀會 |
| 第十二 | 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十三 | 衆議院議員選舉法改正法律案 <small>(政府提出案)</small> | 第一讀會 |
| 第十四 | 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | |
| 第十五 | 郡制中改正法律案 <small>(中西光三郎外五名發議)</small> | 第二讀會 |

今日ハ散會
午後四時五十三分散會

